SONY®

パーソナルコンピューター

VGN-AR_4 シリーズ
取扱説明書

マニュアルの活用法

本機には、取扱説明書（本書）をはじめとして、次のマニュアルが付属しています。

紙のマニュアル

デジタル放送取扱説明書（デジタルテレビチューナー搭載モデルのみ）

デジタル放送のセットアップや基本的な視聴方法を解説しています。

画面で見るマニュアル

バイオ電子マニュアル

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

バイオ使用上、必要な情報をすべて記載しています。検索機能を使って、取扱説明書（本書）よりもすばやく目的の操作を探せます。

VAIOナビ

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIOナビ］をクリックする。

目的の項目を一覧から選んでいくことで
最適なソフトウェアと使いかたを見つけることができます。

重要なお知らせ

見るには

（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［重要なお知らせ］をクリックする。

バイオを使ううえでご覧いただきたい情報です。

ヘルプ

見るには

各ソフトウェアの［ヘルプ］メニューからそれぞれのヘルプを起動する。

付属のソフトウェアの詳しい使いかたを説明します。

パーソナルコンピューター

VGN-AR_4 シリーズ

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と本機を使う前の必要な準備について説明しています。この説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

はじめにお読みください

本機の主な仕様については、「主な仕様」（152ページ）をご確認ください。

VGN-AR94US・AR84US・AR94S・AR84Sをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物をあわせてご覧ください。

このマニュアルで使われているイラストについて

このマニュアルで使われているイラストや画面は実際のものと異なる場合があります。特に記載のない場合、本体のイラストはVGN-AR74DBを使用しています。

画面のデザインについて

Windows Vistaの画面デザインには、「Windows Aero」や「Windows Vista ベーシック」などがあります。お客様の選択された商品や、Windows上での設定変更により画面のデザインが異なることがあります。

ソフトウェアについて

お客様が選択された商品や仕様によって、インストールされているソフトウェアが異なります。このマニュアルで説明されているソフトウェアが、お使いのモデルにインストールされていない場合があります。
「Windows Media Center」ソフトウェアは、Windows Vista Home PremiumおよびWindows Vista Ultimate搭載モデルにのみ、インストールされています。

このマニュアルで表記されている名称について

- **搭載モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ搭載されている機能について説明するとき、「搭載モデル」と表記しています。例えば「テレビチューナー搭載モデル」と書かれているときは、テレビチューナーが搭載されているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **付属モデル**
  このマニュアルでは、特定のモデルにのみ付属している付属品について説明するとき、「付属モデル」と表記しています。例えば「リモコン付属モデル」と書かれているときは、リモコンが付属しているモデルをお使いの方のみご覧ください。
- **プリインストールモデル**
  各項目で説明しているソフトウェアがプリインストールされているモデルです。
  本機にインストールされているソフトウェアを確認する場合は「本機に付属されているソフトウェア」（154ページ）をご覧ください。

目次

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

本機をセットアップする

「バイオ電子マニュアル」には、取扱説明書(本書)よりさらに詳しい情報が掲載されています。

(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリック！

ミュージック／フォト／DVD

インターネット

増設／バックアップ／リカバリ

困ったときは／サービス・サポート

各部名称／主な仕様／注意事項

安全規制について

電気通信事業法に基づく認定について

本製品は、電気通信事業法に基づく技術基準適合認定を受けています。認証機器名は次のとおりです。
認証機器名：
PCG-8Z1N、PCG-8Z2N

電波法に基づく認証について（ワイヤレスLAN機能／Bluetooth機能搭載モデル）

本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードを分解／改造すること
- 本機内蔵のワイヤレスLANカード／ Bluetoothカードに貼られている証明ラベルをはがすこと

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人電子情報技術産業協会（旧JEIDA）のパソコン基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。
しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格に基づく表示）
ただし、バッテリ未搭載でACアダプタを使用している場合は、規定の耐力がないため、ご注意ください。

レーザー安全基準について

この装置には、レーザーに関する安全基準（JIS・C-6802）クラス1適合の光ディスクドライブが搭載されています。

高調波電流規制について

この装置は、JIS C 61000-3-2適合品です。

本機の内蔵モデムについて

日本国内で使用する際は、他の国や地域のモードをご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。お買い上げ時の設定は「日本国モード」となっておりますので、そのままご使用ください。

無線の周波数について

本製品は2.4 GHz帯を使用しています。他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

本製品の使用上のご注意

本製品の使用周波数は2.4 GHz帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1) 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2) 万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3) 不明な点その他お困りのことが起きたときは、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

2.4FH2

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は20 mです。

2.4DS/OF4

この表示のある無線機器は2.4 GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS変調方式およびOFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40 mです。

ワイヤレスLAN機能について

本機内蔵のワイヤレスLAN機能はWFA（Wi-Fi Alliance）で規定された「Wi-Fi（ワイファイ）仕様」に適合していることが確認されています。

ワイヤレスLAN製品ご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANではセキュリティの設定をすることが非常に重要です。セキュリティ対策を施さず、あるいはワイヤレスLANの仕様上やむを得ない事情により、セキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。
詳細については、
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security_wirelesslan.html
をご覧下さい。

FeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）について（FeliCa機能搭載モデル）

- 本機内蔵のFeliCaポート（FeliCa対応リーダー /ライター）は、電波法に基づく型式指定を受けた誘導式読み書き通信設備です。
- 使用周波数は、13.56 MHz帯です。
- 本機内蔵のFeliCaポートを分解、改造したり、型式指定表示を消すと、法律により罰せられることがあります。
  周囲で複数のリーダー／ライターをご使用の場合、1 m以上間隔をあけてお使いください。
  また、他の同一周波数帯を使用中の無線機が近くにないことを確認してからお使いください。

マクロビジョンについて

本機は、米国特許およびその他の知的所有権によって保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンの許諾が必要であり、マクロビジョンが特別に許諾する場合を除いては、一般家庭その他における限られた視聴用以外に使用してはならないこととされています。リバースエンジニアリングまたは分解は禁止されています。

著作権について

- 本機で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 著作物の複製および利用にあたっては、それぞれの著作物の使用許諾条件および著作権法を遵守する必要があります。著作者の許可なく、複製または利用すること、取り込んだ映像・画像・音声に変更、切除その他の改変を加え、著作物の同一性を損なうこと等は禁じられています。

充電式電池の収集・リサイクルについて

リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店に関する問い合わせ先：有限責任中間法人JBRC
ホームページ：
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html

使用済みコンピュータの回収について

リサイクル

このマークが表示されているソニー製品は、新たな料金負担無しでソニーが回収し、再資源化いたします。
詳細はソニーのホームページ
http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/
をご参照ください。

使用済みコンピュータの回収についてのお問い合わせ

ソニーパソコンリサイクル
受付センター
電話番号：（0570）000-369（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます。）
携帯電話やPHSでのご利用は：（03）3447-9100
受付時間：10:00 ～ 17:00（土・日・祝日および当社指定の休日を除く）

個人・ご家庭のお客様へ

個人・ご家庭でご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。
（[サービスとサポート] – [お問い合わせ／アフターサービス] – [使用済みコンピュータの回収について] をクリックする。）

事業者のお客様へ

事業で（あるいは、事業者が）ご使用になりましたバイオを廃棄する場合は、http://www.sony.co.jp/SonyInfo/pcrecycle/より、事業者向けのページをご覧ください。

この説明書の説明図や画面について

この説明書で使われている説明図や画面は実際のものとは異なる場合があります。

- 取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、および賃貸することを禁じます。
- 本機の保証条件については、同梱の当社所定の保証書をご参照ください。
- 本機に付属のソフトウェアの使用権については、各ソフトウェアのソフトウェア使用許諾契約書をご参照ください。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は、一切その責任を負いかねます。
- 本機、および本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 付属のソフトウェアが使用するネットワークサービスは、ソニーおよび提供者の判断にて中止・中断する場合があります。その場合、付属のソフトウェアまたはその一部の機能がご使用いただけなくなることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書、または本機に付属のソフトウェアのヘルプ等に記載されている機能の中には、本機および本機に付属のソフトウェアとの組み合わせ等から生じる制限により、実現できないものが含まれていることがあります。
  あらかじめご了承ください。

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は間違った使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故につながることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

以下の注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に修理をご依頼ください。

万一異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたり、キャビネットを破損したとき

❶ 電源を切る

❷ 電源コードや接続ケーブルを抜き、バッテリを取りはずす

❸ VAIOカスタマーリンク修理窓口、または販売店に点検・修理を依頼する

データはバックアップをとる

ハードディスクなど、記録媒体の記録内容は、バックアップをとって保存してください。本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償については致しかねますのでご了承ください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

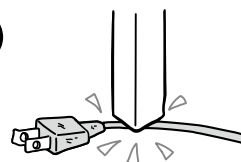
行為を禁止する記号

行為を指示する記号

⚠警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電などにより死亡や大けがの原因となります。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 本機と机や壁などの間にはさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には置かない

上記のような場所に置くと、火災や感電の原因となります。取扱説明書に記されている使用条件以外の環境でのご使用は、火災や感電の原因となります。

内部に水や異物を入れない

水ぬれ禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いてください。

内部をむやみに開けない

分解禁止

- 本機および付属の機器(ケーブルを含む)は、むやみに開けたり改造したりすると火災や感電の原因となります。
- メモリモジュールを取り付けたり、取りはずすときは「増設する」(66ページ)に従って、またB-CASカード(デジタル放送用ICカード)を取り付けるときは「B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する」(27ページ)に従って注意深く作業してください。
  なお、指定されている部分以外には触れないでください。指定以外の部分にむやみに触れると、火災や感電の原因となります。

指定のACアダプタ以外は使用しない

禁止

火災や感電の原因となります。

落雷のおそれがあるときは本機を使用しない

禁止

落雷により、感電することがあります。雷が予測されるときは、火災や感電、製品の故障を防ぐために電源プラグ、テレホンコード、ネットワーク(LAN)ケーブル、アンテナ接続ケーブルを抜いてください。また、雷が鳴り出したら、本機には触らないでください。

ひざの上で長時間使用しない

禁止

長時間使用すると本機の底面が熱くなり、低温やけどの原因となります。

本機は日本国内専用です

指示

- 交流100Vでお使いください。
  海外などで、異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機に内蔵されているモデムは国内専用です。
  海外などでモデムを使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

内蔵モデムは一般電話回線以外に接続しない

禁止

本機の内蔵モデムをISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャックや、構内交換機(PBX)へ接続すると、モデムに必要以上の電流が流れ、発熱や火災の原因となります。特に、ホームテレホンやビジネスホン用の回線などには、絶対に接続しないでください。

LANコネクタに指定以外のネットワーク(LAN)や電話回線を接続しない

禁止

本機のLANコネクタに次のネットワーク(LAN)や回線を接続すると、コネクタに必要以上の電流が流れ、発熱、火災の原因となります。
特に、ホームテレホンやビジネスホンの回線には、絶対に接続しないでください。

- 1000BASE-Tタイプ、100BASE-TXまたは10BASE-T以外のネットワーク
- 一般電話回線
- ISDN(デジタル)対応公衆電話のデジタル側のジャック
- PBX(デジタル式構内交換機)回線
- ホームテレホンやビジネスホンの回線
- 上記以外の電話回線など

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、医療機器などを誤動作させるおそれがあり事故の原因となります。

満員電車の中など混雑した場所ではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
付近に心臓ペースメーカーを装着されている方がいる可能性のある場所では、電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以内で使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くではワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、医療用電気機器の誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

航空機の離着陸時には、機内でワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。
ワイヤレス機能の航空機内でのご利用については、ご利用の航空会社に使用条件などをご確認ください。

本製品を使用中に他の機器に電波障害などが発生した場合は、ワイヤレス機能を使用しない

ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本製品を5 GHzワイヤレス機能で使用する場合は、屋外では使用しない

5 GHz(IEEE 802.11a)ワイヤレス機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。

⚠警告

下記の注意事項を守らないと、健康を害するおそれがあります。

ディスプレイ画面を長時間継続して見ない

ディスプレイなどの画面を長時間見続けると、目が疲れたり、視力が低下するおそれがあります。
ディスプレイ画面を見続けて体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

キーボードやタッチパッドなどを使いすぎない

キーボードやタッチパッドなどを長時間使い続けると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやタッチパッドを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
特にヘッドホンで聞くときはご注意ください。
呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

⚠注意

下記の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

ぬれた手で電源プラグにさわらない

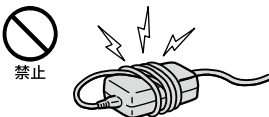
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

接続するときは電源を切る

ACアダプタや接続ケーブルを接続するときは、本機や接続する機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。感電の原因となることがあります。

指定された電源コードや接続ケーブルを使う

この説明書に記されている電源コードや接続ケーブルを使わないと、感電の原因となることがあります。

電源コードや接続ケーブルをACアダプタに巻き付けない

断線の原因となることがあります。

排気口、吸気口をふさがない

排気口、吸気口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 毛足の長い敷物（じゅうたんや毛布など）の上に放置しない。
- 布などでくるまない。

排気口からの排気に長時間あたらない

本機をご使用中、その動作状況により排気口から温風が排出されることがあります。
この温風に長時間あたると、低温やけどの原因となる場合があります。

通電中の本機やACアダプタに長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

本機やACアダプタを布や布団などでおおった状態で使用しない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に置く

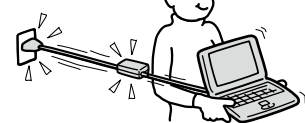
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置かないでください。また、横にしたり、ひっくり返して置いたりしないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

本機の上に乗らない、重いものを載せない

壊れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは、電源コードや接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、接続している機器が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
また、本機を落とさないようにご注意ください。

コネクタはきちんと接続する

- コネクタ（接続端子）の内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災の原因となることがあります。
- コネクタはまっすぐに差し込んで接続してください。斜めに差し込むとピンとピンがショートして、火災の原因となることがあります。
- コネクタに固定用のスプリングやネジがある場合は、それらで確実に固定してください。接続不良が防げます。

長時間使用しないときは電源プラグを抜く

長時間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

直射日光のあたる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

液晶画面に衝撃を与えない

重い物をのせたり、落としたりしないでください。
液晶画面はガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

ディスプレイパネルの裏側を強く押さない

液晶画面が割れて、故障やけがの原因となることがあります。

本機に強い衝撃を与えない

故障の原因となることがあります。

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

⚠危険

- 本書に記載する又はソニーが別途指定する充電方法以外でバッテリを充電しないでください。
- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解しない。
  電子レンジやオーブンで加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- 火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- バッテリに衝撃を与えない。
  落とすなどして強いショックを与えたり、重いものを載せたり、圧力をかけないでください。故障の原因となります。
- バッテリから漏れた液が目に入った場合は、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師に相談してください。
- 本機に付属またはソニーが指定する別売りの純正バッテリをご使用ください。
- 以下のバッテリを使用した場合、本機、バッテリまたはACアダプターの発熱や発火等の事故が発生しましてもソニーは責任を一切負いかねます。
  - 本機に付属するまたはソニーが指定する別売りの純正バッテリ以外のバッテリを使用した。
  - 分解、改造を行ったバッテリを使用した。

⚠警告

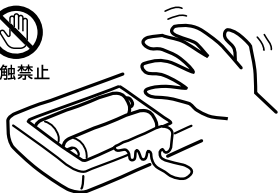
バッテリを廃棄する場合は、次のご注意をお守りください。

- 地方自治体の条例などに従う。
- 一般ゴミに混ぜて捨てない。

または、リサイクル協力店へお持ちください。

⚠警告

電池の液が漏れたときは

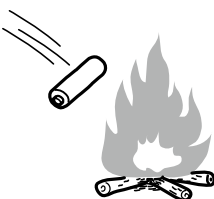
素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

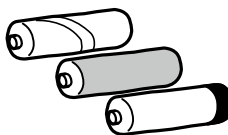
電池は乳幼児の手の届かない所に置く

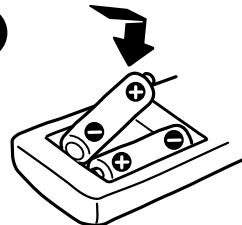
電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

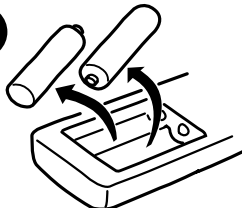
電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

⚠注意

次の注意事項を守らないと故障の原因となることがあります。

市販のアルカリまたはマンガン電池（単三形）以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わないでください。
電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示にあわせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

本機の発熱についてのご注意

使用中に本機の表面やACアダプタ、バッテリが熱くなることがあります

CPUの動作や充電時の電流によって発熱していますが、故障ではありません。使用している拡張機器やソフトウェアによって発熱量は異なります。

本機やACアダプタが普段よりも異常に熱くなったときは

本機の電源を切り、ACアダプタの電源コードを抜き、バッテリを取りはずしてください。次に、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

VAIOを使うための8つの

VAIOを使い始める前に、まず8つの準備をしましょう。
このページから続く説明に従って、作業を進めてください。

まずハードウェアの設定です。

準備1 付属品を確かめる

▶ 付属品の確認

20ページ

準備2 設置する

▶ 適切な設置場所とは？

22ページ

準備3 接続する

▶ ネットワークケーブル、電源コードなどの接続

23ページ

準備4 電源を入れる

▶ 電源の入れかた、切りかた

31ページ

準備

ここからはソフトウェアの設定です。

準備5
Windowsを準備する
▶ ユーザー名やパスワードなどの設定
33ページ

ここからの設定にはインターネットへの接続が必要です。

準備6
基本設定を行う
▶ バイオをはじめる前の準備など
39ページ

準備7
カスタマー登録する
▶ カスタマー登録について
44ページ

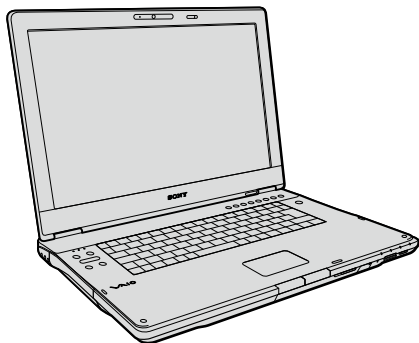
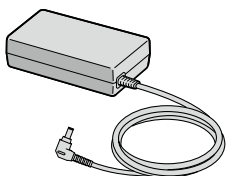
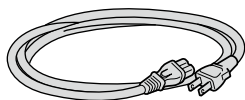
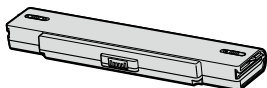
準備8
VAIOの最新情報を自動的に入手する
47ページ

付属品を確かめる

付属品が足りないときや破損しているときは、VAIOカスタマーリンクまたは販売店にご連絡ください。
お使いの機種により、付属品が異なる場合があります。
本機の主な仕様については「主な仕様」(152ページ)をご覧ください。
なお、付属品は本機のみで動作保証されています。

VGN-AR94US・AR84US・AR94S・AR84Sをご購入のお客様へ

お客様が選択された商品により仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

❏ パソコン本体

❏ ACアダプタ

❏ 電源コード

❏ バッテリ

❏ リモコン

❏ リモコン用単3マンガン乾電池(2)

❏ プラスドライバー

説明書・その他

❑ **取扱説明書(本書)**

❑ **保証書**

❑ VAIOカルテ

❑ **デジタル放送取扱説明書**

❑ B-CASカード

台紙に貼付されています。

❑ 「バイオでビデオ編集を始めよう」CD-ROM

(VGN-AR74DB・AR64DB・AR54DBを含む「Adobe® Premiere® Elements® 日本語版」ソフトウェアプリインストールモデルに付属)

❑ **その他のパンフレット類**

大切な情報が記載されている場合があります。必ず、ご覧ください。

❑ Microsoft® Office Personal 2007*1 **プレインストールパッケージ**

(「Office Personal 2007」または「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ Microsoft® Office PowerPoint® 2007*2 **プレインストールパッケージ**

(「Office Personal 2007 with PowerPoint 2007」プリインストールモデルに付属)

❑ Microsoft® Office Professional 2007*3 **プレインストールパッケージ**

(「Office Professional 2007」プリインストールモデルに付属)

お買い上げ時にプリインストールされています。起動方法について詳しくは、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」の「ワープロ・表計算」(138ページ)をご覧ください。

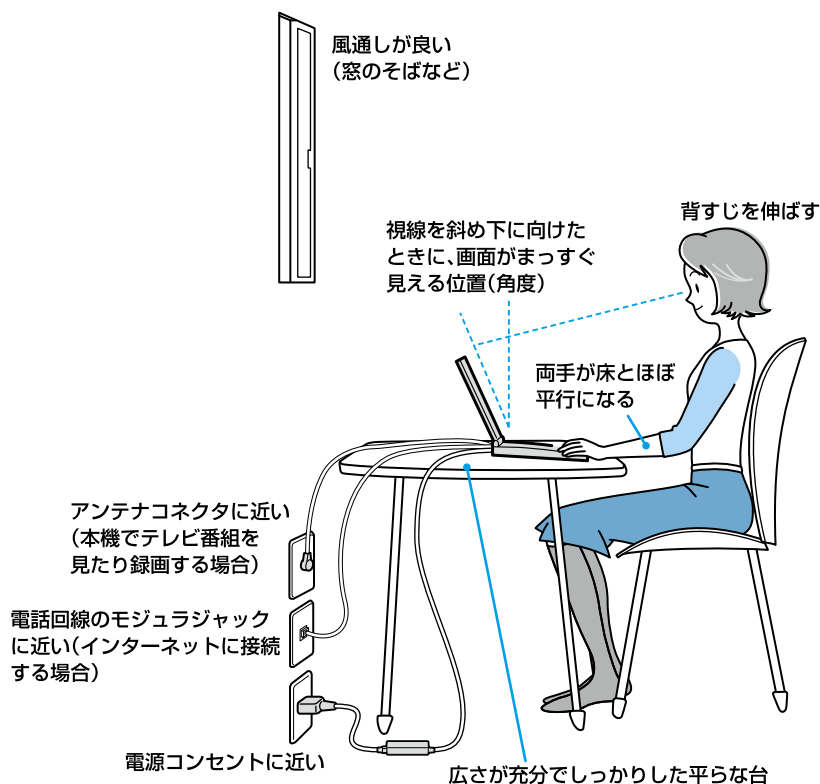
*1 この説明書では以降、Office Personal 2007と略します。
*2 この説明書では以降、Office PowerPoint 2007と略します。
*3 この説明書では以降、Office Professional 2007と略します。

ヒント

- 本機に付属のソフトウェアについては、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(135ページ)をご覧ください。
- 本機はハードディスクからリカバリすることができるため、リカバリディスクは付属しておりません。
詳しくは、「リカバリする」(80ページ)をご覧ください。

設置する

設置場所

下の図を参考にして、設置場所を決め、本機を設置してください。

!ご注意

- ほこりの多い場所では、床に置かないでください。吸気口からほこりを吸い込んで故障の原因となることがあります。
- 吸気口や排気口には物を置いたり、ふさいだりしないでください。

設置に適さない場所

次のような場所には設置しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

- 直射日光が当たる場所
- 磁気を発生するものや磁気を帯びているものの近く
- 暖房器具の近くなど、温度が高い場所
- ほこりが多い場所
- 湿気が多い場所
- 風通しが悪い場所

接続する

バッテリ、テレホンコード、アンテナ、電源コードを接続し、リモコンを使えるように準備します。

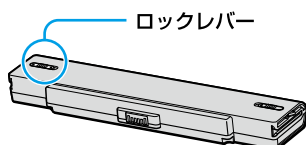
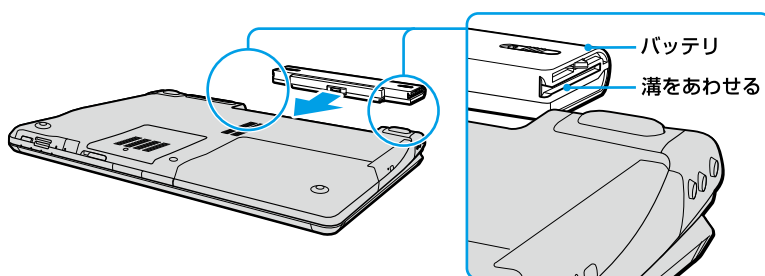
バッテリを取り付ける

停電や誤ってAC 電源がはずれ、作業中のデータが失われてしまうことのないよう、付属のバッテリを取り付けます。
あらかじめ「バッテリについてのご注意」(159ページ)をご覧ください。

本体後面のバッテリ取り付け部にバッテリを取り付けます。

1 液晶ディスプレイを閉じる。

2 バッテリを取り付ける。

① バッテリのロックレバーを内側にずらす。

② バッテリ取り付け部とバッテリ両端の溝をあわせ、「カチッ」と音がするまでバッテリを差し込む。

3 ロックレバーを外側(LOCK側)にずらして、バッテリを固定する。

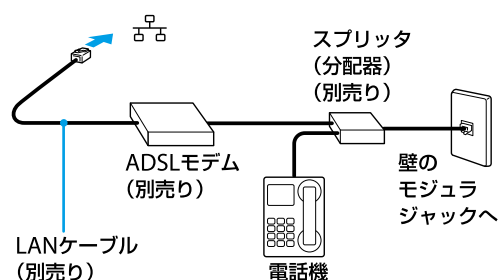
インターネット接続用機器につなぐ

インターネットに接続するには、ADSL、FTTH（光）、CATVのインターネット回線などのインターネット接続サービスを利用する方法や、一般の電話回線に接続する方法、ISDN回線を利用する方法があります。

！ご注意

インターネット接続サービスの申し込み方法、料金、必要な機器とその接続方法について詳しくは、契約するインターネット接続サービスを提供している接続業者にお問い合わせください。

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは

ADSL ／ FTTH ／ CATVを利用するときは、本体右側面のカバーを開けて、LANコネクタ（146ページ）に接続します。

＊ ADSLの接続例

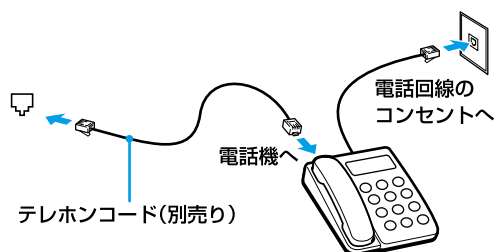
！ご注意

LANコネクタに接続するケーブルは、ネットワーク用、イーサネット（Ethernet）用などと表記されているものをご使用ください。

一般の電話回線につなぐときは

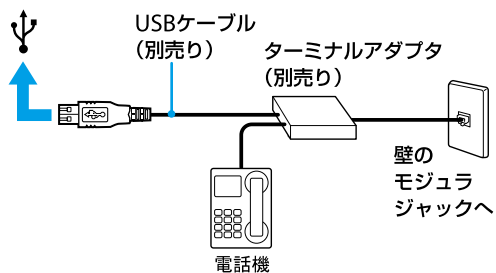
別売りのテレホンコードを使って、本機を一般の電話回線につなぎます。

本体右側面のカバーを開けて、（モジュラジャック）（146ページ）にモジュラプラグのツメが「カチッ」とロックするまでまっすぐに差し込みます。

モジュラジャックが2つある電話機をお使いのときは、下図のようにつなぎます。

！ご注意

- 本機の内蔵モデムで使用可能な回線は、一般電話回線です。その他の回線に接続した場合には、故障・発火の原因となることがあります。
- 接続後、お使いになる通信用ソフトウェアで、電話機やファックス、通信方法などの設定をする必要があります。詳しくは、それぞれのソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。
- 本体右側面のLANコネクタにテレホンコードを接続しないようご注意ください。
- 本機の（モジュラジャック）にはテレホンコード以外をつながないようご注意ください。

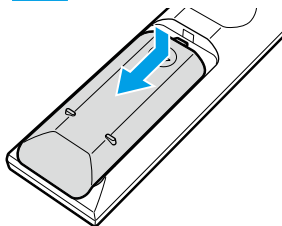
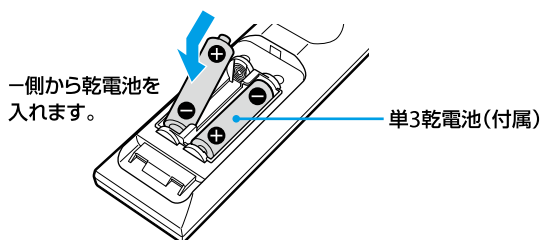
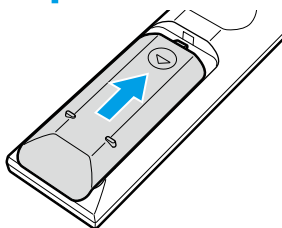
ISDN回線を利用するときは

ISDN回線を利用するときは、本機の⇆(USB)コネクタ(146ページ)に接続します。

!ご注意

接続する機器によってこの接続例とは異なる場合があります。

リモコンを準備する

1 リモコンを裏返す。

2 リモコン裏面の乾電池入れのふたを開ける。

3 ＋と－の方向を確かめて、付属の単3乾電池を2本入れる。

4 乾電池入れのふたをスライドさせて閉める。

！ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- 乾電池を交換する際は「同じ製造元の同じ種類の新しい乾電池」をお使いください。新しい乾電池と使い古しの乾電池を混ぜたり、異なる種類の乾電池（マンガン乾電池とアルカリ乾電池という組み合わせなど）を混ぜて使用すると「液もれや破損」の原因となります。
- 長い間リモコンを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 残量が少なくなった乾電池は速やかに交換してください。電池容量がなくなったあとも機器に入れたままにしておくと液もれを起こす原因となります。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液をふく際はご注意ください。
- 乾電池は充電しないでください。
- ＋と－の向きを正しく入れてください。

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録する

本機は地上デジタル放送に対応しています。
本機でテレビを楽しむには、まず本機にB-CASカード(デジタル放送用ICカード)を入れて登録します。

B-CAS*カード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタルの放送局をつなぐカードです。

> 2004年4月より、B-CASカードを挿入していないと、番組の著作権保護のため、デジタル放送はスクランブルがかかって視聴することができません。
> デジタル放送を視聴するときは、必ずB-CASカードを挿入してください。

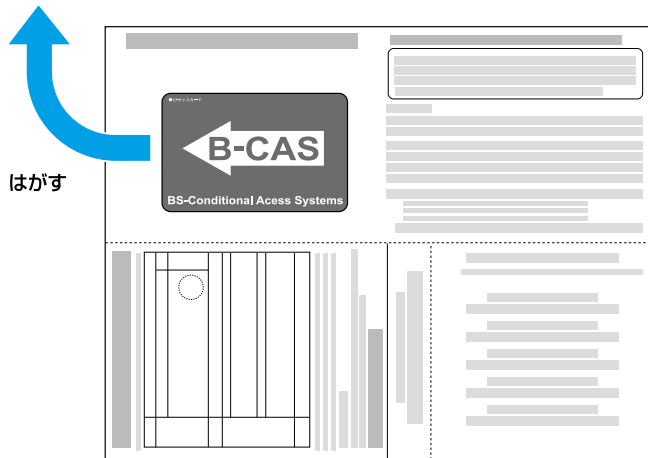
デジタル放送では、このカードを利用したCAS(限定受信システム)が採用されています。ご登録いただくと各種サービスが利用できるようになります。
B-CASカードを本機に入れたあと、ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函してください。
また、有料番組やPPV番組を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

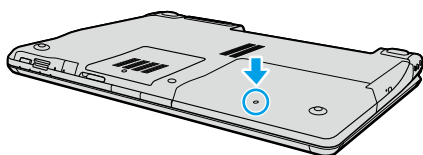
* B-CASは、(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

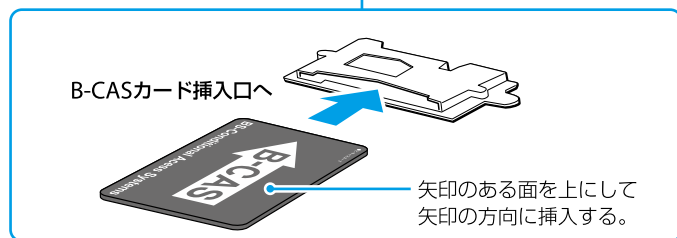
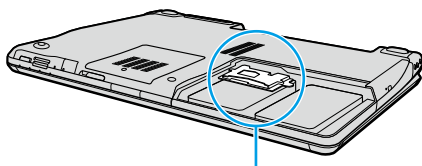
!ご注意

ユーザー登録しないと、有料番組が視聴できなかったり、データ放送の双方向サービスが受けられなかったりします。また、連絡先不明のため、カードの交換や更改などのサービスが受けられません。

1 同梱の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号：0570-000-250)へお問い合わせください。

2 B-CASカードを挿入する。

① 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。
② 本機を裏返し、底面のネジ（矢印のマークが付いている1か所）を、本機に付属のプラスドライバーで取りはずす。

！ご注意
指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

③ HDDドアを手前にスライドさせて取りはずす。
④ 左側にあるB-CASカード挿入口に、B-CASカードを奥までしっかりと差し込む。

！ご注意
B-CASカード取り付け時には、HDDドア内部の部品に触れないようご注意ください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

⑤ 取りはずしたHDDドアを元に戻し、ネジをしっかり締める。

3 同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函する。

B-CAS用ユーザー登録はがきの登録作業が終了すると、各種サービスが利用できるようになります。

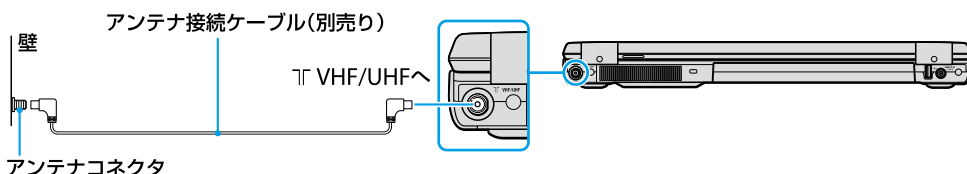
！ご注意
- B-CAS用ユーザー登録はがき台紙は、大切に保管しておいてください。有料放送に視聴を申し込むときに必要なバーコードシールが付いていたり、B-CASカスタマーセンターへのお問い合わせ先が案内されているためです。
- 転居などの際は、B-CASカスタマーセンターに連絡してください。

ヒント
以下のようなメッセージが表示されることがあります。（ICカードとはB-CASカードのことです。）
- 「ICカードとのアクセスが成立しません ICカードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターへ連絡してください：XXXX」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。
  - B-CASカードが前後または表裏逆に入っている。
  - B-CASカードが破損している。
  - B-CASカードとは別の種類のカードが入っている。
  - ご覧になっている放送局や110度CSデジタルの衛星サービス会社のカスタマーセンター、またはB-CASカスタマーセンター（電話番号：0570-000-250）へお問い合わせください。
- 「ICカードを入れてください」
  - B-CASカードが奥までしっかり入っていない。

アンテナを接続する

デジタル放送を視聴するためには、あらかじめケーブル類などを接続しておく必要があります。

1 アンテナを接続する。

本機は、地上デジタル放送を受信する地上デジタル入力コネクタを搭載しています。
本機を使ってテレビを見たり、テレビ番組を録画するときは、別売りのアンテナ接続ケーブルを使って壁のアンテナコネクタにつなぎます。

2 電話回線に接続する。

別売りのテレホンコードの一方を本機の (モジュラジャック)へ、もう一方を電話回線のモジュラジャックへ差し込みます。(24ページ)

3 ネットワーク(LAN)ケーブルを接続する。

インターネットへの接続にネットワーク(LAN)ケーブルを使用している場合は、本機のLANコネクタにネットワーク(LAN)ケーブルを接続します。(24ページ)

!ご注意

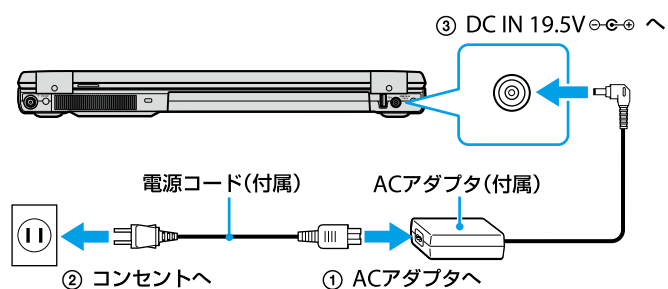
双方向サービスを利用しない場合や、電話回線を使用してインターネットに接続しているときは、ネットワーク(LAN)ケーブルの接続は不要です。

電源コードを接続する

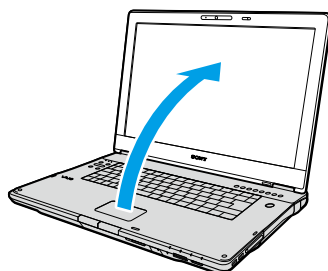
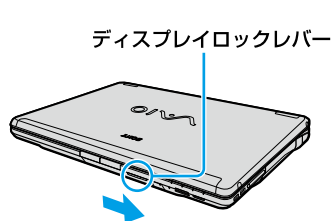
本機を電源コンセントに接続します。

1 **電源コードのプラグをACアダプタに差し込む。**

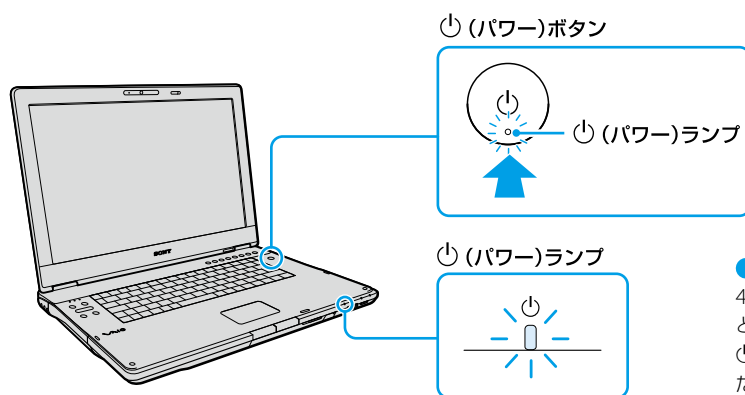
2 **電源コードのもう一方のプラグを、壁のコンセントに差し込む。**

3 **ACアダプタのプラグを、本体後面のDC IN 19.5V ⊖-ⓒ-⊕コネクタに差し込む。**

電源を入れる

本機の電源を入れます。

1 ディスプレイロックレバーを矢印の方向にずらし、ディスプレイパネルを開く。

！ご注意
ディスプレイパネルを開くときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）部分は持たないでください。故障の原因となります。

2 ⏻（パワー）ボタンを押し、⏻（パワー）ランプが点灯（グリーン）したら離す。

本機の電源が入り、しばらくしてWindowsが起動します。

！ご注意
4秒以上⏻（パワー）ボタンを押したままにすると、電源が入りません。
⏻（パワー）ランプが点灯したら指を離してください。

本機の電源をはじめて入れる場合は、しばらくして「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。
「Windowsを準備する」（33ページ）の手順に従って、Windowsのセットアップを行ってください。

2回目以降に電源を入れるときは

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。
  画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。

ヒント
本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープ[*1]）。キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタン[*2]を一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態[*1]）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
*1　詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。）
*2　⏻（パワー）ボタンを4秒以上押しつづけると保存された状態が破棄されますのでご注意ください。

バッテリを上手に使うには

本機をバッテリで使用しているときに、次のようなことに気をつけるとバッテリを長持ちさせることができます。
- 液晶ディスプレイの明るさを暗くする
  液晶ディスプレイは、明るくするより暗くした状態で使用するほうがバッテリを長持ちさせることができます。
- 省電力の機能を使う
  こまめにスリープや休止状態にすることで、バッテリを長持ちさせることができます。
  また、休止状態の場合は、電源オフからの起動よりも早く復帰できます。
  詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。）

電源を切るには

電源を切るときは、必ず次の手順に従って電源を切ってください。
次の手順を行っても電源が切れない場合は、本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。ただし、この方法で電源を切ると、本機の故障の原因となったり、作成中、編集中のファイルが使えなくなることがあります。

1　（スタート）ボタンをクリックする。

スタートメニューが表示されます。

2　－[シャットダウン]をクリックする。

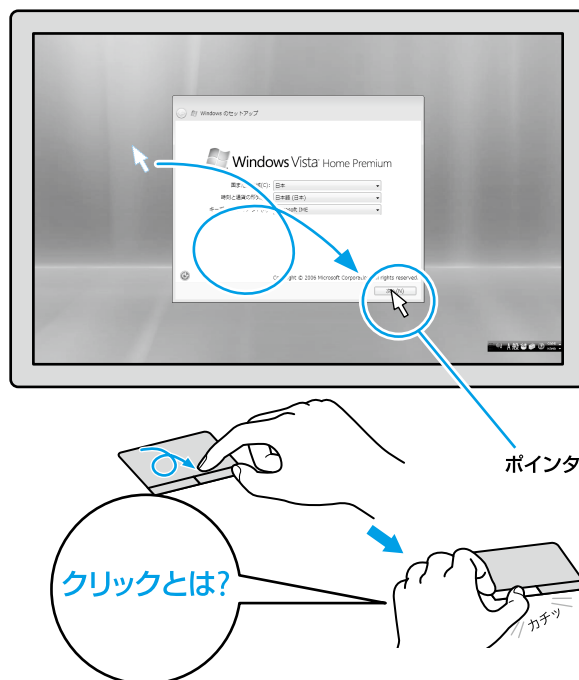
しばらくすると本機の電源が自動的に切れ、⏻（パワー）ランプ（グリーン）が消灯します。
液晶ディスプレイを閉じるときは、⏻（パワー）ランプが消灯したのを確認してから閉じてください。

ヒント
お買い上げ時の設定では、⏻（パワー）ボタンを押すとスリープモードに移行します。現在作業中の状態をメモリに保持したまま（お買い上げ時の設定）、最低限度必要なデバイス以外の電源を切るため、消費電力を節約できます。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[スリープモード／休止状態にする]をクリックする。）

Windowsを準備する

電源を初めて入れたら、まずWindowsの準備をしましょう。Windowsの準備が完了すると、付属のソフトウェアやいろいろな機能が使えるようになります。

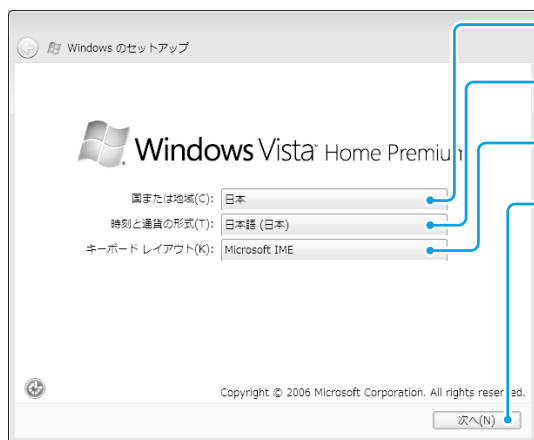
ヒント
Windowsの準備ではインターネットへの接続は必要ありません。

ヒント
取扱説明書内の画面が実際と異なる場合は、表示される画面に従って操作してください。

タッチパッドの上で指を動かして、目的の場所の上までポインタを移動し、左ボタンを「カチッ」と1回押してすぐに離します。これを「クリックする」または「左クリックする」と言います。

1 電源を入れる。

電源ボタンを押し（31ページ）、「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで待ちます。

!ご注意
「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでに5 ～ 15分程度かかります。「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまで、電源を切らずにそのままお待ちください。表示前に電源を切ると故障の原因となります。

2 設定を開始する。

① [国または地域]で[日本]が選択されていることを確認する。
② [時刻と通貨の形式]で[日本語(日本)]が選択されていることを確認する。
③ [キーボードレイアウト]で[Microsoft IME]が選択されていることを確認する。
④ [次へ]をクリックする。

ヒント
ご使用いただいている機種によっては、OSの名称が異なることがあります。

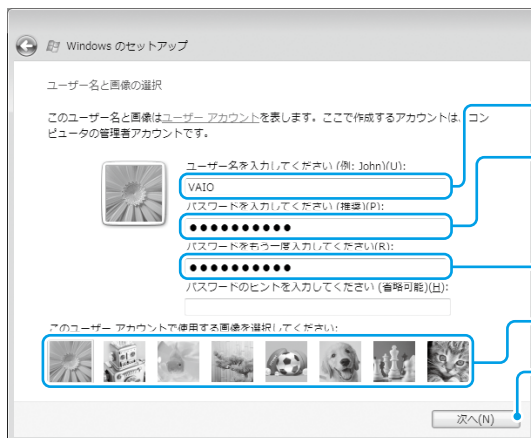
3 「ライセンス条項」の内容を確認する。

① 2 か所の[ライセンス条項に同意します]をチェックする。

ここをクリックすると文章が上下します。

② 内容を確認したら[次へ]をクリックする。

！ご注意
どちらか一方でもチェックをしないと、Windowsの準備作業は中止され、Windowsと本機に付属のソフトウェアはお使いになれません。

ヒント
画面左上の ボタンをクリックすると前の画面に戻ることができます。

4 ユーザーアカウントの設定をする。

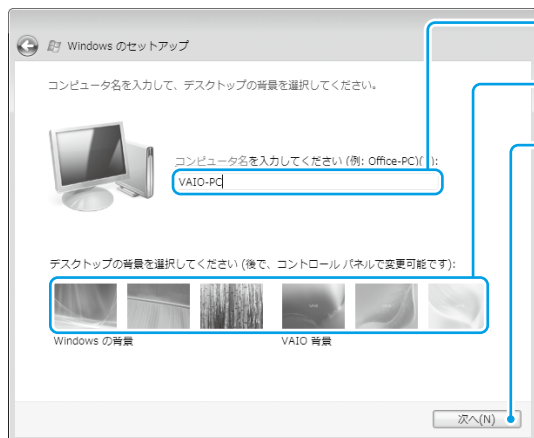
メモ

！ご注意

入力したパスワードは、メモを取るなどして忘れないようにしてください。

ヒント

- ユーザー名やパスワードはWindowsのセットアップ完了後に設定することもできます。
- ユーザー名には、漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベットなどの文字が使用できます（キーボードの半角／全角｜漢字キーで入力を切り換えられます）。
  ユーザー名の例：
  VAIO太郎

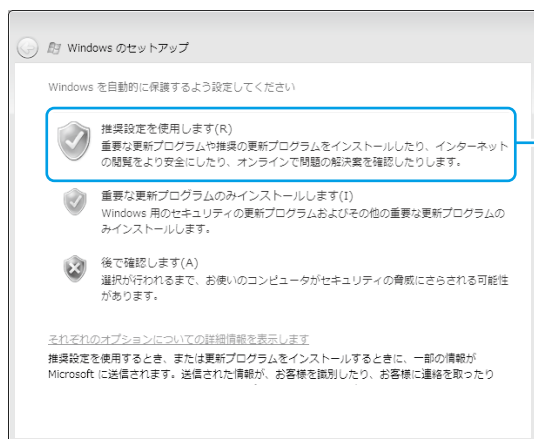
5 コンピュータの名前を確認する。

① 自動的に表示されますが、わかりやすい名前に変更することもできます。

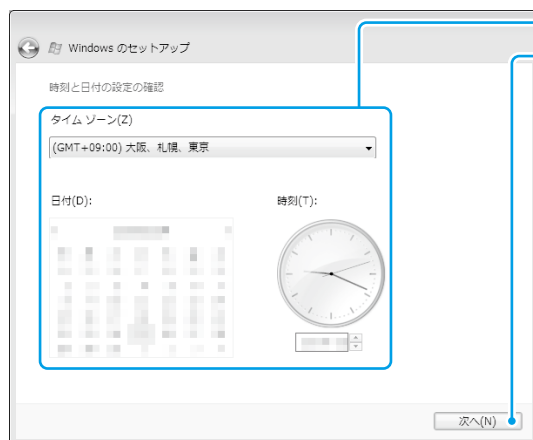
② デスクトップの背景にしたい画像をクリックする。クリックすると背景が変更されます。

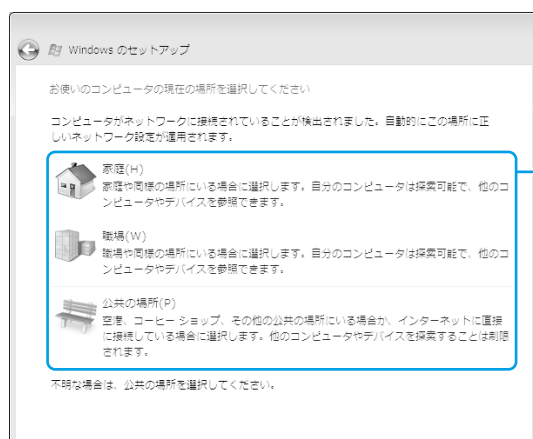
③ ［次へ］をクリックする。

ヒント

コンピュータの名前やデスクトップの背景は、Windowsのセットアップ完了後に変更することができます。

6 コンピュータの保護の設定をする。

［推奨設定を使用します］をクリックする。

7 日付と時刻の設定を確認する。

① タイムゾーンおよび日付と時刻を確認する。
② [次へ]をクリックする。

8 コンピュータを使用する場所を選択する。

コンピュータを使用する環境に近いものをクリックする。

ヒント

- この画面は、ネットワークに接続されている場合に表示されます。
- コンピュータを使用する場所の設定は、Windowsのセットアップ完了後にも行うことができます。

この画面が表示されない場合は、次の手順に進んでください。

設定を完了する。

[いいえ、後で設定します]を選択して、[開始]をクリックする。

ヒント
Windowsのセットアップ完了後に設定することができます。

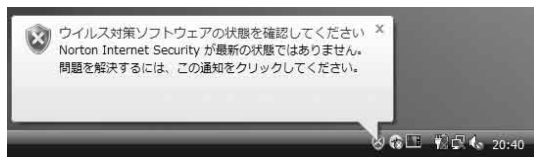
セットアップが完了すると、「ウェルカム センター」画面が表示されます。

ヒント
「ウェルカム センター」画面の内容はご使用いただいている機種によって異なることがあります。

これでWindowsが使えるようになりました。

電源の切りかたについて詳しくは、「電源を切るには」(32ページ)をご覧ください。

!ご注意

- 本機にパスワードなどのセキュリティのための設定を行うことは、お客様の個人情報やデータを守るための有効な手段になります。設定したパスワードの種類によっては、パスワードを忘れると修理(有償)が必要になることがありますので、必ずメモをとるなどして忘れないようにしてください。また、パスワードを解除するための修理(有償)を行う場合には、お客様の本人確認をさせていただく場合があります。なお、パスワードの種類によっては修理(有償)でお預かりしても解除が不可能なものがありますのであらかじめご了承ください。
- 「ウイルス対策ソフトウェアの状態を確認してください」という警告が表示されることがあります。コンピュータを危険から守るために、Windowsのセットアップが完了したらすぐに「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行ってください。

基本設定を行う

バイオを快適にお使いいただくための基本設定を行います。

ここから先の設定（セットアップ）は、インターネットに接続する必要があります。
インターネットの接続については「インターネット」の章（61ページ）をご覧ください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについて

コンピュータウイルスやネットワークを通じた不正な接続などによる被害からコンピュータを守るためには、あらかじめきちんと対策しておく必要があります。本機には、「Norton Internet Security」ソフトウェアがインストールされており、前述の危険からコンピュータを適切に保護することができます。ただし、「Norton Internet Security」ソフトウェアは初期設定を行うまでは動作しないため、Windowsのセットアップの終了後にあわせて設定を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［Norton Internet Security］－［Norton Internet Security］をクリックし、「Norton Internet Security」画面上部に表示される［続行］をクリックして表示される「Norton Internet Security」設定画面にて行えます。

ヒント
「Norton Internet Security」ソフトウェアの初期設定を行っていない状態で本機の起動回数が2回目以降になると、起動直後に「Norton Internet Security」設定画面が表示されます。

1 「Norton Internet Security」の設定をする。

① 「Norton Internet Security」設定画面で［次へ］をクリックする。
使用許諾画面が表示されます。
設定の途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

② 内容を確認し、［同意する］をクリックする。

③ ［90 日の更新サービスを続ける］を選択して、［次へ］をクリックする。
アカウント画面が表示されます。

［90 日の更新サービスを続ける］が表示されず、アクティブ化画面が表示された場合は

- 本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合はアクティブ化画面が表示されます。
画面の指示に従ってアクティブ化を行ってください。
- アクティブ化をキャンセルして、後で設定することもできます。キャンセルした場合は、手順3に進んでください。
また、15日以内に「Norton Internet Security」ソフトウェアを起動し、画面上部に表示される［今すぐにアクティブにする］をクリックして、再度アクティブ化を行ってください。

2 アカウントを作成する。

① [Norton アカウントの作成]を選択して必要な情報を入力後、[次へ]をクリックする。

ヒント

- 電子メールアドレスをお持ちでない場合や後で登録したい場合は、何も入力せずに[次へ]を数回クリックしてください。表示された[スキップ]をクリックして次の画面に進みます。
- すでにアカウントをお持ちの場合は、[既存の Norton アカウントにサインインする]を選択し、電子メールアドレスとパスワードを入力してください。

② 表示された内容を確認して、[完了]をクリックする。
更新サービスの残り期限が日数表示されます。

ヒント

本機ご購入の際に、15 ヶ月または24 ヶ月版を選択された場合も、残り期限が日数で表示されます。

設定が終わると、「LiveUpdate」に進みます。

3 「LiveUpdate」で最新版に更新する。

ご注意

- 「LiveUpdate」によって「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新する場合、インターネットへの接続が必要です。
- インターネットに接続できない場合は、[キャンセル]をクリックしてください。[キャンセル]をクリックした場合、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されないため、新種のコンピュータウイルスなどに対応することができません。

インターネットに接続して「Norton Internet Security」ソフトウェアを更新します。
画面に表示される指示に従って操作してください。

「LiveUpdate」でエラー画面が表示される場合

まずは、インターネットに接続しているか確認してください。

「LiveUpdate」を行うには、インターネット接続が必要です。
インターネットに接続してから、再度「LiveUpdate」を行ってください。

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後に表示される警告について

「Norton Internet Security」ソフトウェアの設定後、いくつか警告が表示されます。警告の意味と対処方法は以下のとおりです。

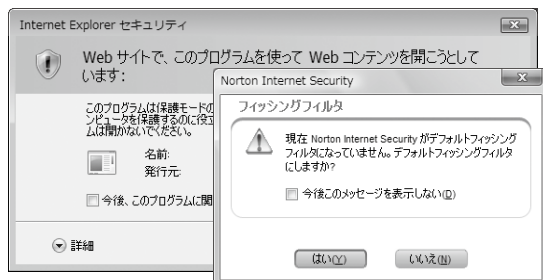
❑ 「要注意」画面、「リスクあり」画面

「Norton Internet Security」ソフトウェアの更新やコンピュータウイルスの詳細な検査が長期間行われていないときや、設定がセキュリティ上不適切なものになっていると表示されます。初期設定時以外で表示されたときは[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

ヒント

初期設定時の「LiveUpdate」が終了すると「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面左に表示されるセキュリティの状態が「要注意」または「リスクあり」になっている場合は、[今すぐに解決]をクリックして画面の指示に従ってください。

❑ 「Internet Explorer セキュリティ」画面、「フィッシングフィルタ」画面

「Norton Internet Security」設定後、インターネットエクスプローラを起動するとメッセージが表示されます。メッセージに許可をし、フィッシング詐欺サイト対策機能を有効にします。

更新サービスの期限が切れてしまった場合は、「Norton Internet Security」ソフトウェアが更新されません。
そのため、新種のウイルスや脅威から本機を保護することができなくなります。
「Norton Internet Security」ソフトウェアのプロダクトキーを別途購入されることをおすすめします。

「Norton Internet Security」ソフトウェアについてのお問い合わせは以下となります。

シマンテック
SONYユーザ様用サービスページ(ユーザー登録・サポート登録・更新方法・技術的なご質問)
ホームページ:http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/sony/

バイオをはじめる前の準備を行う

「バイオをはじめる前の準備」では、バイオを快適にお使いいただくために必要な設定を行います。
以下の手順に従って、設定を行ってください。

1 デスクトップ画面上の[バイオをはじめる前の準備]をダブルクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオをはじめる前の準備」画面が表示されます。

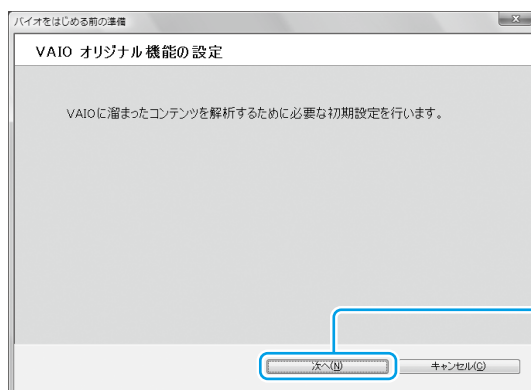
ヒント
「バイオをはじめる前の準備」は、1度実行すると次からは表示されません。

2 画面の指示に従って操作する。

「VAIO オリジナル機能の設定」が表示される場合は、次の「VAIO オリジナル機能の設定を行う」の項目をご覧ください。
最後に、再起動を促す画面が表示されますので、本機を再起動してください。

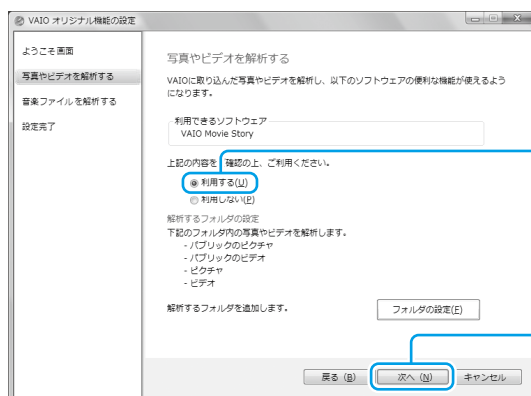
VAIO オリジナル機能の設定を行う

バイオに取り込んだ音楽、写真やビデオを解析するためにVAIO オリジナル機能の設定を行ってください。
VAIO オリジナル機能の設定は「バイオをはじめる前の準備」から設定します。
「VAIO オリジナル機能の設定」画面が表示されたら、以下の手順に従って設定を行ってください。

1 [次へ]をクリックする。

「VAIO オリジナル機能の設定へようこそ」画面が表示されます。

2 [次へ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
設定画面が表示されます。

3 表示される各画面で内容を確認し、[利用する]を選択して[次へ]をクリックする。

ヒント
設定する項目は、お使いのモデルによって異なります。

4 [終了]をクリックする。

VAIO オリジナル機能の設定が完了します。

カスタマー登録する

VAIOカスタマー登録について

ソニーでは、「バイオ」をご所有のお客様へより充実したサービス・サポートをご提供するために、「VAIOカスタマー登録」をおすすめしています。
ご登録いただくと、「My Sony ID」が発行（あるいは、お持ちの「My Sony ID」に製品の登録情報を追加）され、下記の登録特典が得られます。
登録はこちら（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）からお願いいたします。

❑ My Sony ID

「ソニー共通体系のお客様ID」です。
ソニーグループが提供するさまざまなWebサイトやサービスを、ひとつのIDとパスワードでお客様ご本人の認証に利用できます。また、すでに他のIDをご所有の場合も、それらのIDと「IDリンク（ひも付け）」設定を行うことでマスターキーのように使えます。
My Sony IDについて詳しくはMy Sonyホームページ（http://www.sony.co.jp/mysony/）をご覧ください。

！ご注意

- VAIOカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをした後などに再び行う必要はありません。
- 住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ（http://www.mysony.sony.co.jp/）で行うことができます。

VAIOカスタマー登録に関してのお問い合わせは、「カスタマー専用デスク」（124ページ）までご連絡ください。

VAIOカスタマー登録を行っていただくと…

① **セキュリティーや品質などに関する重要な情報をご提供**
お客様のバイオに関する重要な情報をご連絡いたします。

② **ご登録カスタマー専用のサービス・サポートメニューをご用意**
VAIO延長保証などのサービスから、コールバック予約などのサポートまで多彩な専用メニューをご利用いただけます。

③ **優待プログラム「My VAIO Pass」（http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/）（131ページ）をご提供**
ソフトウェアの優待販売や期間限定の特別キャンペーンに加え、ソニーグループ内で広く使えるソニーポイントの連動を強化した優待プログラムをご利用いただけます。

④ **お客様専用のページをご用意**
カスタマー登録の際に発行されるMy Sony IDでログインしていただくと、お客様専用ページをご覧いただけます。

⑤ **電話サポートがよりスムーズに**
ご登録いただいたお客様情報に基づき迅速に対応いたします。

⑥ **バイオに関する最新情報をご提供**
メールニュースなどバイオに関するさまざまな最新情報をお届けします。

❑ ご利用いただける有料サービス

- VAIO延長保証サービス
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Guarantee/
大切なバイオを安心してお使いいただくためのサービスです。
- VAIO Overseas Service（海外現地修理サービス）
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/Service/Overseas/
海外で安心してお使いいただくためのサービスです。
- ソフトウェア・ダウンロード販売サイト、「VAIOソフトウェアセレクション」
http://www.vaio.sony.co.jp/Service/Software/

❑ ご利用いただけるサポート

お客様ひとりひとりにあわせたサポート情報をご提供する「マイサポーター」をご利用いただけます。マイサポーターでは下記のサポートなどをご提供しています。

- 「テクニカルWebサポート」
  https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/mysupporter/
  バイオに関する技術的な質問をインターネット経由で受け付け、電子メールでご返信いたします。
- 「VAIOコールバック予約サービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページから、電話サポートのご予約をしていただけます。
- 「VAIOリモートサービス」
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、使いかたなどのご案内をさせていただきます。
- 「VAIO Hot Street(情報交換サイト)」
  http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
  バイオユーザーの皆様どうしでバイオに関する「投稿」、「質問」、「回答」などのやりとりを行う情報交換サイトをご利用いただけます。

※2007年6月現在

ご利用いただける有料サービスやサポートについて詳しくは、112ページ以降をご覧ください。

VAIOカスタマー登録の方法

VAIOカスタマー登録は、お客様のバイオから2通りの方法で行うことができます。

!ご注意

- VAIOオンラインカスタマー登録を行うには、「コンピュータの管理者」など、管理者権限をもつユーザーとしてログオンする必要があります。
- VAIOカスタマー登録は、本機のリカバリをしたあとなどに再び行う必要はありません。
  住所などの登録内容の変更手続きは、My Sonyホームページ(http://www.sony.co.jp/mysony/)で行うことができます。

❑ プログラムから登録

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIOオンラインカスタマー登録]をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

機種によっては「VAIOオンラインカスタマー登録」が搭載されていない場合があります。次ページの「「My VAIO」から登録」もご覧ください。

2 内容をよく読み、[ご登録ページへ]をクリックする。

登録画面が表示されます。

ヒント
カスタマー登録をしない、またはあとでするときは、画面を閉じてください。

3 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

!ご注意
- 表示された番号は、メモをとるなどして忘れないようにしてください。
- VAIOカスタマーリンクへのお問い合わせの際に、「My Sony ID」が必要になる場合があります。

ヒント
「My Sony ID」は登録メールアドレスに送信されます。

❑ 「My VAIO」から登録

1 「MyVAIO」(http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO)の「MyVAIO メニュー」から「カスタマー登録」をクリックする。

「VAIOオンラインカスタマー登録」画面が表示されます。

2 以降、画面の指示に従って登録する。

登録が完了すると、「My Sony ID」が表示されます。

VAIOの最新情報を自動的に入手する

「VAIO Update」とは

「VAIO Update」は、ソニーがご提供するお客様への「重要なお知らせ」やご使用のバイオを最新の状態にできる「アップデートプログラム」などの情報を自動的にお知らせするソフトウェアです。
ソニーがご提供する情報が更新されると、「VAIO Update」はタスクバーの通知領域からバルーンでお知らせします。

ヒント

VAIO Updateは、無料でご利用いただけます（インターネットご利用時にかかる通信費はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください）。

!ご注意

VAIO Updateを利用するには、あらかじめインターネットに接続していることが必要です。

VAIO Updateでの個人情報の取り扱いについて

ソニーはお客様のプライバシー保護に努めています。

- VAIO Updateでは、お客様がお使いのバイオのシリアル番号やOSおよびインストールソフトウェアなどの情報、ならびにお客様の個人情報をサーバーに送信しません 。
  お客様の個人情報を送信することなくサービスをご提供しておりますので、安心してご利用いただけます。
- VAIO Updateからサーバーへ新着情報を確認するときに、ご使用のバイオのIPアドレスがサーバー上に記録されることがあります。これは、サーバーの履歴情報やアクセス統計のためで、ここから個人情報への結びつけは行いません。

「VAIO Update」の設定を行う

VAIO Updateを利用するには、事前に動作設定をする必要があります。

1 「VAIO Updateへようこそ」バルーンが表示された際にバルーンをクリックするか、または（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［VAIO Update 3］－［VAIO Updateの設定］をクリックする。

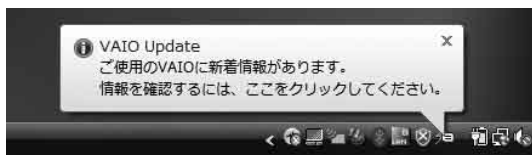
「VAIO Updateの設定」画面が表示されます。

2 「VAIO Updateへようこそ」の内容をスクロールして最後まで読む。

画面表示が下記に変わります。

3 「定期的にサーバーと通信を行い、新着情報を確認する」および「タスクバーにアイコンを表示する」のチェックボックスにチェックがあることを確認し、[OK]をクリックする。

「VAIO Update」を利用する

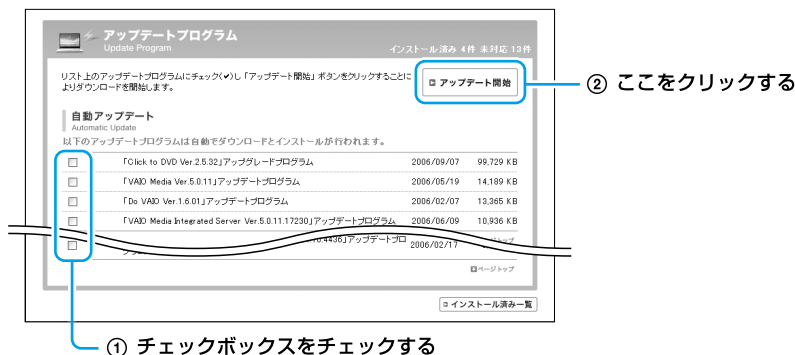
1 VAIO Updateのバルーン画面をクリックする。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Updateのバルーン画面は、タスクバーの通知領域に表示されます。

2 「重要なお知らせ」の確認を行う。

セキュリティ関連情報などソニーがお客様へご提供する「重要なお知らせ」を確認することができます。
件名をクリックすることにより、詳細な内容の確認ができます。

3 アップデートを行う。

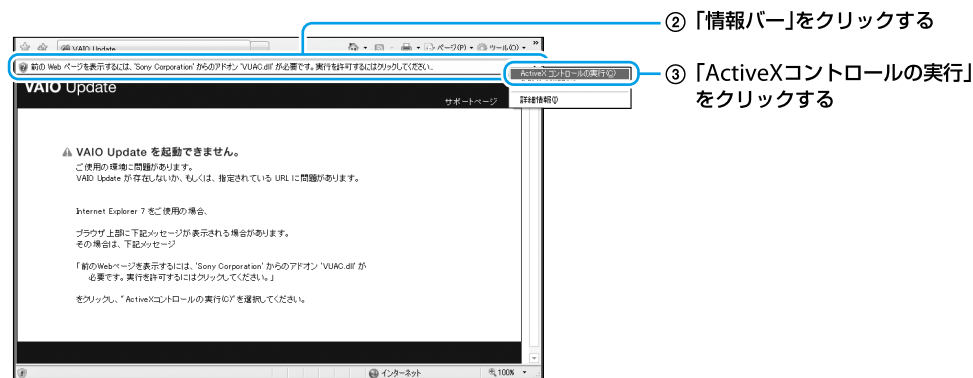
アップデートプログラムには、自動でアップデートできるプログラムと手動でアップデートするプログラムがあります。プログラムの左に表示されているチェックボックスにチェック（複数選択可）を入れ、[アップデート開始]をクリックすると、アップデートが開始されます。

- 自動アップデート：ダウンロードとインストールを行います。
- 手動アップデート：ダウンロードまで行いますので、ダウンロード後はプログラムの件名をクリックし、表示される内容に従ってインストールしてください。
  - ＊ アップデートを行うには、管理者権限を持つユーザとしてログオンする必要があります。

ヒント
アップデートプログラムは、セキュリティ対策などで重要度の高いものには、プログラム名の横に のアイコンが表示されます。
この重要度の高いものについては、アップデートを強くおすすめします。

「VAIO Update」が起動しないときは

VAIO Updateのバルーン表示をクリックすると、下記の画面が表示される場合があります。
表示された場合は、「閉じる」をクリックしてください。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

画面上部の「情報バー」をクリックし、「ActiveXコントロールの実行」をクリックします。
＊ VAIO Updateで使用するActiveXコントロールの実行により、お使いのバイオに影響を及ぼすことはありません。

（実際の画面とは異なる場合があります。）

VAIO Update画面が表示されます。

以上でセットアップが終わりました。

ここまでで本機を使う上で必要な準備と操作は、ひと通り終わりました。更にいろいろな作業をするためには、引き続きこのあとのページや「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。

❑ リカバリディスクの作成方法を知りたい。

- 「リカバリディスクを作成する」(70ページ)をご覧ください。

❑ 電子メールをやりとりしたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(51ページ)
  ([インターネット]－[ホームページ／電子メール]－[電子メールをやりとりする]をクリックする。)

❑ Windowsの基本操作を知りたい。

- 「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。(51ページ)
  ([できるWindows for VAIO]をクリックする。)
- VAIOカスタマーリンクのホームページの「代表的なサポートメニュー」(115ページ)をご覧ください。

Windows Updateについて

より安定した状態でバイオをお使いいただくために、Windows Updateを実行してください。
(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows Update]をクリックする。

画面で見るマニュアルの使いかた

本書の次ページ以降で、本機の使いかたや困ったときの解決方法を紹介しています。「バイオ電子マニュアル」や「VAIOナビ」では、さらに詳しく紹介していますので、ぜひご活用ください。

バイオ電子マニュアルの使いかた

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［バイオ電子マニュアル］をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。
画面の各項目の詳しい説明は、「「バイオ電子マニュアル」を見る」（109ページ）をご覧ください。

VAIOナビの使いかた

（スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［VAIOナビ］をクリックする。

「VAIOナビ」が表示されます。

ミュージック

音楽を取り込む

お気に入りの音楽CDをバイオに録音できます。
自分だけの音楽ライブラリができあがります。

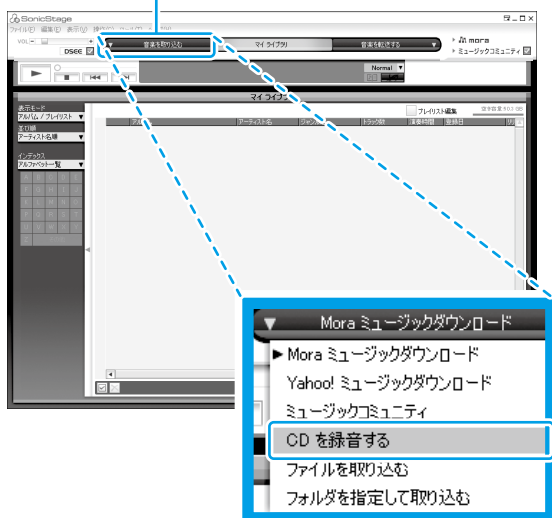
！ご注意
操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

1 (スタート)ボタンー［すべてのプログラム］ー［SonicStage］ー［SonicStage］をクリックする。

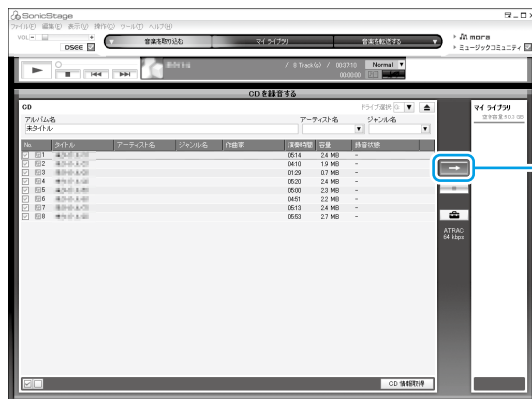
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 取り込みたい音楽CDをドライブに入れる。

ヒント
「SonicStage」ソフトウェアではじめて音楽CDを利用するときは、ドライブのチェックや、音楽CDを入れたときに自動的に録音するかどうかを設定します。表示される画面の指示に従って操作してください。

3 ［音楽を取り込む］にポインタをあわせ、メニューから［CDを録音する］をクリックする。

！ご注意
「VAIO MusicBox」ソフトウェアで音楽を再生する場合は、手順4を行う前に をクリックして表示された「CD録音フォーマットの設定」画面で、フォーマットから［MP3］を選択してください。

4 をクリックする。

音楽の取り込みがはじまり、「マイ ライブラリ」に保存されます。

ここをクリックする。

ヒント

- 画面右下の［CD 情報取得］をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。また、アルバム名、アーティスト名およびタイトルは、画面上で直接入力することもできます。ただし、録音中はこれらの操作はできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 取り込みたくない曲がある場合は、　をクリックする前に、CDトラック番号の　をクリックして　にします。

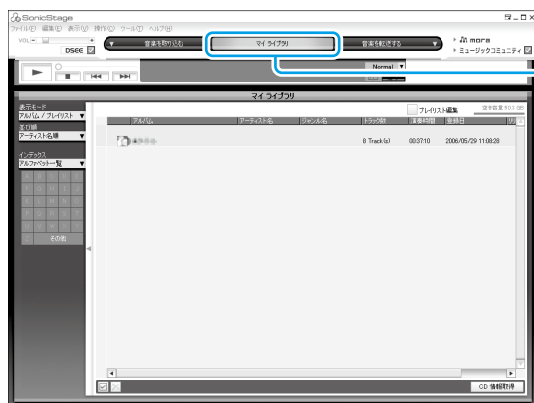
音楽を聞く

取り込んだ音楽コンテンツをジュークボックス感覚で楽しむことができます。
音楽CDを交換する手間はありません。

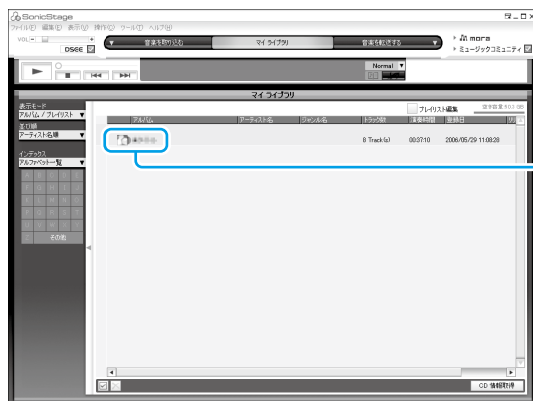
！ご注意

操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

1 （スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［SonicStage］－［SonicStage］をクリックする。

「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ［マイ ライブラリ］をクリックする。

「マイ ライブラリ」画面が表示されます。

3 再生したい曲を含むアルバムをダブルクリックする。

アルバムに収められている曲の一覧が表示されます。

ヒント

- 「マイ ライブラリ」を「すべての曲一覧」モードで表示している場合は、この操作は不要です。
- アルバムを選択して画面右下の[CD 情報取得]をクリックすると、インターネット上のCD情報サービスを利用して、音楽CDのアルバム名や曲名などの情報を自動的に取り込むことができます。ただし、複数のアルバムを指定して情報を検索することはできません。
  詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

4 聞きたい曲をクリックして選択し、[►] をクリックする。

音楽が再生されます。

ヒント

曲をダブルクリックして再生することもできます。

音楽CDを作る

曲やアルバムを選んでお好みの音楽CDを作れます。

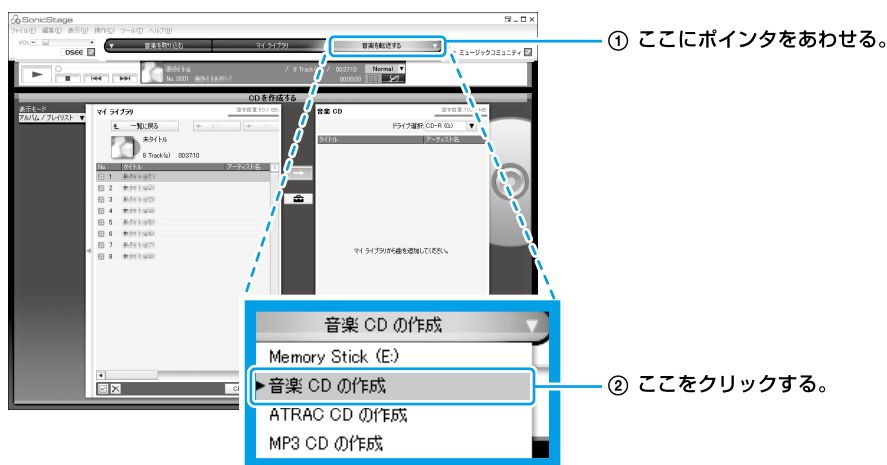
！ご注意

- 音楽CDを作成する場合は、あらかじめ「使用できるディスクとご注意」（162ページ）をご覧ください。
- 操作中に「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてください。

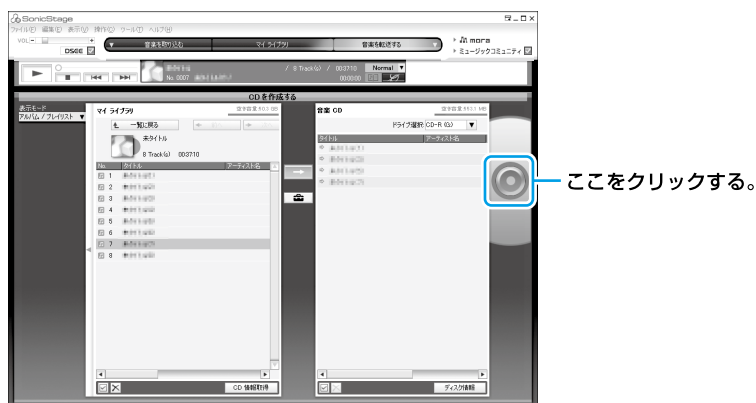
1 （スタート）ボタンー［すべてのプログラム］ー［SonicStage］ー［SonicStage］をクリックする。

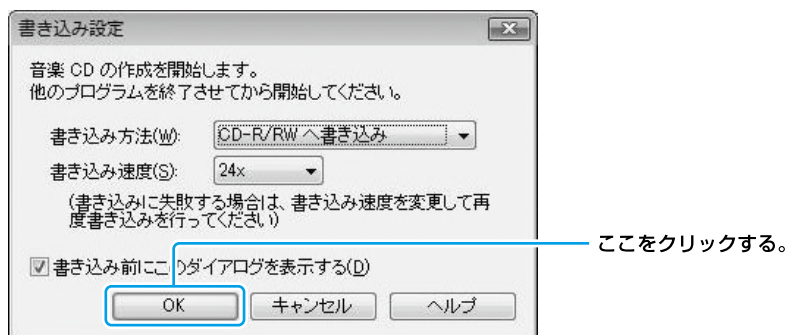
「SonicStage」ソフトウェアが起動します。

2 ブランクメディア（データの書き込まれていないCD-R、CD-RW）をドライブに入れる。

3 ［音楽を転送する］にポインタをあわせ、［音楽CDの作成］をクリックする。

4 CDにしたい曲やアルバムを選択し、[→]をクリックする。

ヒント
- 曲の一覧は、アルバムをダブルクリックすると表示されます。
- マイ ライブラリの曲をCD-R／CD-RWに書き込む場合は、書き込みたい曲をあらかじめ「プレイリスト」などにまとめておくと便利です。

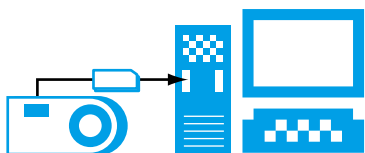
5 CDにしたい曲やアルバムをすべて選択したら、[ボタン]をクリックする。

「書き込み設定」画面が表示されます。

6 [OK]をクリックする。

書き込みが始まります。

フォト

写真を取り込む

デジタルスチルカメラの写真を取り込んでバイオで管理できます。

1　USBコネクタにデジタルスチルカメラを接続するか、“メモリースティック”などのメモリーカードをスロットに入れる。

Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されます。

ヒント

- デジタルスチルカメラやメモリカードなどのメディアをコンピュータに接続する方法については、お使いの機器やメディアの取扱説明書をご覧ください。
- コンピュータの設定によっては、Windowsが実行する動作を指定する画面が表示されないことがあります。この場合は(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Windows フォト ギャラリー]をクリックして「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアを起動し、[ファイル]メニュー－[ギャラリーへのフォルダの追加]をクリックします。
「ギャラリーへのフォルダの追加」画面で取り込みたいメディアやカメラを選択して[OK]をクリックすると、画像とビデオの読み込みが開始されます。

2　[画像の取り込み - Windows使用]をクリックする。

3 「画像とビデオを読み込んでいます」画面が表示されたら、「これらの画像をマーク」を設定する。

マーク欄にマークを直接入力するか、ドロップダウンリストから
マークを選択します。

ヒント
- マークは設定しなくても構いません。
- マークを設定すると、画像にタグを付加して、タグを元に検索や整理ができます。
  タグについては、[オプション]をクリックして表示された画面で設定できます。詳しくは、Windowsのヘルプをご覧ください。

[読み込み]をクリックする。

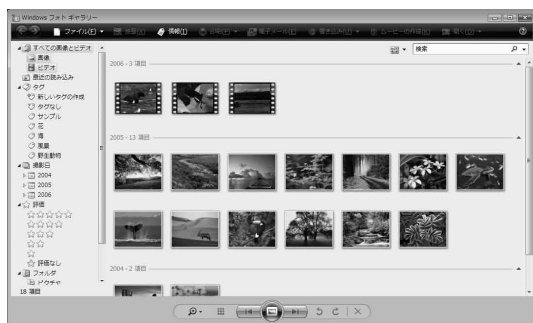
画像の読み込みが開始されます。

これで画像の取り込みは完了です。

写真を見る

取り込んだ写真をWindows フォト
ギャラリーで表示します。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[Windows フォト ギャラリー]をクリックする。

「Windows フォト ギャラリー」画面が表示されます。

画面左側の一覧から見たい項目をクリックすると、その項目に該当する写真が表示されます。
- [すべての画像とビデオ]をクリックすると、「Windows フォト ギャラリー」ソフトウェアに取り込まれているすべての写真が表示されます。
- 「タグ」「撮影日」「評価」をクリックして、条件による写真の検索を行うことができます。

DVDを見る

WinDVDでDVDを再生します。

!ご注意
本機でDVDを再生するときは、映像を扱う他のソフトウェアをすべて終了させてください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[InterVideo WinDVD]ー[InterVideo WinDVD for VAIO]または[InterVideo WinDVD BD for VAIO]をクリックする。

「WinDVD」ソフトウェアが起動します。

2 再生したいDVDをドライブに入れる。

3 再生する。

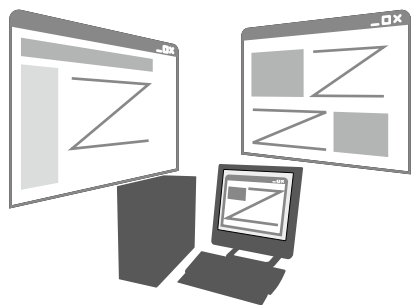
「WinDVD」ソフトウェアの使いかたについて詳しくは、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

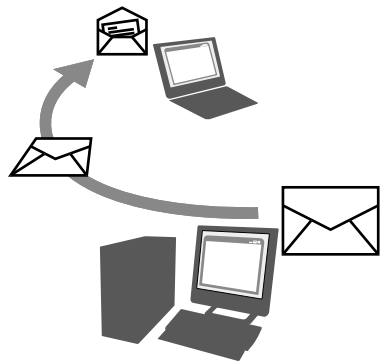
インターネットを始める

インターネットとは

インターネットとは、世界中のコンピュータがつながって構成されている地球規模のネットワークのことです。インターネットを利用するには、インターネット接続サービスを提供する会社(プロバイダ、インターネットサービスプロバイダ(ISP)などと呼びます)と契約し、接続のための設定を行います。
この章では、インターネットを利用したことがない方や、プロバイダと契約していない方を対象に、インターネットの基本的な利用方法を解説します。

インターネットでできること

ホームページを見る

ホームページは、文章や画像、映像、音声などで構成された情報媒体です。ニュースや読み物を読んだり、天気予報やテレビ番組表のような情報を調べたり、買い物を楽しんだりすることができます。

電子メールをやりとりする

インターネットの利用者同士で手紙をやりとりすることができます。画面上で手軽に送ったり受けたりすることができます。

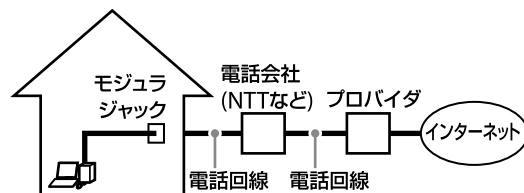
こんなこともできます

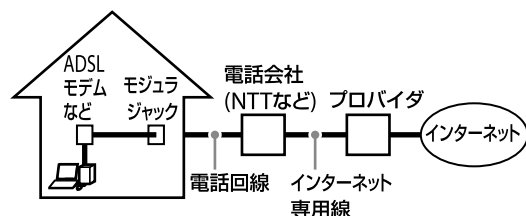
- 無料の電話サービス
  インスタントメッセンジャー(IM)というソフトウェアを利用すれば、利用者同士で無料の音声通話やビデオ通話、チャット(文字による会話)などを楽しむことができます。
- インターネットオークション
  不要になったものなどを個人間で売買することができます。
- 音楽や動画の視聴
  音楽や動画を購入してコンピュータ上で再生し、楽しむことができます。
- 銀行取引・株取引
  銀行や証券会社のホームページで取引することができます。
- ホームページの公開
  ほとんどのプロバイダでは、利用者がホームページを公開するためのサービスを提供しています。ホームページを作ってほかのインターネット利用者と知識を共有したり、自分が作ったものを公開して他の人に見てもらえるようにすることができます。

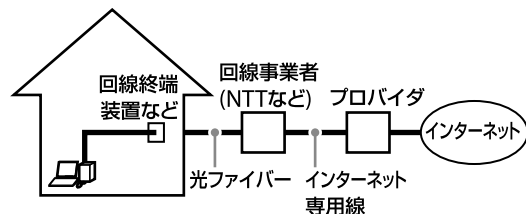
インターネット接続サービスの種類

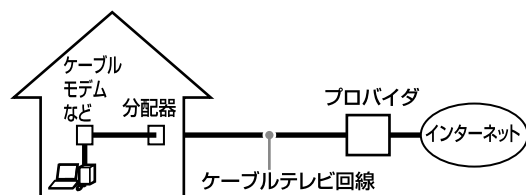
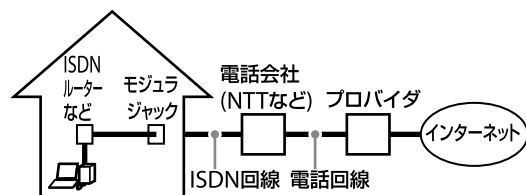
インターネットへの接続手段は複数あり、利用形態に応じて選ぶことができます。一般的には、通信速度や料金などで選択します。各種接続サービスについて詳しくは、プロバイダにお問い合わせください。

❑ 一般電話回線

一般の電話回線を使ってインターネットに接続します。モデム内蔵のコンピュータならほかに機器を必要としないので、手軽にインターネットを始められます。
通信速度は低いため、電子メールしか使わないような場合に適しています。

❑ ADSL

一般の電話回線で高速通信・常時接続が可能な接続方法です。
光(FTTH)ほどの通信速度はありませんが、料金は比較的安いため、コストと通信速度のバランスが取れた接続方法といえます。

❑ 光(FTTH)

光ファイバーケーブルの回線を使ってインターネットに接続します。
ビデオ配信サービスなど、高い通信速度を求められるサービスを利用する場合に適しています。

❑ その他の接続サービス

- CATVインターネット
  ケーブルテレビの回線を使ってインターネットに接続します。通信速度は事業者によって異なり、ADSLあるいは光(FTTH)と同程度で接続ができます。
  すでにケーブルテレビを利用している場合や、利用を検討している場合に適しています。

- ISDN
  NTTのデジタル回線を使ってインターネットに接続します。
  一般電話回線よりも高速ですが、一般電話回線からISDN回線への切り替えが必要です。

その他、インターネット回線が用意されているマンションや、無線による接続など、特殊な接続方法もあります。詳しくはプロバイダにお問い合わせください。

❑ 各接続サービスの特徴

回線の種類	接続可能エリア	高速通信	常時接続
一般電話回線	◎	△	△
ADSL	○	○	◎
光(FTTH)	△	◎	◎
CATV インターネット	△	○／◎	◎
ISDN	○	△	△

◎：最適　○：適している　△：あまり適さない

プロバイダと契約する

インターネットに接続するには、インターネット接続サービスを提供する会社「プロバイダ」と契約する必要があります。数多くのプロバイダがありますので、料金やサービスの内容をご検討のうえ、ご自分に合ったプロバイダと契約してください。
プロバイダについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた] – [ソフト紹介／問い合わせ先] – [本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される「ISPサインアップ」の項目をご覧ください。

!ご注意

- 契約時にクレジットカードが必要になるプロバイダもあります。
- 接続料金はプロバイダにより異なります。

プロバイダのマニュアルに従って機器の接続や設定を行う

契約が完了すると、プロバイダからインターネットの接続に使用するマニュアルや資料、機器などが郵送されてきます。
接続方法や設定方法、使用する機器は接続サービスによって異なります。必ずプロバイダから送られてきたマニュアルをお読みになり、指示に従って設定を行ってください。

インターネットに接続できないときは

インターネット接続ができないときは、次の項目を確認してください。

❑ プロバイダとの契約を確認する

インターネット接続するには、プロバイダと契約する必要があります（62ページ）。

❑ 機器の接続や設定を確認する

契約したプロバイダにより、機器の接続や設定方法が異なります。プロバイダから支給されるマニュアルをよくお読みになり、機器の接続や設定を行ってください。本機とLANケーブルやテレホンコードの接続は24ページをご覧ください。

❑ 「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、インターネットに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックすると起動することができます。

- 使いかたについては
［インターネット］－［ホームページ／電子メール］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- モデムがダイヤルしないなど、困ったときは
［Q&A集］－［インターネット］－［インターネット接続］の各項目や［ホームページ／電子メール］をクリックして表示された情報をご覧ください。

ワイヤレスLANで接続できないときは

ワイヤレスLANを使ってインターネットに接続することもできます。（ワイヤレスLAN搭載モデル）

ワイヤレスLANを使って接続できないときは、次の項目を確認してください。

❑ 「バイオ電子マニュアル」で解決方法を探す

「バイオ電子マニュアル」には、ワイヤレスLANに関する情報が記載されています。
「バイオ電子マニュアル」は、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］をクリックすると起動することができます。

- ワイヤレス機能を有効にしたいときは
［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- アクセスポイントが使用できないときは
［Q&A集］－［パソコン本体］－［LAN ／ワイヤレスLAN］をクリックして表示された情報から「ワイヤレスLANが使えない」や「本機とワイヤレスLANアクセスポイントの通信ができない（インターネットにアクセスできない）」の項目をご覧ください。
- ネットワーク キーについて知りたいときは
［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- 暗号化について知りたいときは
［パソコン本体の使いかた］－［LAN ／ワイヤレスLAN］－［ワイヤレスLANで通信する］をクリックして表示された情報をご覧ください。
- 通信速度が遅いときは
［Q&A集］－［パソコン本体］－［LAN ／ワイヤレスLAN］をクリックして表示された情報から「ワイヤレスLAN経由で受信した映像や音声が、再生できなかったり途切れたりする　また、通信速度が遅い」の項目をご覧ください。

セキュリティについて

コンピュータを安心してご使用になるために、大切なデータを失わないための対策や、第三者からコンピュータを守るためのセキュリティについてご紹介いたします。

コンピュータウイルスについて

コンピュータウイルスとは、コンピュータに被害を与えるソフトウェアの総称です。何らかの原因でコンピュータウイルスが実行される(これを感染と呼びます。)と、以下のような被害にあってしまいます。

被害の例

- ファイルが勝手に消去されたり、内容が改変されたりする。
- ウイルスの作成者などに、コンピュータ上に保存された個人情報(電子メールのデータやアドレス帳のデータ、WordやExcelなどで作成したデータなど)がインターネットを通じて勝手に送信される。
- ウイルスの作成者などに、違法な広告メールの発信元として利用される。
- コンピュータ上に保存された電子メールアドレスあてに、勝手にウイルス付きの電子メールが送られる。

コンピュータウイルスに感染する経路

- **コンピュータウイルスに感染した文書(WordやExcelなど)を開く**
  WordやExcelでは、処理を自動化するためのマクロと呼ばれる機能があります。この機能を悪用して、コンピュータウイルスとして作られたものが添付されている可能性があります。このような文書を開くと、コンピュータ内の他の文書にもコンピュータウイルスを添付されてしまいます。
- **コンピュータウイルスが添付された電子メールの実行ファイルを開く**
  知っている人からの電子メールだと思って画像ファイルを開いたつもりが、実は画像ファイルに偽装したコンピュータウイルスだったということがあります。コンピュータウイルスに感染すると、勝手にコンピュータウイルス付きの電子メールを送るようになってしまう場合があるため、ファイルを開くときは細心の注意が必要です。
- **ホームページで入手した実行ファイルを開く**
  インターネットでは、無料のソフトウェアが公開されていることがあります。そのソフトウェアの作成者のコンピュータがコンピュータウイルスに感染していたなどの理由で、公開されているソフトウェアそのものがウイルスになってしまっている場合があります。
- **インターネットにつないでいると勝手に感染する**
  非常にまれですが、Windowsに大きな欠陥が発見されるとその欠陥を悪用したコンピュータウイルスが作成され、何もしていなくてもコンピュータがコンピュータウイルスに感染するという状況になる場合があります。しかし、後述するファイアウォール機能が動作していれば防ぐことが可能です。また、このような重大な欠陥はすぐに後述するWindows Updateで対策用のソフトウェアが配布されるため、きちんと対策しておけば問題ありません。

コンピュータウイルスへの対策方法

以下の対策をきちんと行うことで、コンピュータウイルスに感染することはほとんどなくなります。

❑ コンピュータウイルス対策用のソフトウェアを使用する

コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、コンピュータ内にコンピュータウイルスが存在していないか検査して問題があれば処理したり、開こうとしているファイルが安全かどうかを検査して危険な場合は開くのを阻止したりするソフトウェアです。
本機には、コンピュータウイルス対策用ソフトウェアとして、「Norton Internet Security」ソフトウェアがあらかじめ搭載されています。
コンピュータウイルス対策用ソフトウェアは、過去に発見されたコンピュータウイルスの情報をウイルス定義ファイルという形で保持しており、この情報を元に、コンピュータにコンピュータウイルスが存在していないか、開こうとしているファイルは安全かどうかを検査しています。コンピュータウイルスは毎日新しいものが発見されているため、ウイルス定義ファイルは定期的に更新する必要があります。本機に搭載されている「Norton Internet Security」ソフトウェアでは、90日間無料でウイルス定義ファイルを更新することができます。
「Norton Internet Security」ソフトウェアについて詳しくは、39ページをご覧ください。

!ご注意

- 本機の2回目の起動時か、「Norton Internet Security」ソフトウェアをはじめて起動したときは、「Norton Internet Security」画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
- ネットワークに接続した状態で「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォールを有効にした場合、セキュリティチェックのため本機が起動するまでしばらく時間がかかりますが、そのままお待ちください。
- 本機をウイルスから守るために、定期的に「LiveUpdate」を実行して、ウイルス定義ファイルを最新の状態にしてください。

❏ Windows Updateを使ってWindowsを更新する

Windows Updateでは、新たに発見された欠陥を修正するためのソフトウェアが配布されています。Windowsの欠陥を悪用するコンピュータウイルスは、コンピュータウイルス対策ソフトウェアを使っても対処できないことがあるため、Windows Updateで最新の状態を保つようにしてください。
「Windowsを準備する」(33ページ)の手順に従ってセットアップすると、自動更新機能が有効になります。この状態でインターネットに接続していると、Windows Updateにて提供されるプログラムの更新を定期的に確認し、自動的にインストールすることができます。
また、(スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Windows Update]をクリックすると、Windows Updateのホームページが表示されます。こちらでプログラムの更新を確認することもできます。

!ご注意

Windows Updateにて提供されるドライバの更新はおすすめしません。ドライバの更新をすることにより、本機のプリインストール状態の動作に不具合が生じる場合があります。ドライバを更新する場合は、VAIOカスタマーリンクのホームページ上で提供されるドライバを適用してください。

本機のWindows Updateに関する情報は、次のVAIOカスタマーリンクのホームページをご覧ください。
Windows Update関連情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/products/winupdate/index.html

ファイアウォール機能について

ファイアウォール機能は、インターネットに接続しているときに第三者が不正な方法でお使いのコンピュータに接続することを阻止する機能です。本機は、Windowsに搭載されているファイアウォール機能に加え、「Norton Internet Security」ソフトウェアのファイアウォール機能を搭載しています。

!ご注意

ファイアウォール機能を有効にすると、ソフトウェアの一部の機能が使えなくなる場合があります。詳しくは、お使いのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

詐欺について

インターネット特有の詐欺には以下のようなものがあります。

- **架空請求詐欺**
  ホームページを開くと、突然「ご登録いただきましてありがとうございました」などと表示するとともに利用料を請求されることがあります。これは架空請求詐欺ですので、利用料を支払う必要はありません。
  画面上にはお使いのプロバイダ名などが表示され、一見すると個人情報が登録されてしまっているように見えますが、表示されている以上のことは相手にわかりません。不安な場合は、表示されているアドレスや連絡先をメモしたうえで、国民生活センターなどにお問い合わせください。
- **フィッシング詐欺**
  銀行などを装って電子メールを送りつけてきて、カード番号や接続ID、パスワードなどを偽のホームページで入力させる詐欺です。
  電子メール上のアドレスをクリックすると、本物と同じデザインのホームページが表示されますが、偽のホームページなのでカード番号などは一切入力しないでください。このような情報を入力するときは、電子メール上のアドレスをクリックしてホームページを開くのではなく、銀行など対象のホームページを自分で開き、そこで入力してください。

個人情報の管理について

インターネットを利用していると、ユーザー登録などを行うために名前や住所、あるいはクレジットカードの番号や銀行の口座番号などといった個人情報の入力を求められることがあります。このような情報を入力するときは、サービス提供者の個人情報管理方針や信用度などを確認してください。少しでも不審な点があれば入力をやめるなどの対応を取り、個人情報の公開には細心の注意を払ってください。

その他セキュリティについて

セキュリティやコンピュータウイルスに関する最新情報および修正プログラムを入手することにより、より安全な環境でご使用いただけます。
ソニーでは、セキュリティやウイルスに関する最新情報やよくある質問を下記のホームページにて提供しております。定期的に最新情報をご確認ください。
VAIOカスタマーリンク ホームページ ウイルス・セキュリティ情報
http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
VAIOカスタマーリンクモバイル(お知らせ)
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

また、セキュリティに関するご質問・ご相談につきましては、下記の窓口までお問い合わせください。
VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口
電話番号:(0466)30-3016
受付時間:
平日 10:00 ~ 21:00
土・日・祝日 10:00 ~ 17:00

増設する

メモリを増設する

メモリを増設すると、データの処理速度や複数のソフトウェアを同時に起動したときの処理速度が向上します。
本機にはメモリモジュールを取り付けるスロットが2つあり、最大4 Gバイトまで増設することができます。*1
別売りのメモリモジュールを取り付けることにより、メモリを増設します。
2か所のスロットに同じ容量のメモリモジュールを装着すると、デュアルチャンネル転送モードになり、パフォーマンスが向上します。*2

*1 搭載できるメモリーの最大容量は4 Gバイトですが、OSが使用可能な領域は最大約3 Gバイトです。
*2 デュアルチャンネル転送モード対応モデルのみ。対応モデルについては、「主な仕様」（152ページ）をご覧ください。

メモリを増設するときのご注意

- メモリの増設は注意深く行う必要があります。取り付けかたや取りはずしかたを誤ると、本機の故障の原因になります。電気的な専門知識が必要な作業ですので、販売店などに取り付けを依頼されることをおすすめします。
- ご自分でメモリの増設を行った場合には、内部コネクタの接続不備や破損、メモリの接続が不十分なことにより故障や事故を起こすことがあります。この場合の修理はすべて有償となります。
- メモリ増設の際は、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- メモリ増設の際は、本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないように注意深く作業してください。
- メモリ増設の際は、本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないように注意してください。
- メモリ増設の際に水などの液体や異物（ネジなどの金属物など）が本機内部に混入したままの状態で電源を入れると、発煙のおそれがあります。必ず異物を取り除いてふたを取り付けてから電源を入れてください。
- 本機の内部基板の電子部品には、手を触れないでください。外部からの力や静電気に大変弱いものがあり、故障の原因となります。
- 市販のメモリモジュールについてのサポートは弊社では行っておりません。ご不明の点はメモリモジュールの販売元にご相談ください。

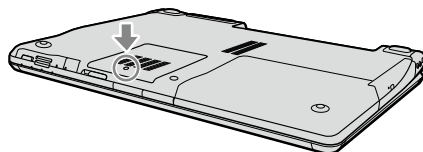
ヒント
メモリの増設についてのご相談やご質問は、VAIOカスタマーリンク修理窓口までご連絡ください。

メモリを取り付けるには

！ご注意
- メモリモジュールの取り付けは、必ず本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずした状態で行ってください。電源コードやバッテリを取り付けた状態でメモリモジュールを取り付けると、メモリモジュールや本機、周辺機器が破損することがあります。
- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - 静電気の起こりやすい場所（じゅうたんの上など）では作業しないようにしてください。
  - 静電気を体から逃すため、本体の金属部に触れてから作業を始めてください。ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
  - メモリモジュールは静電気防止袋に入っています。取り付け直前まで袋から出さないでください。
- メモリモジュールを持つときは半導体やコネクタに触れないようにしてください。
- メモリモジュールには、向きがあります。メモリモジュールのエッジコネクタの切り欠き部分とスロットのコネクタ（溝の内側）部分の突起の位置を正しくあわせてください。無理に逆向きにメモリモジュールをスロットに押し込むと、メモリモジュールやスロットの破損や基板からの発煙の原因となりますので特にご注意ください。

1 本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。

2 本機を裏返し、底面のふたを開ける。

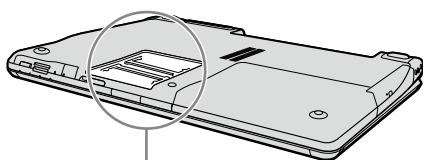
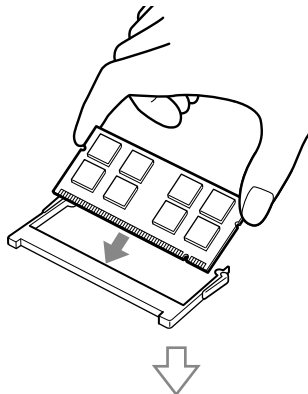
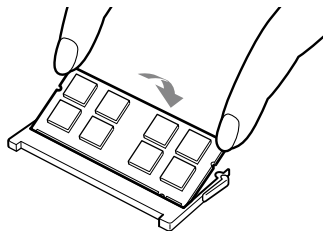
底面のネジ（矢印のマークが付いている1か所）をプラスドライバーで取りはずします。

！ご注意
- ドライバーはネジのサイズにあったもの（精密ドライバーなど）をお使いください。
- 指定以外のネジをはずしたり、ゆるめたりしないでください。本機の故障の原因となるおそれがあります。

3 本機の金属部などに触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを静電気防止袋から取り出す。

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

4 メモリモジュールを取り付ける。

① メモリモジュールのエッジコネクタ部分を下にむけ、切り欠き部分をスロットの溝にあわせて、奥までしっかりと差し込む。

② 「カチッ」と音がするまで、矢印の方向にメモリモジュールをゆっくりと倒す。
メモリモジュールの両端が固定されます。
このとき、メモリモジュールの黒いICの部分には触れないでください。

!ご注意

- メモリモジュール以外の基板には触れないようご注意ください。
- 取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。

5 ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。

6 手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付けて、本機の電源を入れる。

メモリ容量を確認するには

メモリモジュールを取り付けた際は、以下の手順に従ってメモリ容量を確認してください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオの設定]をクリックする。

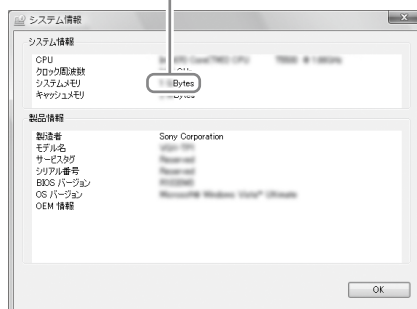
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「バイオの設定」画面が表示されます。

2 [システム情報]ー[システム情報]をダブルクリックする。

「システム情報」画面が表示されます。

3 「システムメモリ」の項目が増設後のメモリ容量になっていることを確認する。

メモリの容量が正しければ、メモリの増設は完了しました。
メモリの容量が増えていないときは、本機の電源を切っていったんメモリモジュールを取りはずし、もう一度正しく増設の手順を繰り返してください。

ここを確認する。

メモリを取りはずすには

!ご注意

- メモリモジュールを取りはずす前に、本機の電源を切り、約1時間ほどおいてから作業を行ってください。電源を切ったすぐあとは、本機の内部が熱くなっており、やけどをするおそれがあります。
- 本機内部の部品や基板などの角で手や指をけがしないよう注意深く作業してください。
- 本機内部のケーブルに指などを引っかけてはずさないよう注意してください。

メモリモジュールの取り扱いについて

- 静電気でメモリモジュールを破壊しないように、メモリモジュールを取り扱うときは、次のことをお守りください。
  - メモリモジュールを取りはずすときは、静電気の起こりやすい場所(カーペットの上など)では作業しないでください。
  - 静電気を体から逃がすため、本機の金属部に触れてから作業を始めてください。
    ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。
- メモリモジュールを保管するときは、静電気防止袋またはアルミホイルで覆ってください。

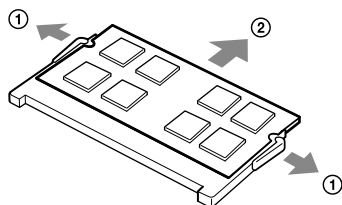
1 **本機と周辺機器の電源を切り、電源コードやバッテリ、およびすべての接続ケーブルを取りはずす。**

2 **「メモリを取り付けるには」の手順2を行う。**

3 **本機の金属部に触れて体の静電気を逃がしてから、メモリモジュールを取りはずす。**

ただし、本機内部の金属部には触らないようご注意ください。

① メモリモジュールを固定しているタブを、注意しながら同時に押し広げる。

② メモリモジュールを矢印の方向に引き抜く。

4 **ふたを元に戻し、ネジをしっかり締める。**

5 **手順1で取りはずした電源コードやバッテリなどを取り付ける。**

バックアップについて

バックアップとは

バックアップの必要性

バックアップとは、コンピュータに保存されたデータをコピーし、元のデータとは別の場所に保存することです。本機を使用しているうちに、作成した文書ファイルやデジタルスチルカメラで撮った写真など様々なデータが保存されていきますが、予想外のトラブルやコンピュータウイルスの感染などによって保存されたデータが壊れてしまう可能性があります。
このような場合に、大切なデータを元に戻すことができるよう、日常的にデータをバックアップすることをおすすめします。

バックアップの種類

データのバックアップは、「VAIO リカバリセンター」の「Windows バックアップと復元」で行います。(72ページ)
バックアップには用途に応じて以下の種類があります。

- **ファイルのバックアップ**
  本機に保存したメールや写真などファイルの種類ごとにデータをCDやDVD、外付けハードディスクなどにバックアップすることができます。
  ファイルのバックアップの操作方法について詳しくは、「ファイルをバックアップするには」(72ページ)をご覧ください。

- **Complete PC バックアップ(Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル)**
  コンピュータ全体のバックアップをすることができます。Complete PC バックアップを使ってバックアップしておくとハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。
  Complete PC バックアップの操作方法について詳しくは、「Complete PC バックアップでバックアップするには」(74ページ)をご覧ください。

- **復元ポイント**
  新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
  そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。復元ポイントについて詳しくは、「システムの復元ポイントを作成するには」(75ページ)をご覧ください。

ヒント
CD ／ DVDドライブが搭載されていない機種をお使いの場合、バックアップする際に外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブを用意するか、またはC:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成する必要があります。(88ページ)

!ご注意

- 本機の不具合など、何らかの原因でデータが消去、破損した場合、いかなる場合においても記録内容の補修や補償についてはいたしかねますのでご了承ください。
- お買い上げ後はすぐにリカバリディスクを作成してください。本機に不具合が生じ、Windows上の操作でデータをバックアップできない場合に、リカバリディスクにあるバックアップツールを使ってバックアップすることができます。リカバリディスクの作成方法については、「リカバリディスクを作成する」(70ページ)をご覧ください。

リカバリディスクを作成する

リカバリディスクについて

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

リカバリには、リカバリディスクを使用する場合があります。リカバリディスクは本機に付属していないため、本機をお買い上げ後、必ず作成してください。
詳しくは、「リカバリする」(80ページ)をご覧ください。

!ご注意

下記のような操作を行った場合に、ハードディスクのリカバリ領域の情報を書き替えてしまい、リカバリ領域からリカバリができなくなることがあります。

- パーティションを操作するソフトウェアを使用する
- お買い上げ時以外のOSをインストールする
- 「VAIO リカバリセンター」を使用しないでハードディスクをフォーマットする

このような場合は、お客様が作成したリカバリディスクによるリカバリが必要となりますが、リカバリディスクを作成していないと、リカバリディスクを購入したり、有償による修理が必要となりますので、事前にリカバリディスクを作成することをおすすめします。

リカバリディスクのご提供について(有償)

VAIOカスタマーリンクでは、リカバリディスクを有償にてご提供するサービスを行っています。
「マイサポーター」からお申し込みいただけます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/rdisc.html
*マイサポーターからお申し込みいただくにはVAIOカスタマー登録が必要です。(44ページ)

!ご注意

- 本機で作成したリカバリディスクは本機でのみ使用できます。他の製品には使用できません。
- 本機で作成したリカバリディスクを使うと、暗号化していないハードディスク上のデータを自由に操作することができます。ハードディスクのデータを保護したい場合は、パスワードを登録したり、ハードディスクの暗号化機能を使うなどして保護してください。
- ハードディスク上の空き容量が少ない場合は、リカバリディスクを作成できません。

リカバリディスクを作成するには

本機を使用する準備ができたら、はじめに以下の手順に従ってリカバリディスクを作成してください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[リカバリディスクの作成]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 内容をよく読んでから[次へ]をクリックする。

ディスクの種類選択の画面が表示されます。

4 使用するディスクを選択する。

！ご注意

- Blu-ray DiscまたはDVD-RAMはリカバリディスク作成用のディスクとしてお使いになれませんのでご注意ください。
  使用できるディスクについて詳しくは、「使用できるディスクとご注意」(162ページ)をご覧ください。
- お使いの機種によっては、CD-RまたはCD-RWでリカバリディスクを作成できない場合があります。その場合はDVDをお使いください。

5 [次へ]をクリックする。

未使用ディスクの挿入を促すメッセージが表示されます。

6 選択した種類のディスクをドライブに挿入し、[OK]をクリックする。

リカバリディスクの作成が始まり、現在の作成状況が表示されます。
画面の指示に従って操作してください。

！ご注意

- リカバリディスクの作成状況が表示されるまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- リカバリディスクの作成中には、ドライブのイジェクトボタンを押さないでください。

ディスクへの書き込みが完了すると、ディスクがドライブから自動的に出てきます。

7 ディスク作成完了のメッセージが表示されるので、画面の指示に従って、ディスク名を油性のフェルトペンなどでディスクのレーベル面(データが記録されていない面)に書き込み、[OK]をクリックする。

はじめてリカバリディスクを作成しているときは、すべてのリカバリディスクを作成するまで手順6、7を繰り返します。
リカバリディスクの作成が完了するとメッセージが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

これでリカバリディスクの作成は終了です。

「バックアップと復元センター」を使う

「バックアップと復元センター」について

「バックアップと復元センター」を使うと、データのバックアップやバックアップデータの復元、復元ポイントの設定をすることができます。
「バックアップと復元センター」は次の手順で起動します。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント
管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[Windows バックアップと復元]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

「バックアップと復元センター」画面が表示されます。

（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルをお使いの場合）

（Windows Vista Home Premium ／ Home Basic搭載モデルをお使いの場合）

ファイルをバックアップするには

初めてファイルをバックアップする場合は、下記の手順でバックアップデータの保存先や作成するファイルの種類、スケジュールの設定などを行います。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ファイルのバックアップ」画面が表示されます。

ヒント
「ファイルのバックアップ」画面が表示されない場合は、デスクトップ画面右下の通知領域に表示される[ファイル バックアップを実行中です]というメッセージをクリックしてください。

3 バックアップデータの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント
バックアップデータの保存先は、以下の4種類から選択します。

- 外付けハードディスクドライブ（推奨）
- CDまたはDVD
- C:ドライブ以外のドライブ*
- ネットワーク上

* 本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション（C:ドライブ）のみになっています。C:ドライブのパーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。（88ページ）
ただし、万一ハードディスクが故障した場合ドライブのデータは失われるので注意してください。

4 バックアップしたいファイルの種類にチェックをつけ、[次へ]をクリックする。

5 [設定を保存しバックアップを開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

ヒント
スケジュールを設定すると設定した日時で自動的にファイルをバックアップすることができます。必要に応じてスケジュールを設定してください。

スケジュールを設定しない場合は、表示された状態のまま[設定を保存しバックアップを開始]をクリックし、次の手順に進んでください。

6 「バックアップと復元センター」画面で「ファイルのバックアップ」の下にある[設定の変更]をクリックする。

7 「自動バックアップは現在有効になっています。」の右側にある[無効にする]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

これで自動バックアップの機能が無効になります。バックアップの保存先と作成するファイルの種類の設定はそのまま保持されています。
以降、「バックアップと復元センター」画面で[ファイルのバックアップ]をクリックするだけでバックアップすることができます。

!ご注意
- 「SonicStage」ソフトウェアで管理している曲や、画像・情報などのデータは「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。「SonicStage バックアップツール」を使ってバックアップしてください。
  「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
- 「Windows Media Center」ソフトウェアで録画したアナログ放送の番組は、「バックアップと復元センター」ではバックアップできません。手動でバックアップしてください。(アナログテレビチューナー搭載モデル)

バックアップからデータを復元するには

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [ファイルの復元]をクリックする。

「ファイルの復元」画面が表示されます。

3 [最新バックアップにあるファイル]または[古いバックアップにあるファイル]を選択し、[次へ]をクリックする。

[古いバックアップにあるファイル]を選択した場合は、表示された画面の「日付と時刻」欄から復元したいバックアップファイルの日付を選択して、[次へ]をクリックしてください。

4 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

一覧にデータが表示されていない場合は、[ファイルの追加]や[フォルダの追加]をクリックして表示された画面からバックアップデータを選択し、[追加]をクリックしてください。

5 復元するバックアップデータの保存先を選択し、[復元の開始]をクリックする。

6 「ファイルは正常に復元されました。」と表示されたら、[完了]をクリックする。

Complete PC バックアップでバックアップするには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。
Complete PC バックアップを使うと、コンピュータ全体のバックアップをすることができます。
ハードディスクや本機の調子が悪くなった場合に、バックアップ時の状態に復元することができます。

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 [コンピュータのバックアップ]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「Windows Complete PC バックアップ」画面が表示されます。

3 バックアップの保存先を選択し、[次へ]をクリックする。

確認画面が表示されます。

4 内容をよく確認してから、[バックアップの開始]をクリックする。

バックアップが開始されます。

5 「バックアップは正常に完了しました。」と表示されたら[閉じる]をクリックする。

!ご注意

Complete PC バックアップはコンピュータ上のすべてのデータをバックアップするため、復元する際にファイルを選択することはできません。
また、Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更したファイルは復元されません。

Complete PC バックアップからデータを復元するには

Complete PC バックアップはWindows Vista Ultimate ／ Business搭載モデルのみお使いになれます。

!ご注意

- バックアップデータを外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブに保存した場合は、復元する前に再度外付けドライブを接続してください。
- データを復元する前に、ファイルのバックアップを使って必要なファイルをバックアップしてください。
  システムの復元を行うと、システムファイルの変更が行われるため、ソフトウェアが正常に起動しないなど不具合が生じる可能性があります。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [Windows Complete PC 復元]をクリックする。

「Windows Complete PC 復元」画面が表示されます。
バックアップデータをCDやDVDに保存している場合は、ディスクをドライブに挿入してください。

5 復元するバックアップデータを選択し、[次へ]をクリックする。

6 表示された内容をよく読んでから、[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、復元を実行する場合はチェックボックスにチェックを付け、[OK]をクリックする。

復元が完了すると自動的に再起動し、「システム回復オプション」のキーボード レイアウトの選択画面に戻ります。

システムの復元ポイントを作成するには

システムの復元とは

新しいソフトウェアをインストールしたり、Windowsの設定を変更したりすると、本機の調子が悪くなる(反応が遅くなる、ソフトウェアが起動しなくなる)場合があります。
そのような作業をする前に復元ポイントを設定しておくと、本機の調子が悪くなった場合に元に戻すことができます。

ヒント
復元ポイントは自動的に作成されますが、手動で作成することもできます。
ソフトウェアやドライバをインストールするときは、念のためインストールする前に手動で復元ポイントを作成することをおすすめします。

システムの復元ポイントを手動で作成する

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[復元ポイントの作成または設定の変更]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

3 [システムの保護]タブをクリックする。

4 「自動復元ポイント」で復元ポイントを作成したいドライブのチェックボックスにチェックを付け、[作成]をクリックする。

復元ポイントの作成画面が表示されます。

5 復元ポイントを識別するための説明を入力し、[作成]をクリックする。

6 「復元ポイントは正常に作成されました。」と表示されたら、[OK]をクリックする。

「自動復元ポイント」の「最新の復元ポイント」の日時が更新されます。

システムの復元ポイントから復元するには

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアを使用している場合、大切な曲データの消失を防ぐために、システムの復元をする前にあらかじめ「SonicStage バックアップツール」を使って曲データをバックアップしてください。
システムの復元をすると、曲のデータベースの管理情報に不整合が生じ、それまでに録音あるいは取り込んだ曲データのすべてが再生できなくなる場合があります。
システムの復元をしたあとに「SonicStage バックアップツール」で曲データを復元することで、保存した曲データが再生できるようになります。
「SonicStage バックアップツール」の使いかたについて詳しくは、「SonicStage」ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

❑ Windowsが起動する場合は

1 「バックアップと復元センター」を起動する。

2 画面左側の「タスク」から[システムの復元を使ってWindows を修復]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「システムの復元」画面が表示されます。

3 [次へ]をクリックする。

4 復元させたい日時の復元ポイントを選択して、[次へ]をクリックする。

復元するディスクの確認画面が表示されます。

5 内容をよく確認して[次へ]をクリックする。

復元ポイントの確認画面が表示されます。

6 内容をよく確認して[完了]をクリックする。

7 確認画面が表示されるので、[はい]をクリックする。

システムの復元が行われ、本機が再起動します。

8 完了画面が表示されるので、[閉じる]をクリックする。

❑ Windowsが起動しない場合は

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF8キーを押す。
③ 「詳細ブート オプション」画面が表示されるので、一番上の「コンピュータの修復」が選択されていることを確認して、Enterキーを押す。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

F8キーから起動した場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを入力し、手順4へ進んでください。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

ヒント

ファイルのバックアップを使ってバックアップをした後に変更されたファイルについては、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしてください。(84ページ)

4 [システムの復元]をクリックする。

「システムの復元」画面が表示されます。
以降、「Windowsが起動する場合は」の手順3 ～ 8に従って操作してください。

ソフトウェアやドライバを復元するには

本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に動かなくなった場合に、正常な状態に戻すことができます。

!ご注意

ソフトウェアやドライバによっては、復元できないものもあります。
お使いの環境によっては「ソフトウェアの再インストール」を行っても、正常に動作しない場合があります。また、再インストールする前に作成したデータが削除されてしまう可能性があります。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

2 画面左側の[ソフトウェアの再インストール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」をすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

4 内容をよく読み、[次へ]をクリックする。

5 復元したいソフトウェアまたはドライバのチェックボックスをクリックしてチェックし、[次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従って操作してください。

リカバリ(再セットアップ)

本機の動作が不安定になったり、反応が遅くなったりした場合は、以下のような原因が考えられます。

- コンピュータウイルスに感染した
- Windowsの設定を変更した
- 本機で動作の保証がされていないソフトウェアやドライバをインストールした

このような場合には、次の流れに従って本機の復旧を試みてください。

本機の調子が悪くなったときは

Windowsが起動する場合

Windowsが起動しない場合は「Windowsが起動しない場合」をご覧ください。(79ページ)

手順1
リカバリディスクを作成していない場合は、作成する。(70ページ)

手順2
必要なファイルのバックアップをとる。(72ページ)

手順3
以下のいずれかを実行してみる。

- システムの復元をする。(76ページ)
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使って、システムの復元をしてください。
- ソフトウェアやドライバをインストール後に本機の調子が悪くなった場合は、インストールしたソフトウェアやドライバをアンインストールする。
- 本機にプリインストールされているソフトウェアやドライバが正常に働かなくなった場合は、それらを再インストールする。(77ページ)
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップをしていた場合は、バックアップデータを復元する。(Windows Vista Ultimate / Business搭載モデル)(74ページ)
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。

手順4
それでも本機の調子が悪い場合は、リカバリする。(81ページ)

!ご注意
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

Windowsが起動しない場合

Windowsが起動しないときは、次の流れに従って操作します。

手順1

以下のどちらかを実行してみる。

- システムの復元をする。（76ページ）
  本機の調子が悪くなる前の最新の復元ポイントを使ってシステムの復元をしてください。
- 以前にCompletePC バックアップを使ってバックアップしていた場合は、バックアップデータを復元する。（Windows Vista Ultimate ／ Business搭載モデル）（74ページ）
  Complete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更されたファイルは復元されません。最後にComplete PC バックアップを使ってバックアップした後に変更または作成されたファイルについては、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。（84ページ）

それでもWindowsが起動しない場合は、さらに次の流れに従ってリカバリする必要があります。

手順2

データをバックアップしていなかった場合は、VAIO データレスキューツールで必要なファイルをバックアップする。（84ページ）

本機の調子が悪くなる前にファイルのバックアップを使ってバックアップをしていて、その後に変更または作成されたファイルで必要なファイルがある場合は、VAIO データレスキューツールでバックアップしてください。

手順3

「VAIO ハードウェア診断ツール」でハードウェアを検査する。

「VAIO ハードウェア診断ツール」は、リカバリを行う前にハードウェア（CPU、メモリ、ハードディスクドライブ）の検査を行い、交換が必要かどうかを確認するソフトウェアです。
詳しくは「VAIO ハードウェア診断ツール」をご覧ください。

手順4

リカバリする。（82ページ）

リカバリする

リカバリとは

本機のハードディスクの内容をお買い上げ時の状態に戻すことを「リカバリ」といいます。
次のようなことが原因で本機の動作が不安定になったときにリカバリを行います。

- コンピュータウイルスに感染し、本機が起動できなくなった
- 誤ってC:ドライブを初期化してしまった

本機は、リカバリディスクを使用しなくても、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリすることができます。

リカバリ領域とは

リカバリ領域とは、リカバリを行うために必要なデータがおさめられているハードディスク内の領域のことです。
通常のご使用ではリカバリ領域のデータが失われることはありません。しかし、ハードディスクの領域を操作するような特殊な市販のソフトウェアをご使用になり、リカバリ領域のパーティション情報を変更されますと、ハードディスクのリカバリ領域からリカバリできなくなる場合があります。

!ご注意

- リカバリで復元できるのは、本機に標準で付属されているソフトウェアのみです（一部のソフトウェアを除く）。ご自分でインストールしたソフトウェアや作成したデータを復元することはできません。また、Windowsだけを復元することもできません。
  付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。
  ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。
- パーティションを操作する一部のプログラムをインストールすると、ハードディスクのリカバリ領域を使ってリカバリしたり、リカバリディスクの作成が行えなくなることがあります。
  そのような場合に備えて、本機を使用する準備ができたらすぐにリカバリディスクを作成してください。（70ページ）

リカバリ前に確認してください

- 本機をリカバリした場合、それ以前にハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいます。リカバリする前に、大切なデータは必ずバックアップをとってください。
- 電源以外のすべての周辺機器をはずしてから、作業を行ってください。リカバリに外付けドライブが必要な場合は、ドライブを接続してください。
  周辺機器は、リカバリが終わったあとに再び接続してください。
- ご自分で変更された設定は、リカバリ後はすべてお買い上げ時の設定に戻ります。リカバリ後に、もう一度設定し直してください。
- リカバリする際は、必ず最後までリカバリを行ってください。リカバリが完了していない状態で本機を使用した場合、本機の動作が不安定になる場合があります。
- パスワードを登録している場合、パスワードを忘れるとリカバリができなくなります。パスワードは必ずメモを取るなどして、忘れないようにしてください。
  万一パスワードを忘れてしまったときは、修理（有償）が必要となります。VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Windowsからリカバリするには

Windowsからリカバリするには、以下の手順で操作します。

Windowsが起動しない場合には「Windowsが起動しない状態でリカバリするには」(82ページ)をご覧ください。

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[VAIO リカバリセンター]ー[VAIO リカバリセンター]をクリックする。

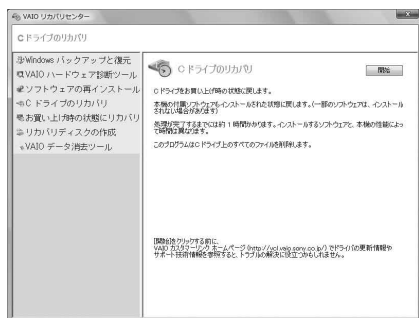
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。

ヒント

管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていない場合は、管理者権限のユーザー名とパスワードを要求されることがあります。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

(実際の画面とは異なる場合があります。)

2 画面左側の[C ドライブのリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

ヒント

- C:ドライブ以外に、ご自分でパーティションサイズを変更して新たにドライブを作成している場合など、C:ドライブ以外に保存されているデータは残ります。(88ページ)
- [お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択すると、Windowsがインストールされているハードディスクのデータをすべて消去し、本機のハードディスクをお買い上げ時の状態に戻します。リカバリ領域を復元したい場合や、パーティションの構成を元に戻したい場合に選択してください。

3 「Windows バックアップと復元」や「VAIO ハードウェア診断ツール」などをすでに実行済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックする。

警告画面が表示されます。

ヒント

[お買い上げ時の状態にリカバリ]を選択した場合は、事前にリカバリディスクを作成しておく必要があります。リカバリディスクを作成していない場合は、画面の指示に従って作成してください。

すでに作成済みの場合は、[スキップ]を選択し、[次へ]をクリックしてください。

4 内容をよく読んでから、[同意します]のチェックボックスをクリックしてチェックし、[開始]をクリックする。

確認画面が表示されます。

5 [はい]をクリックする。

「Windowsのリカバリ中」画面が表示され、リカバリ作業が自動的に開始されます。

ヒント

- リカバリ作業には、お使いの機種によっては数時間かかることがあります。
- Windowsが起動しない状態でリカバリしている場合は、しばらくするとディスクがドライブから自動的に出てきます。
  画面の指示に従って、ディスクの取り出しや入れ替えを行ってください。

6 「完了をクリックしてプログラムを終了してください」と表示されたら[完了]をクリックする。

本機が数回再起動した後、「Windowsのセットアップ」画面が表示されます。

!ご注意

「Windowsのセットアップ」画面が表示されるまでにしばらく時間がかかります。そのままお待ちください。途中で電源を切るなどの操作を行うと、本機の故障の原因となります。

7 「本機をセットアップする」内「Windowsを準備する」(33ページ)の手順に従って、Windowsのセットアップを行う。

これでリカバリが完了しました。
Office Personal 2007、Office Personal 2007 with PowerPoint 2007またはOffice Professional 2007プリインストールモデルをお使いの場合は引き続き、次の手順を行ってください。

!ご注意

Windowsのセットアップで作成したユーザーアカウントでログオンしていることを確認してください。

① Office Personal 2007 CDまたはOffice Professional 2007 CDをドライブに入れる。
② 表示される「自動再生」の画面で[SETUP.EXEの実行]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
③ 画面の指示に従って進み、「インストールの種類を選択してください」画面が表示されたら、[ユーザー設定]をクリックする。
「Microsoft Office プログラムの実行方法を設定してください」画面が表示されます。
④ 「Microsoft Office」の左側にあるアイコンをクリックし、表示されたメニューから[マイ コンピュータからすべて実行]をクリックする。
⑤ [今すぐインストール]をクリックする。
インストールが開始されます。
⑥ インストールが完了したら、[閉じる]をクリックする。

ヒント

Office Personal 2007 with PowerPoint 2007プリインストールモデルをお使いの場合は、Office Personal 2007のインストール完了後ドライブからディスクを取り出し、インストール開始画面の[OK]をクリックしてください。
引き続き、Office PowerPoint 2007 CDをドライブに入れ、上記の手順1から6と同じ手順でインストールしてください。

⑦ (スタート)ボタン－[コンピュータ]をクリックして表示された画面で、[ローカル ディスク(C:)]－[Program Files]－[Office12]－[Hotfix]をダブルクリックする。
⑧ [office-kb938574-fullfile-x86-ja-jp(.exe)]をダブルクリックする。
アップデートが開始されます。
⑨ アップデートが完了したら、[はい]をクリックし、本機を再起動する。

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
バックアップデータの復元方法について詳しくは、「バックアップからデータを復元するには」(73ページ)をご覧ください。

Windowsが起動しない状態でリカバリするには

Windowsが完全に起動しないときは、以下の手順に従って本機をリカバリします。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント

リカバリディスクを作成していない場合は、以下の手順で行ってください。

① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 「Windowsからリカバリするには」(81ページ)の手順2以降の操作を行う。

ヒント
- バックアップしたいデータがある場合は、[VAIO データレスキューツール]をクリックし、バックアップしてください。(84ページ)
- [VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックすると、リカバリを行う前にハードウェア(CPU、メモリ、ハードディスクドライブ)の検査を行うことができます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックする。)

リカバリが完了したら、バックアップデータの復元をしてください。
VAIO データレスキューツールでバックアップしたファイルの復元について詳しくは、「VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする」の復元方法をご覧ください。(85ページ)

VAIO データレスキューツールを使ってバックアップする

VAIO データレスキューツールとは

VAIO データレスキューツールは、Windowsが起動しなくなった場合にも、データのバックアップができるツールです。
データのレスキュー方法には以下の2種類があります。

- かんたんデータレスキュー
  ハードディスク上のレスキュー可能なデータをすべてレスキューし、外付けハードディスクに保存します。
- カスタムデータレスキュー
  指定したファイルのみをレスキューし、ハードディスクやリムーバブルメディア、CD ／ DVDなどのディスクに保存します。

VAIO データレスキューツール使用時のご注意

- レスキューデータの保管・管理には十分注意してください。
- VAIO データレスキューツールは、ハードディスク上のすべてのデータのバックアップを保障するものではありません。データの損失について弊社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ハードディスクの暗号化機能を使用している場合は、暗号化機能を解除して使用してください。
- VAIO データレスキューツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

レスキュー(バックアップ)するには

!ご注意
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブでデータをレスキューする場合は、VAIO データレスキューツールを起動する前にドライブを接続してください。
- レスキューデータをCDやDVDに保存する場合は、あらかじめフォーマットされているディスクを使用してください。

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

ヒント
以下の手順でも行えます。
① 本機の電源を入れる。
② VAIOのロゴマークが表示されたらF10キーを押す。
「Edit Boot Options」画面が表示された場合は、Enterキーを押してください。
③ 手順5に進む。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[VAIO データレスキューツール]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

以降、表示される画面の指示に従って操作してください。

ヒント

レスキュー方法で、[カスタムデータレスキュー]を選択した場合、データの保存先として外付けハードディスクを選択することをおすすめします。

!ご注意

- VAIO データレスキューツールを使用中に64時間が経過すると、自動的に書き込みが中断され、本機が再起動します。
  中断された作業を再開するには、再起動後再び上記の手順2から5の操作を行い、「中断した作業を再開する」チェックボックスにチェックを付けて、[次へ]をクリックしてください。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブは、データのレスキューが完了するまで取りはずさないでください。
- “メモリースティック”やSDメモリーカード、フラッシュメモリなどのメディアにデータを保存する場合、ドライバの読み込みが必要になります。ドライバはリカバリディスクの「VAIO」フォルダに保存されています。データの保存先の選択画面で[ドライバのインストール]をクリックし、ドライバの読み込みを行ってください。
- データをレスキューした場合、選択されたデータの保存先によって、ファイルが分割されたりリネームされている場合があるので、VAIO データレスキューツールを使ってバックアップしたデータは、VAIO データリストアツールを使って復元してください。
- VAIO データレスキューツールでは、データの保存先としてDVD-R DLはお使いになれません。
- 外付けハードディスクドライブやCD ／ DVDドライブはUSBまたはi.LINK接続のものをお使いください。

復元するには

レスキューデータを復元するにはVAIO データリストアツールを使います。
VAIO データリストアツールとレスキューデータの復元方法について詳しくは、VAIO データリストアツールのヘルプをご覧ください。

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO データリストアツール]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「VAIO データリストアツール」画面が表示されます。

2 内容を確認したら、[次へ]をクリックする。

レスキューデータの検索画面が表示されます。

3 レスキューデータの検索先を選択し、[次へ]をクリックする。

レスキューデータが検索されます。

4 表示された一覧から復元するデータを選択し、[次へ]をクリックする。

ヒント

[内容の確認]をクリックすると、選択しているデータに含まれるフォルダやファイルの一覧を確認することができます。

5 復元先のフォルダを確認し、[次へ]をクリックする。

「復元方法の選択」画面が表示されます。

6 復元方法を選択して[次へ]をクリックする。

復元方法には以下の2種類があります。

- おまかせリストア
  メールデータや文書データなど、データの種類を選択して、まとめて復元します。
- ファイルを指定してリストア
  ファイルを個別に指定して復元します。

7 [開始]をクリックする。

復元作業が開始されます。
作業が完了すると、完了画面が表示されます。

8 続けて別のレスキューデータの復元をするには[最初の画面に戻る]を、復元を終了するには[終了]をクリックする。

!ご注意

「SonicStage」ソフトウェアで取り込んだ音楽ファイルや、ワンセグデータ、デジタル放送のデータなど、著作権保護されているデータを復元するには、そのデータを取り込んだときに使用したソフトウェアの専用バックアップツールをお使いください。専用バックアップツールをお使いにならない場合は、著作権保護されているデータの動作保障はいたしません。

ヒント

復元したデータは、必要に応じて復元先フォルダから移動してお使いください。

Windows メールをバックアップする／復元するには

ここではVAIO データレスキューツールの使用例として、Windows メールのメールデータのバックアップと復元方法を紹介します。

Windows メールのメールデータをバックアップする

1 VAIO データレスキューツールを起動させる。(84ページ)

2 画面の指示に従って、「レスキューデータの選択」画面まで進む。

ヒント

データレスキュー方法は、「カスタムデータレスキュー」を選んでください。

3 [Users]－[VAIO(ユーザー名)]－[AppData]－[Local]－[Microsoft]－[Windows Mail]をクリックし、[Local Folders]チェックボックスをクリックしてチェックする。

4 [次へ]をクリックする。

以降、画面の指示に従ってバックアップしてください。

Windows メールのバックアップを復元する

1 (スタート)ボタンー[すべてのプログラム]ー[Windows メール]をクリックする。

Windows メールが起動します。
メールアカウントの設定をしていない場合は、設定してください。

2 [ファイル]ー[インポート]ー[メッセージ]をクリックする。

「プログラムの選択」画面が表示されます。

3 「インポート元の電子メールの形式を選択してください」から、[Microsoft Windows メール 7]を選択し、[次へ]をクリックする。

「メッセージの場所」画面が表示されます。

4 [参照]をクリックすると「フォルダの参照」画面が表示されるので、電子メールのデータが保存されているフォルダを選択して[OK]をクリックし、[次へ]をクリックする。

「フォルダの選択」画面が表示されます。

ヒント
VAIO データレスキューツールでメールデータをバックアップしていた場合は、[参照]をクリックして[Local Folders]を選択してください。

5 [すべてのフォルダ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

「インポートの完了」画面が表示されます。

6 [完了]をクリックする。

「Windows メール」画面の左側に「インポートされたフォルダ」が作成されるので、フォルダ内のメールを元の状態に振り分けてください。

パーティションサイズの変更

パーティションサイズの変更について

パーティションとはハードディスクの領域を分割することです。分割することで、1台のハードディスクが複数台のハードディスクと同じように使えるため、ファイルや、ソフトウェアの格納場所を分けるといったような使い分けができます。

本機はお買い上げ時の設定では、1つのパーティション(C:ドライブ)のみになっています。別のパーティション(D:ドライブなど)にデータを保存したい場合は、パーティションサイズを変更して新しく別のパーティションを作成してください。

パーティションを作成する

パーティションの作成方法には、以下の2種類があります。

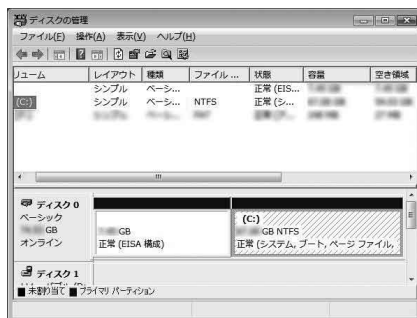
- Windows上の操作で作成する
- リカバリディスクを使って作成する

!ご注意

リカバリディスクを使ってパーティションの作成を行うには、本機をリカバリする必要があります。
リカバリすると、ハードディスク上にあったファイルはすべて消えてしまいますのでご注意ください。

❏ Windows上の操作で作成する

1 (スタート)ボタン－[コントロール パネル]－[システムとメンテナンス]－「管理ツール」の[ハードディスク パーティションの作成とフォーマット]をクリックする。

「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「ディスクの管理」画面が表示されます。

2 C:ドライブを右クリックして、[ボリュームの圧縮]をクリックする。

「C: の圧縮:」画面が表示されます。

3 圧縮する領域のサイズを設定して、[圧縮]をクリックする。

「ディスクの管理」画面で、「ディスク」に「未割り当て」が追加されます。

ヒント

本機をある程度の期間ご使用の場合は、ハードディスク上のデータが分散しているため「未割り当て」の空き領域が小さくなります。その際は、デフラグすることをおすすめします。((スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システム ツール]－[ディスク デフラグ ツール]をクリックする。)

4 「未割り当て」を右クリックし、[新しいシンプル ボリューム]をクリックする。

「新しいシンプル ボリューム ウィザード」画面が表示されます。

5 画面に従ってサイズやドライブ名の設定を行い、ウィザードを完了させる。

ウィザードを完了させるとフォーマットが始まり、新しくパーティションが作成されます。

❑ リカバリディスクを使って作成する

1 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

2 キーボード レイアウトを選択し、[次へ]をクリックする。

3 オペレーティング システムを選択し、[次へ]をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

4 [VAIO リカバリセンター]をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

5 画面左側の[お買い上げ時の状態にリカバリ]をクリックし、右側に表示された画面の[開始]をクリックする。

6 [スキップ]を選んでクリックし、[次へ]をクリックする。

表示された画面の指示に従い、パーティションの分割設定画面が表示されるまで進んでください。

ヒント
「お買い上げ時のパーティション設定にしますか?」と聞かれた場合は、[パーティション設定を変更]を選んでください。

7 ドロップダウンリストから、[数値入力(C ドライブとD ドライブに分割する)]を選択する。

8 C:ドライブのサイズを設定して、[次へ]を選択する。

以降、表示された画面の指示に従って操作してください。

ハードディスクのデータを完全に消去する

本機ではVAIO データ消去ツールを使ってハードディスクのデータを完全に消去することができます。

!ご注意

- VAIO データ消去ツールはハードディスク上のすべてのデータを消去します。本機を廃棄あるいは第三者に譲渡する場合のみお使いください。
- VAIO データ消去ツールを使うには、リカバリディスクの作成が必要です。
  リカバリディスクを作成していない場合は、リカバリディスクを作成してください。（70ページ）
- VAIO データ消去ツールを使用中に71時間が経過すると自動的にコンピュータが再起動します。データの消去中に71時間が経過した場合は、自動的に作業が中断され本機が再起動します。本機が再起動したあとに、再びツールを起動すれば中断されたところから作業が再開できます。
- VAIO データ消去ツールを使用する場合は、必ず電源に接続して使用してください。

1 必要なファイルをバックアップする。

ヒント

- Windowsが起動する場合は、ファイルのバックアップを使ってバックアップしてください。（72ページ）
- Windowsが起動しない場合は、リカバリディスクからVAIO データレスキューツールを起動してバックアップを行い（84ページ）、バックアップ完了後に［終了］をクリックして本機が再起動したら、手順3へ進んでください。

2 本機の電源が入っている状態で、ドライブにリカバリディスクを入れて電源を切り、再び電源を入れる。

「システム回復オプション」画面が表示されます。

3 キーボード レイアウトを選択し、［次へ］をクリックする。

4 オペレーティング システムを選択し、［次へ］をクリックする。

回復ツールの選択画面が表示されます。

5 ［VAIO リカバリセンター］をクリックする。

「VAIO リカバリセンター」画面が表示されます。

6 画面左側の［VAIO データ消去ツール］をクリックし、右側に表示された画面の［開始］をクリックする。

VAIO データ消去ツールの説明画面が表示されます。

7 内容をよく読んでから、［次へ］をクリックする。

8 制限事項や準備の説明内容をよく読んだら、［次へ］をクリックする。

9 内蔵ハードディスク一覧からデータ消去するハードディスクにチェックをつけ、［次へ］をクリックする。

10 データの消去方式を選択し、［次へ］をクリックする。

11 データ消去するハードディスクを確認し［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［次へ］をクリックする。

12 再度、［はい、一覧に表示されている内蔵ハードディスクのデータを消去します。］のチェックボックスをクリックしてチェックし、［消去開始］をクリックする。

ハードディスクのデータの消去が開始されます。

13 消去終了の確認画面が表示されたら、［OK］をクリックする。

本機の電源が切れます。

困ったときはどうすればいいの？

本機操作中に困ったときや、トラブルが発生したときは、あわてずに次のいずれかの方法で解決方法をご確認ください。また、メッセージなどが表示されている場合は、お問い合わせ時のために、書き留めておいてください。

1 取扱説明書（本書）で調べる

「よくあるトラブルと解決方法」（94ページ）をご覧ください。

パソコンが動作しないときは、まず取扱説明書（本書）をご覧ください。
パソコンが動作するときは、「バイオ電子マニュアル」からも調べられます。

2 電子マニュアルで調べる

「バイオ電子マニュアル」の[Q&A集]をご覧ください。

見るには

（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[バイオ電子マニュアル]をクリックしてください。

ハードウェアの簡易診断について

ハードウェア診断ツールでも、ハードウェアをチェックできます。起動するには、（スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO リカバリセンター]－[VAIO ハードウェア診断ツール]をクリックしてください。

Windowsの使いかたや疑問について

「Windows ヘルプとサポートを見る」（111ページ）をご覧ください。

3 インターネットで調べる

「VAIOカスタマーリンクホームページ」で確認できます。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

インターネットに接続できるときは、「VAIOカスタマーリンク」で、トラブルの解決方法や疑問の解消に役立つ最新の情報やサービスを調べられます。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」(112ページ)をご覧ください。

4 電話で問い合わせる

1 ～ 3の方法でも問題が解決しない場合は、下記にお問い合わせください。

VAIOカスタマーリンク
(0466) 30-3000

平日：10時～ 21時、
土、日、祝日：10時～ 17時
詳しくは、「電話で問い合わせる」(124ページ)をご覧ください。

ソフトウェアの使いかたや疑問について

本機に付属のソフトウェアの場合、「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」(135ページ)をご覧のうえ、各ソフトウェアのお問い合わせ先に問い合わせてください。
本機に付属していないソフトウェアの場合、それぞれのソフトウェアのヘルプをご覧ください。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/)をご覧ください。

よくあるトラブルと解決方法

Q&A一覧

この説明書に掲載されているQ&Aは以下になります。

❑ 電源／起動（96ページ）

- 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）
- 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（🔋がすばやく点滅している）
- 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。
- 電源が切れない。
- 電源が勝手に切れた。
- 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。
- 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。
- 電源を入れるとWindowsが起動せず、黒い画面が表示される。

❑ パスワード（100ページ）

- BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。
- Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

❑ 画面／ディスプレイ（101ページ）

- 画面に何も表示されない。
- 画面の色がきれいに表示されない。
- 画面が固まって動かない。
- 画面が暗い。
- 画像が乱れる。
- 画面に輝点・滅点（黒点）がある。
- HDMI OUTコネクタにテレビまたは外部ディスプレイを接続したときに画像が表示されない。

❑ 文字入力／キーボード（103ページ）

- 文字の入力方法がわからない。
- キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

❑ タッチパッド（104ページ）

- タッチパッドが使えない。
- タッチパッドを無効にしたい。
- タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。
- ポインタが動かない。
- 画面上のすべてのものが動かない。

❑ ハードディスク（105ページ）

- 誤ってハードディスクを初期化してしまった。
- ハードディスクの空き容量を知りたい。
- ハードディスクから異音がする。
- リカバリ領域の容量を知りたい。

❑ CD ／ DVDディスク（106ページ）

- CD ／ DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

❑ デジタル放送（106ページ）

- デジタル放送を視聴したい。

❑ FeliCaポート（107ページ）

- FeliCa機能が使えない。

❑ 内蔵カメラ（MOTION EYE）（107ページ）

- 内蔵カメラ（MOTION EYE）を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

❑ エラーメッセージ（107ページ）

- BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.
- Enter Onetime Password
- Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.
- No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.
- Operating System not found
- Press <F1> to resume, <F2> to Setup
- System Disabled
- このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。
- Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

その他のQ&A

ここに紹介した以外にも多くのQ&Aが記載されている「バイオ電子マニュアル」もあわせてご覧ください。

1 （スタート）ボタンー[すべてのプログラム]ー[バイオ電子マニュアル]をクリックする。

「バイオ電子マニュアル」画面が表示されます。

2 [Q&A集]をクリックする。

表示されたメニューから見たい項目をクリックして、各項目の情報をご覧ください。

電源／起動

Q 電源が入らない。（⏻（パワー）ランプ（グリーン）が点灯しないとき）

次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A バッテリが正しく装着されているか確認してください。（23ページ）

A 本機とACアダプタ、ACアダプタと電源コード、電源コードとコンセントがそれぞれしっかりつながっているか確認してください。（30ページ）

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、プログラムの異常で、電源を制御するコントローラが停止している可能性があります。
ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れてください。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所（80 %以上）でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

A 上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない。（▭がすばやく点滅している）

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（23ページ）

A 上記の操作を行っても電源が入らない、または⏻（パワー）ボタンが効かない場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れると、⏻（パワー）ランプ（グリーン）は点灯するが、画面に何も表示されない。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［キーボード／タッチパッド］－［Windowsキー／ Fnキーを使う］をクリックする。）
- Sボタンを押してください。（Sボタンの機能に「外部出力」が割り当てられている場合）詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（［パソコン本体の使いかた］－［キーボード／タッチパッド］－［Sボタン（ショートカット）を使う］をクリックする。）

A メモリモジュールの増設が正しく行われていない場合は、起動できないことがあります。
サポート対象外のメモリモジュールを取り付けた場合や取り付けが不十分な場合は、起動できなかったり、起動後の動作が不安定になることがあります。メモリモジュールの取り付け直しを行ってください。
ソニー製の対応メモリモジュール以外のメモリモジュールをお使いになる場合は、販売店またはメモリモジュール製造メーカーにお問い合わせください。

A しばらく様子を見ても画面に何も表示されないときは、次の手順で操作してください。

① 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認してから、再度電源を入れ直す。

② 上記の操作を行っても何も表示されない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにし、⏻(パワー)ランプが消灯するのを確認したあと、ACアダプタとバッテリをはずして1分ほど待ってから取り付け直し、再度電源を入れ直す。

A 寒い戸外から暖かい屋内に持ち込んだり、湿度の高い場所で使用した場合は、本機内部に結露が生じている可能性があります。
その場合は、1時間ほど待ってから電源を入れ直してください。
湿度の高い場所(80 %以上)でのご使用は、本機の故障の原因となりますのでおやめください。

Q 電源が切れない。

電源が切れないときの状況によって対処方法が異なります。次の点を確認した上で、それぞれの操作をしてください。

A 使用中のソフトウェアは、次のいずれかの手順ですべて終了してください。

- ソフトウェア画面上の[×](閉じるボタン)をクリックする。
- Altキーを押しながらF4キーを押し、起動中のソフトウェアを終了させる。
データが未保存の場合は、「保存しますか？」というメッセージが表示されるので、[はい]をクリックしてデータを保存してください。
「Windows のシャットダウン」画面が表示されるまでAltキーを押しながらF4キーを押し、画面上のリストから[シャットダウン]をクリックしてください。

ヒント

- 新しくインストールしたプログラムやデータ、その操作なども確認してください。
- Windows Vistaは、周辺機器を使用している場合やネットワーク通信を行っている間は、電源が切れない仕組みになっています。また、周辺機器のデバイスドライバによっては、OSの強制的なプログラムの終了に対応していないものもあります。

A USB機器やPCカードなどの周辺機器が接続されているときは、取りはずしてください。
PCカードをお使いの場合は、「PCカードを取り出すには」の手順に従ってPCカードを取り出してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([周辺機器のつなぎかた]－[PCカード／ ExpressCard]－[PCカードを使う]をクリックする。)

A 「設定を保存しています」または「Windowsをシャットダウンしています」と表示されたまま動かない場合は、次の手順で操作をしてください。

① Enterキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

② それでも電源が切れない場合は、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押す。
確認のためしばらくお待ちください。

「電源が切れない。」項目内のすべての操作を行っても電源が切れない場合には、以下の操作を行ってください。
ただし、以下の操作を行うと、作業中のデータが破壊されるおそれがあります。
また、ネットワークを使用している場合には、それらを使用していない状態にしてから以下の操作を行うようにしてください。

- CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ⏻ ボタンをクリックする。
- 本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押したままにする。
- ACアダプタとバッテリをはずす。

Q 電源が勝手に切れた。

A バッテリで本機を使用中にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になり、電源が自動的に切れます。
ACアダプタで使用するか、バッテリを充電してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] – [電源の管理／起動] – [バッテリの充電／表示の見かた]をクリックする。）

Q 「このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。」というメッセージが表示され、休止状態に移行してしまう。

A バッテリが正しく装着されていない可能性があります。
本機の電源が切れたあと、いったんバッテリを取りはずしてから、再度正しく装着し直してください。（23ページ）

A 上記の操作を行っても同様のメッセージが表示される場合は、装着されているバッテリは本機では使用できません。
本機の電源が切れたあと、バッテリを取りはずしてください。

Q 電源を入れるとメッセージが表示され、Windowsが起動できない。

A 「No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.」 や「Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.」、「BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.」というメッセージが表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
フロッピーディスクが入っているときは、イジェクトボタンを押してディスクを取り出し、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 「Operating System not found」と表示される場合、フロッピーディスクがUSBフロッピーディスクドライブに入っていないか確認してください。
起動ディスク以外のフロッピーディスクが入っている場合は、イジェクトボタンを押してディスクを取り出してから、CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押して表示された画面で本機を再起動してください。
再起動してもこのメッセージが表示され、Windowsが起動しない場合は、指定された方法以外のやりかたでパーティションサイズを変更している可能性があります。ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使って、パーティションサイズを変更し、本機をリカバリしてください。（88ページ）

A パスワードを3回間違えて入力すると、「Enter Onetime Password」または「System Disabled」と表示されWindowsが起動しません。
本機の⏻（パワー）ボタンを4秒以上押したままにして、⏻（パワー）ランプが消灯するか確認してください。
その後、再度本機の電源を入れ、正しいパスワードを入力してください。
パスワードを入力する際は、（Num Lock）ランプや（Caps Lock）ランプが点灯していないか確認してください。点灯している場合は、Num Lkキーを押すか、またはShiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。

A 「Press <F1> to resume, <F2> to Setup」と表示される場合、内蔵バックアップバッテリが消耗しています。

ACアダプタをつなぎ、本機を充電しながら、次の手順で操作してください。

① 電源を入れ、VAIOのロゴマークが表示されてから、F2キーを押す。
画面左下に「Entering SETUP...」と表示されたあと、BIOSセットアップ画面が表示されます。
「Entering SETUP...」と表示されない場合は、F2キーを数回押してください。

② 日時を確認する。
「System Date」、「System Time」に正しい日時が表示されているか確認してください。間違った日時が表示されている場合は次の操作をしてください。
1) 「System Date」の項目に月／日／年（西暦）を入力する。
例：2007年1月31日と設定するには、1＋Enterキー＋31＋Enterキー＋2007＋Enterキーの順で入力します。
2) ↓キーで「System Time」を選び、時刻を24時間表示で入力する。
例：午後2時35分00秒と設定するには、14＋Enterキー＋35＋Enterキー＋00＋Enterキーの順で入力します。

③ Escキーを押す。

④ ↓キーで[Get Default Values]を選択し、Enterキーを押す。

⑤ 「Load default configuration now?」と表示されるので、[Yes]を選択して、Enterキーを押す。

⑥ [Exit Setup]が選ばれていることを確認して、Enterキーを押す。

⑦ 確認画面が表示されるので、Enterキーを押す。

上記の操作を行っても本機が起動しない場合は、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

Q 電源を入れるとWindowsが起動せず、黒い画面が表示される。

A 通常の操作で電源を切らなかった場合、次回電源を入れた際に「Windows エラー回復処理」画面が表示されます。

その場合は、「Windowsを通常起動する」が選択された状態でEnterキーを押してWindowsを起動させてください。

パスワード

Q BIOSセットアップ画面で設定した起動時のパスワードを忘れてしまった。

A パスワードを忘れると、起動することができなくなります。

- ユーザーパスワードの場合
  マシンパスワードを入力することで、BIOSセットアップ画面からユーザーパスワードを再設定することができます。
- マシンパスワードの場合
  パスワード設定を解除することはできません。修理(有償)が必要となります。
  VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

Q Windows Vistaのユーザーアカウントのパスワードを忘れてしまった。

A パスワードの大文字と小文字は区別されます。確認してから入力し直してください。

A パスワードを忘れてしまったユーザー以外に、「コンピュータの管理者」アカウントなど、管理者権限をもつユーザー(Administratorsに属するユーザー)が作成されている場合、別の「コンピュータの管理者」アカウントからパスワードの変更を行ってください。

画面／ディスプレイ

Q 画面に何も表示されない。

A 本機の電源が入っているか確認してください。

A ディスプレイの電源が切れている場合があります。
タッチパッドに触れるか、キーボードのいずれかのキーを押してください。

A 外部ディスプレイに表示が切り替えられている可能性があります。次のいずれかの手順を行ってください。

- Fnキーを押しながら、F7キーを押して表示を切り替えてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。）
- Sボタンを押してください。（Sボタンの機能に「外部出力」が割り当てられている場合）詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[Sボタン（ショートカット）を使う]をクリックする。）

A 本機は、お買い上げ時の設定では、AC電源でご使用中に約30分操作をしないと、自動的に省電力動作モードへ移行します（スリープモード）。
キーボードのいずれかのキーを押すか、⏻（パワー）ボタンを一瞬押すと、元の状態に戻ります。
また、バッテリでご使用中は、スリープモードへ移行後しばらくすると、自動的に本機の電源を切ります（休止状態）。元の状態に復帰させるには、⏻（パワー）ボタンを一瞬押してください。
ご使用中に省電力動作モードへ移行しないように設定することもできます。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[電源の管理／起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。）

Q 画面の色がきれいに表示されない。

A 画面の色数の設定が「最高（32ビット）」になっているか確認してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の解像度／色数を変更する]をクリックする。）

A いったん電源を切り、再び本機を起動してください。
（スタート）ボタン－ ボタン－[シャットダウン]をクリックして電源を切り、本機の⏻（パワー）ボタンを押して起動し直してください。

A 画像を扱うソフトウェアによっては、画面の色合いの設定を勝手に変更してしまうものがあります。「静止画色補正」を無効にするか、ソフトウェアの画面設定の項目を無効にしてください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[画面／ディスプレイ]－[画面の色補正を設定する]をクリックする。）

Q 画面が固まって動かない。

A 次の手順で本機を再起動させてください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、[タスク マネージャの起動]をクリックする。(149ページ)
「Windows タスク マネージャ」画面が表示されます。
「Windows タスク マネージャ」画面に、「応答なし」と表示されているソフトウェアがあれば、そのソフトウェアを選択し、[タスクの終了]をクリックしてソフトウェアを終了させてください。

② CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。
本機の電源が切れたあと、約30秒後に本機の⏻(パワー)ボタンを押して、再び電源を入れてください。

上記の操作を行っても本機を再起動できない場合は、本機の⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。電源が切れると⏻(パワー)ランプが消灯します。⏻(パワー)ランプ(グリーン)が点灯した場合は、いったん手を離し、再び⏻(パワー)ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

!ご注意
上記の操作を行うと、作成中のファイルや編集中のファイルが使えなくなることがあります。

Q 画面が暗い。

A Fnキーを押しながらF5キーやF6キーを長押しすると、液晶ディスプレイの明るさを調節できます。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた] − [キーボード／タッチパッド] − [Windowsキー／ Fnキーを使う]をクリックする。)

Q 画像が乱れる。

A ラジオなど、近くに磁気を発生するものや磁気を帯びているものがある場合は、本機から離してください。

Q 画面に輝点・滅点(黒点)がある。

A 液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。
液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

Q HDMI OUTコネクタにテレビまたは外部ディスプレイを接続したときに画像が表示されない。

A HDMIケーブルを接続し直してください。

A 著作権保護された映像は、HDCP規格非対応の外部ディスプレイでは表示できません。
HDCP規格に対応した外部ディスプレイを接続してください。

文字入力／キーボード

Q 文字の入力方法がわからない。

A 詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[できるWindows for VAIO]をクリックして表示される内容から、「文字を入力しよう」の各項目をご覧ください。）

Q キーボードを押したとおりに文字が入力できない。

A 入力モードを確認してください。
日本語入力モードと英字入力モードがあります。
言語バーのアイコンが日本語入力モードのときは「あ」に、

英字入力モードのときは「A」になっています。

日本語入力モードと英字入力モードは、半角/全角キーで切り替えられます。

A (Caps Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
(Caps Lock)ランプが点灯していると、Shiftキーを押さなくても大文字が入力されます。
Shiftキーを押しながらCaps Lockキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（149ページ）

A (Num Lock)ランプが点灯していないか確認してください。
U、I、O、J、K、L、M、@などの文字が入力できない場合は、Num Lock（ナムロック）が有効になっている場合があります。
点灯している場合は、Num Lkキーを押してランプを消灯させてから入力してください。（149ページ）

タッチパッド

Q タッチパッドが使えない。

A タッチパッドが無効になっています。
タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを有効にしてください。
設定を変更してもタッチパッドが有効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの応用操作]をクリックする。）

Q タッチパッドを無効にしたい。

A タッチパッドの設定を変更し、タッチパッドを無効にしてください。
それでもタッチパッドが無効にならないときは、本機を再起動してください。詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの応用操作]をクリックする。）

Q タッチパッドに触れただけでクリックしてしまう。

A タッチパッドの設定を変更し、タッピング機能を無効にしてください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた]－[キーボード／タッチパッド]－[タッチパッドの応用操作]をクリックする。）

Q ポインタが動かない。

A 使用しているアプリケーションによっては、一時的にポインタが動きにくくなる場合があります。
しばらく待ってから、もう1度ポインタを動かしてください。

それでもポインタが動かない場合は、次の手順で本機の電源を切ってください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタンをクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

Q 画面上のすべてのものが動かない。

A 次の手順で本機を再起動してください。

① CtrlキーとAltキーを押しながらDeleteキーを押し、画面右下の ボタン－[再起動]をクリックする。

それでも何も起こらないときは、本機の ⏻（パワー）ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

ハードディスク

Q 誤ってハードディスクを初期化してしまった。

A ハードディスクにあったファイルは、復元できません。
ハードディスク内のリカバリ機能や、ご自分で作成したリカバリディスクを使って、本機をリカバリする必要があります。（80ページ）

Q ハードディスクの空き容量を知りたい。

A （スタート）ボタン－[コンピュータ]をクリックしてください。
「コンピュータ」画面が表示され、空き容量が確認できます。

Q ハードディスクから異音がする。

A OSの処理などにより、何も操作していない場合でもハードディスクの読み書きが行われ、動作音がすることがあります。
これは正常な処理であり、故障ではありません。
ただし、ハードディスクの空き領域が少ないときや、ハードディスク上のデータの断片化が激しいときは、ハードディスクに負担がかかり、ハードディスクの動作音がしばらく続くことがあります。このようなときはディスクデフラグやディスククリーンアップを行ってください。
ディスクデフラグは次の手順で行ってください。

① （スタート）ボタン－[すべてのプログラム]－[アクセサリ]－[システムツール]－[ディスクデフラグ]をクリックする。
「ディスクデフラグツール」画面が表示されます。

② [今すぐ最適化]をクリックする。
最適化（デフラグ）が開始されます。

ディスククリーンアップについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[Q&A集]－[パソコン本体]－[バイオ本体]－[ハードディスクの空き容量が少なくなった。]をクリックする。）

A ハードディスクからまれに「カチャン」という音がする場合があります。
これはハードディスク内にあるヘッドが動作するときに発する音であり、異常ではありません。

Q リカバリ領域の容量を知りたい。

A 次の手順で確認してください。

① （スタート）ボタンをクリックし、[コンピュータ]を右クリックして[管理]をクリックする。
「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、[続行]をクリックしてください。
「コンピュータの管理」画面が表示されます。

② 画面左側の「記憶域」の[ディスクの管理]をクリックする。
「ディスク 0」に、リカバリ領域とC:ドライブの容量が表示されます。

ヒント
1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。

CD ／ DVDディスク

Q CD ／ DVDの読み込み・再生ができない、ドライブが認識しない。

A 本機で使用できるディスクかどうか確認してください。（162ページ）

A ディスクの入れかたが正しいか確認してください。

- ディスクに汚れや傷がないか確認してください。
- ディスクの裏表を逆にセットしていないか、またはレーベル面が見える向きでドライブにセットしたか確認してください。
- ディスクがきちんとドライブに装着されているか確認してください。
- スピンドル（軸）にディスクをはめ込むタイプのドライブでは、スピンドルにしっかりはめ込まれているか確認してください。

本機のドライブへのディスクの入れかたについて詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。（[パソコン本体の使いかた] − [CD/DVD/Blu-ray] − [ディスクを入れる／取り出す] をクリックする。）

！ご注意

本機での動作を保証しているのは、以下のドライブとなります。

- 本機をお買い上げ時に搭載されているドライブ
- 別売りのバイオ専用ドライブ

デジタル放送

Q デジタル放送を視聴したい。

A 付属の「デジタル放送取扱説明書」をご覧ください。

FeliCaポート

Q FeliCa機能が使えない。

A 通知領域のアイコンが (オン)になっているか確認してください。
(オン)になっていない場合は、(オフ)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オン]を選択ください。
または、(オフ)をクリックしてもオンにすることができます。

A FeliCaカードの位置を確認してください。
本機の (FeliCaプラットフォームマーク)にあわせて置いてください。

A FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)などに不具合がある可能性があります。
「FeliCaポート自己診断」ツールを使用して不具合があるかどうか確認します。

1. 通知領域にある (オン)を右クリックして表示されたメニューの[ポーリングの状態]から[オフ]を選択する。
2. (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[FeliCaポート]－[FeliCaポート自己診断]をクリックする。
3. 画面に表示された内容を確認し、[次へ]をクリックする。

診断が開始され、結果が表示されます。
FeliCaポートに不具合があった場合は、VAIOカスタマーリンクにお問い合わせください。
また、お手持ちのFeliCaカードに不具合があった場合は、FeliCaカード発行者にお問い合わせください。

内蔵カメラ(MOTION EYE)

Q 内蔵カメラ(MOTION EYE)を使用中にスリープモードまたは休止状態に移行すると、本機の動作が不安定になる。

A 内蔵カメラ(MOTION EYE)または外付けUSBカメラの使用中には、スリープモードまたは休止状態に移行させないでください。

A 自動的にスリープモードまたは休止状態に移行してしまう場合は、電源プランの設定を変更してください。
詳しくは、「バイオ電子マニュアル」をご覧ください。([パソコン本体の使いかた]－[電源の管理/起動]－[電源オプションを変更する]をクリックする。)

エラーメッセージ

表示されたメッセージの回避方法をご案内します。

Q BOOTMGR is missing. Press Ctrl+Alt+Del to restart.

A 「電源/起動」(98ページ)をご覧ください。

Q Enter Onetime Password

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q Invalid system disk. Replace the disk, and then press any key.

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q No System disk or disk error. Replace and press any key when ready.

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q Operating System not found

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q Press <F1> to resume, <F2> to Setup

A 「電源／起動」(99ページ)をご覧ください。

Q System Disabled

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q このリチャージャブルバッテリーパックは使用できないか、正しく装着されていない可能性があります。

A 「電源／起動」(98ページ)をご覧ください。

Q Windowsの終了時などに「ccApp.exeが応答しません」というメッセージが表示される。

A メッセージが表示されても、本機のご使用に関して問題はありません。
Windowsを終了するときや本機を再起動するときに、「ccApp.exe が応答しません」というメッセージが表示されても、本機の動作には影響はありません。
詳しくは「Norton Internet Security」ソフトウェアの製造元であるシマンテック社で情報が公開されています。

バイオ内の情報を調べる

本機には、本機の使いかたを手軽に検索できる「バイオ電子マニュアル」が付属しています。「バイオ電子マニュアル」を使って、解決方法を検索したり、自分のやりたいことの操作方法を調べることができます。困ったときはまず「バイオ電子マニュアル」を起動してみましょう。
「Windows ヘルプとサポート」では、Windowsのヘルプの検索、サポートツールの実行、最新情報の入手など、おもにWindowsのサポートに関する機能をご利用になれます。
また、Windowsのヘルプ、ソフトウェアに付属しているヘルプを使って解決方法を閲覧することもできます。

さらに、「困ったときはどうすればいいの？」（92ページ）や関連する項目をご覧ください。

「バイオ電子マニュアル」を見る

「バイオ電子マニュアル」はバイオの使いかた、楽しみかた、困ったときの解決方法をディスプレイ画面上で説明するソフトウェアです。
「バイオ電子マニュアル」を起動するには、（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［バイオ電子マニュアル］の順にクリックします。

画面の見かた

① 「バイオ電子マニュアル」の最初の画面に戻ったり、画面を進めたり、戻したり、印刷や文字の大きさを変えることができます。
また、コンピュータ用語の説明を見ることができます。

② 「バイオ電子マニュアル」の目次や索引、キーワード検索を選んで表示させることができます。

③ ご覧になりたい内容に応じてボタンをクリックすると、それぞれの説明が表示されます。

④ 単語や質問文を入力して情報を検索することができます。

「バイオ電子マニュアル」で検索する

検索機能を使用すると、バイオの使いかたについてわからないことや知りたいことを調べることができます。
調べたい内容を入力することで、コンピュータ内にある「バイオ電子マニュアル」やソフトウェアのヘルプ、Windowsのヘルプ、さらにインターネットに接続している場合はVAIOカスタマーリンクのホームページから最適な解説がすばやく検索できます。

1 検索したい内容をキーワード（単語）や質問文で入力する。

「バイオ電子マニュアル」内の情報を検索する場合は、質問文を入力するとより適切な検索結果が得られます。
また、入力欄に複数のキーワード（単語）をスペースで区切って入力することで、期待する回答が表示されやすくなります。

例：「CD 再生」

2 ［検索］をクリックする。

画面左側に検索結果が質問の内容に近い（類似度が高い）ものから順に表示されます。

［次の20件］をクリックすると、次の検索結果の一覧が表示されます。
［前の20件］をクリックすると、前に表示されていた検索結果の一覧が表示されます。

3 検索結果の一覧からタイトルをクリックする。

画面右側に選んだ文書の内容が表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページの文書は別画面で表示されます。

Windows ヘルプとサポートを見る

(スタート)ボタン－[ヘルプとサポート]をクリックすると「Windows ヘルプとサポート」が表示されます。
Windows ヘルプとサポートでは、Windowsに関するヘルプの参照と検索や各種サポートツールの実行を行うことができます。

各ソフトウェアのヘルプを見る

本機に付属しているソフトウェアにもヘルプが添付されています。
また、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]の表にあるソフトウェア名をクリックして表示される画面には、ソフトウェアの使いかたがわからなくなったときのために、各ソフトウェアごとに「操作がわからなくなったときは」の項目があります。あわせてご覧ください。

ヒント

ヘルプとは、ソフトウェアの操作についてわからなくなったときに、デスクトップ画面上でその解決方法についての情報を検索して、表示する機能のことです。

VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する

VAIOカスタマーリンクホームページでできること

本機をインターネットに接続し、VAIOカスタマーリンク ホームページをご覧ください。
VAIOカスタマーリンクホームページでは、バイオに関するトラブル解決やさらに活用するための各種情報、バイオを安心してご使用いただくための最新情報などをご提供していますので、定期的にご覧ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページ
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

!ご注意
本マニュアル内の「サービス・サポート」の内容は、2007年6月現在のものです。
サービス・サポートの内容は随時更新されますので、最新の内容はVAIOカスタマーリンク ホームページでご確認ください。

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには

VAIOカスタマーリンク ホームページを見るには、次の2通りの方法があります。

❑ 「Windows Internet Explorer」ソフトウェアを使用する

1 (スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[Internet Explorer]をクリックする。

2 画面上部の(お気に入り)をクリックして、[2.VAIOサポートページ]－[1サポート(サービス・サポート情報)]をクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

❑ 「VAIOナビ」ソフトウェアを使用する

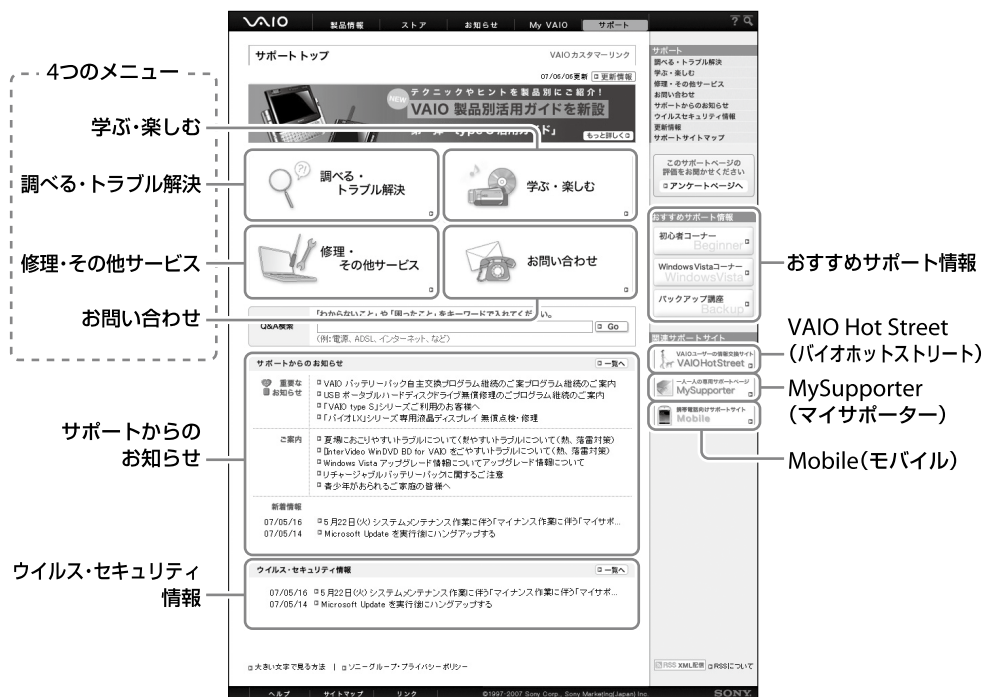
1 デスクトップ画面の(VAIOナビ)をダブルクリックして、[VAIOナビ]ソフトウェアを起動する。

2 画面左側の[トラブル解決]をクリックして表示された画面で[VAIO サポートページを見る]ボタンをクリックする。

VAIOカスタマーリンク ホームページが表示されます。

VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する

http://vcl.vaio.sony.co.jp/

目的別に絞りこんだ4つのメニューを中心に、シンプルで探しやすいトップページをご用意しています。

4つのメインメニュー

❑ 調べる・トラブル解決

バイオに関する疑問やトラブルを解決したい方はこちらをご利用ください。
問題を解決するための各種情報をわかりやすくご提供しています。

- 製品別サポート情報
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
  お客様のバイオ専用のサポート情報ページをご用意しています。
  ご所有の製品に関連する「お知らせ」、「アップデートプログラム」、「他社製品接続情報」などの最新サポート情報をご提供しております。
  ご所有製品のページを「お気に入り」などに追加することをおすすめします。
  詳しくは、「製品別サポート情報」（115ページ）をご覧ください。
- Q&A検索
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/qa/
  キーワードや文章などを入力してQ&A（VAIOカスタマーリンクに寄せられた質問とその回答）を検索することができます。
  また、カテゴリー別やエラーメッセージ別などに分類された「よくある質問」から、Q&Aを検索する方法もご用意しています。
- 製品接続情報
  各周辺機器メーカー様からご提供いただいた接続情報、バイオをお使いの皆様からVAIO Hot Streetに投稿していただいた接続情報など、バイオにつながる製品の接続情報をご提供しています。

❑ 学ぶ・楽しむ

バイオをより活用したい、楽しみたい、という方はこちらをご利用ください。
やりたいこと別、ソフトウェア別、初心者の方向け、機種別などさまざまな切り口で、バイオを楽しむための活用方法をわかりやすくご紹介しています。
また、セミナーや個人レッスンもご紹介しています。

❑ 修理・その他サービス

- 修理関連のご案内
  故障かな？と思ったときの確認方法や修理依頼の手順、概算修理料金、修理進捗情報の確認など、修理関連の情報をご提供しています。
- その他サービス
  バイオの設置・設定、インターネットセキュリティ、ソニー純正メモリーやハードディスクなどでのバイオアップグレード、延長保証、リカバリディスク送付など、各種有料サービスをご案内しています。
  サービス内容について詳しくは、「各種有料サービスのご案内」（132ページ）をご覧ください。

❑ お問い合わせ

お電話やメールでのお問い合わせ方法、付属ソフトウェアのお問い合わせ先などをご紹介しています。
ホームページから電話サポートの予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンクからお客様にお電話を差し上げる「VAIOコールバック予約サービス」（118ページ）、オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内する「VAIOリモートサービス」（120ページ）も、こちらからご利用いただけます。

その他

❑ サポートからのお知らせ

http://vcl.vaio.sony.co.jp/iforu/
VAIOカスタマーリンクからお客様への重要なお知らせや最新のお知らせを掲載しています。

❑ ウイルス・セキュリティ情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/security.html
バイオをご使用になる際のセキュリティ関連の最新情報を掲載しています。
インターネットの普及に伴い、ソフトウェアの脆弱性を狙った悪意のある第三者の攻撃やウイルスによる被害が増えてきています。
バイオを安全にお使いになるために、常にセキュリティ関連の情報をチェックし、必要な対策をとられることを強くおすすめします。

❑ おすすめサポート情報

VAIOカスタマーリンクが特におすすめするサポートメニューやコンテンツをご紹介しています。

！ご注意

おすすめサポートの内容は変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

- 初心者コーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
  初心者の方が知りたい情報をわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「ネットワークコーナー」（116ページ）をご覧ください。
- Windows Vistaコーナー
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
  Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをわかりやすくご紹介しています。
  詳しくは、「Windows Vistaコーナー」（116ページ）をご覧ください。
- バックアップ講座
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/howto/backup/
  バイオに保存されたデータのバックアップ方法と、その復元方法について解説しています。
  大切なデータの保護にお役立てください。

❑ VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/
バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。
お客様同士でバイオに関する投稿や質問、回答をやりとりしていただけます。
詳しくは、「VAIOユーザーの情報交換サイト」（122ページ）をご覧ください。

❑ MySupporter（マイサポーター）

https://mysupporter.vaio.sony.co.jp/
お客様ひとりひとりに合わせて、ご所有機種に対応したサポート情報を自動表示したり、VAIOカスタマーリンクへのコンタクト履歴をご確認いただけるサイトです。

❑ Mobile（モバイル）

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/
携帯電話向けのサポートサイトです。
ウイルス･セキュリティ情報などの最新サポート情報や修理見積、修理進捗状況など修理関連情報をご提供しています。
詳しくは、「携帯電話向けVAIOサポートサイト」（123ページ）をご覧ください。

代表的なサポートメニュー

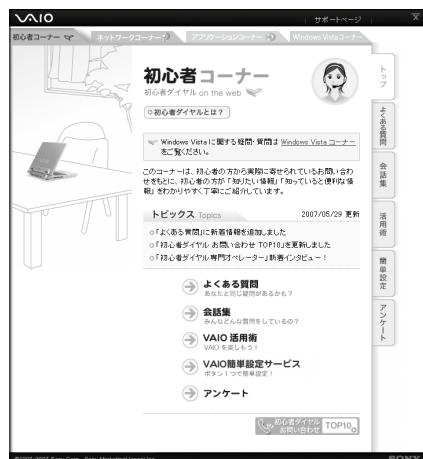
VAIOカスタマーリンクの代表的なサポートメニューを紹介します。

製品別サポート情報

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rd/vaiomanual/pc.html
製品別サポート情報ページでは、ご所有の製品に関連した「お知らせ」「アップデートプログラム」「他社製品接続情報」などの最新情報をご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページの「調べる・トラブル解決」からアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（113ページ）をご覧ください。

初心者コーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/beginner/
初心者の方から実際に寄せられているお問い合わせをもとに、初心者の方が「知りたい情報」、「知っていると便利な情報」をわかりやすく丁寧にご紹介しています。

VAIOカスタマーリンクホームページのトップページからアクセスします。
詳しくは、「VAIOカスタマーリンク ホームページを活用する」（113ページ）をご覧ください。

その他のコーナー

初心者コーナーの他に3つのコーナーをご用意しています。

ヒント
それぞれのタブをクリックすると各コーナーがご覧いただけます。

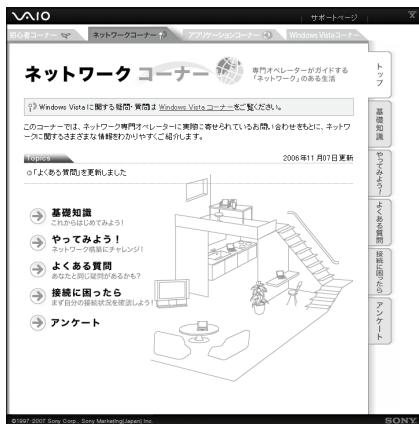
ネットワークコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/network/
ネットワーク専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに「接続に困ったら」、「ネットワーク構築にチャレンジ」などのネットワーク接続に関するさまざまな情報をわかりやすくご紹介しています。

アプリケーションコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/appl/
アプリケーション専門のオペレーターに実際に寄せられているお問い合わせをもとに、ソニー製ソフトウェアに関する「よくあるお問い合わせ」のご紹介やソニー製ソフトウェアでできることをわかりやすい活用術としてご紹介しています。

Windows Vistaコーナー

http://vcl.vaio.sony.co.jp/support/special/vista/
Windows Vistaの基本操作や設定方法、便利な活用方法などをQ&Aや活用集、動画などでわかりやすくご紹介しています。

VAIOコールバック予約サービス

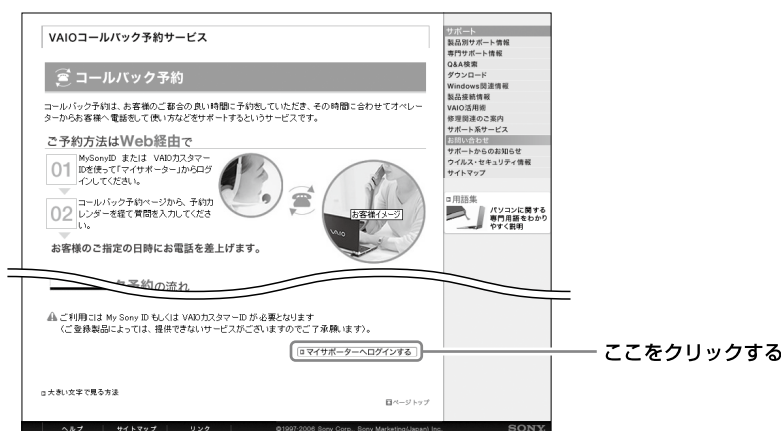
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
ホームページから電話サポートのご予約をお申し込みいただき、ご指定の日時にVAIOカスタマーリンク（コールセンター）からお客様にお電話を差し上げるサービスです。

ヒント
VAIOコールバック予約サービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です（VAIOコールバック予約サービスのご利用には、お客様がVAIOカスタマー登録を行なわれていることが必要です）。

予約受付時間：
24時間いつでもご予約可能（システムメンテナンス時を除く）
回答時間：
平日 10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日 10：00 ～ 17：00

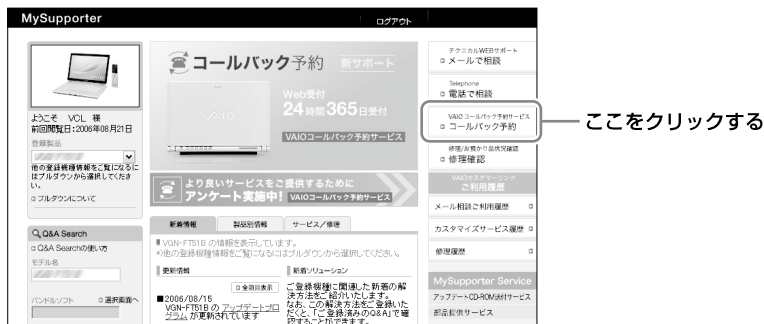
本サービスは、バイオ本体、バイオ関連製品の使いかたに関するお問い合わせに限らせていただきます。

!ご注意
VAIOコールバック予約サービスの内容は予告なしに変更する場合があります。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある［VAIOコールバック予約サービス］をクリックする。

2 「ログイン」ボタンをクリックし、IDとパスワードを入力する。

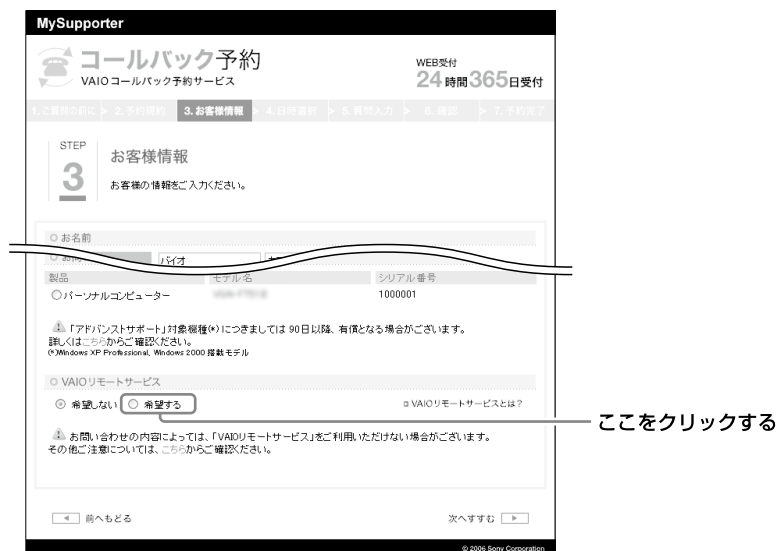
IDは、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDがご利用いただけます。

3 「コールバック予約」ボタンをクリックする。

ここをクリックする

4 画面に従って操作する。

ここをクリックする

ヒント

「VAIOリモートサービス」をご利用になる場合は、STEP3「お客様情報」ページにてご指定ください。

VAIOリモートサービス

http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/

オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブルの内容確認や使いかたなどをご案内させていただくサービスです。

難しいパソコン用語は不要ですので、これまでに「電話の説明だけではわかりにくい」、「直接画面を見て教えてほしい」と思われた方は、ぜひ一度お試しください。

！ご注意

- 本サービスをご利用いただくためには、VAIOカスタマー登録およびインターネット接続の環境が必要です。
- 本サービスは、事前にマイサポーターの「VAIOコールバック予約サービス」（118ページ）からのお申し込みが必要です。
- お問い合わせの内容によっては、本サービスをご利用いただけない場合がございますので、あらかじめご了承ください。

---

1 「VAIOコールバック予約サービス」で、ご利用になりたい時間を予約する。

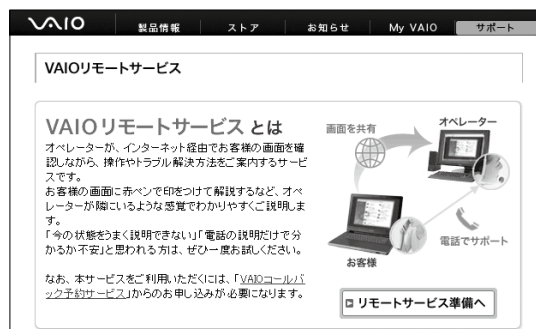
詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（118ページ）をご覧ください。

---

2 指定されたお時間にオペレーターからお客様にお電話をさせていただきます。

---

3 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある[VAIOリモートサービス]をクリックする。

---

4 ページ内のソフトウェア使用許諾契約書に同意したうえで、専用ソフトウェアをダウンロードする。

5 オペレーターが案内する番号の接続ボタンをクリックする。

6 オペレーターが案内するパスワードを入力し、[OK] をクリックする。

VAIO Remote Service
バイオ リモート サービス

パスワードの確認

「VAIOリモートサービス」を利用するためには、パスワードの入力が必要です。
オペレータから案内された4桁の数字を入力して下さい。

パスワード xxxx （半角数字4桁）

OK キャンセル

7 オペレーターがお客様のバイオに接続し、対応を開始します。

VAIOユーザーの情報交換サイト

VAIO Hot Street（バイオホットストリート）

http://hotstreet.vaio.sony.co.jp/

VAIO Hot Streetは、バイオをご所有のお客様による情報交換サイトです。

バイオを活用するための「投稿」、「質問」、「回答」などをお客様どうしでやりとりしていただけます。

!ご注意

投稿、質問、回答、コメントの書き込み、マイプロフィールの登録などを行うには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。

VAIO Hot Street では次の4テーマを展開中です。

- 周辺機器接続情報
- アプリケーションソフト情報
- Windows アップグレード情報
- VAIO 活用情報

携帯電話向けVAIOサポートサイト

VAIOカスタマーリンク モバイル

「VAIOカスタマーリンク モバイル」は、携帯電話向けのVAIOサポートサイトです。

＜主なコンテンツ＞

❑ お知らせ

サポートの最新情報やウイルスの情報および対策手順を掲載しています。
マイクロソフト社が提供するセキュリティ最新情報もご確認いただけます。

❑ Q&A

最近多く寄せられたお問い合わせや新しく作成・更新されたQ&Aなどの一覧を掲載しています。
またQ&Aや用語集の検索もご利用いただけます。

❑ サポート系コンテンツ

- 修理お預かり情報
  VAIOカスタマーリンクへ直接ご依頼いただいた修理に関して、下記のサービスをご提供しています。
  - 修理進捗状況（7段階）の確認
    （受付待ち、故障診断／修理中、見積案内中、修理中、出荷準備中、出荷済み、修理中止）
  - 見積発行時および修理完了時に携帯メールへお知らせ
  - 修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付
  - 返送先の変更

  ！ご注意
  見積案内および修理完了案内メールを受信するには、事前に「VAIOカスタマーリンク モバイル」にて、携帯メールアドレスのご登録が必要です。
- VAIO Hot Street モバイル
  バイオをお持ちのお客様による情報交換サイト「VAIO Hot Street」に寄せられた投稿や質問を掲載しています。

＜アクセス方法＞

❑ URLからアクセス

下記のURLに携帯電話からアクセスすることでご利用いただけます。
（対応端末：i-mode・EZweb・Yahoo!ケータイ）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

❑ QRコードからアクセス

バーコード（QRコード）の読み取りに対応した携帯電話をお使いの場合は、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

電話で問い合わせる

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせ

お問い合わせ先

VAIOカスタマー登録に関するお問い合わせは
カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜日　10時 ～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）
http://www.vaio.sony.co.jp/regist

！ご注意

- 通話料はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。
- バイオの使いかたについてのお問い合わせや修理の受付については、「VAIOカスタマーリンク」までご連絡ください。

使いかたに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンクでは、バイオに関する技術的な質問や修理の受付を電話で承っております。

電話でのサポートをご利用の前に

❑ お電話の前にお試しください

「バイオ内の情報を調べる」（109ページ）や「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（112ページ）では、操作方法の調べかたやトラブル解決方法、最新情報の入手方法などをご紹介しております。お電話でのお問い合わせの前に、ぜひお試しください。

❑ 「VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況」について

VAIOカスタマーリンクにおける電話受付の混雑状況を、VAIOカスタマーリンクホームページで公開しています。
VAIOカスタマーリンクホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）の「お問い合わせ」にアクセスし、「電話でのお問い合わせ」の中にある［VAIOカスタマーリンク電話受付混雑状況］をクリックします。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/konzatu.html

ヒント

比較的つながりやすい時間帯は下記となります。
平日：12：00 ～ 18：00
土曜、日曜、祝日：15：00 ～ 17：00
（2007年6月現在）

❑ お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① 本機の型名（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています）
② 本機の製造番号（保証書などに記載されている7桁の番号です）
③ カスタマー登録いただいたときの電話番号、または登録予定の電話番号
（発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。）
④ 本機に接続している**周辺機器名**（メーカー名と型名）
⑤ 表示された**エラーメッセージ**
⑥ 本機に付属していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前**とバージョン
⑦ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑧ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑨ その他お気づきの点

❑ お電話でのお問い合わせについて

お電話は音声ガイドでご案内しています。お問い合わせの内容に応じたご希望の番号をお選びください。担当オペレーターが対応いたします。
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

お問い合わせ先

使いかたのお問い合わせは
VAIOカスタマーリンク
電話番号：（0466）30-3000
受付時間　平日：10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00
（365日年中無休）
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/technical.html

！ご注意

年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。

「インターネットやメール、ネットワーク接続に関するお問い合わせ」や「ソニー製ソフトウェアのお問い合わせ」など、専門のオペレーターをご用意しております。

！ご注意

- 通話料はお客様のご負担となります。あらかじめご了承のうえ、お問い合わせください。
- 自動音声応答により、担当のオペレーターにおつなぎいたします。
  自動音声に応答できない場合は、そのままお待ちいただきますとオペレーターにつながります。
- 他社製品との接続、ソニーが提供していないOS・ソフトウェア、ソニーで再現できないご使用上の問題点など、お答えいたしかねる場合があります。あらかじめご了承ください。

- **VAIOコールバック予約サービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/callback.html
  ホームページからお客様のご都合の良い時間を予約していただき、予約時間に合わせてオペレーターがお電話を差し上げるサービスです。
  詳しくは、「VAIOコールバック予約サービス」（118ページ）をご覧ください。
- **VAIOリモートサービス**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rem/
  オペレーターがインターネット経由でお客様のバイオの画面を確認しながら、トラブル内容の確認や使いかたなどのご案内をするサービスです。
  詳しくは、「VAIOリモートサービス」（120ページ）をご覧ください。

付属ソフトウェアに関するお問い合わせ

付属のソフトウェアについてはソフトウェアごとにお問い合わせ先が異なります。
「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]をクリックして表示される内容および「付属ソフトウェアのお問い合わせ先」（135ページ）をご覧ください。

セキュリティに関するお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク セキュリティお問い合わせ窓口は
電話番号：（0466）30-3016
受付時間：平日　10：00～21：00
　　　　　土曜、日曜、祝日　10：00～17：00

メールで問い合わせる

テクニカルWebサポート

http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/techweb.html
バイオに関する技術的な質問をマイサポーター内の所定フォームから入力すると、電子メールで回答を受け取ることができるサービスです（質問の内容によっては電話での回答になる場合もございます）。

ヒント
このサービスをご利用いただくには、My Sony IDまたはVAIOカスタマー IDが必要です。
カスタマー登録について詳しくは、「カスタマー登録する」（44ページ）をご覧ください。

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「お問い合わせ」にアクセスし、「メールでのお問い合わせ」を選び、「マイサポーターへログインする」ボタンをクリックする。

2 マイサポーターの「ログイン」ボタンからログインする。

3 ［メールで相談］を選択し、［新規のお問い合わせ］をクリックする。

ヒント
以前のお問い合わせを継続する場合は、［継続のお問い合わせ］を選択します。

4 画面の指示に従って操作する。

修理を依頼されるときは

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に「バイオ電子マニュアル」で調べたり（109ページ）、「VAIOカスタマーリンクのホームページを活用する」（112ページ）の操作を行い、お使いのバイオの症状に合うものがないか確認してください。ハードウェアの故障と思われて修理に出されたものの多くが、仕様の範囲内であったり、ソフトウェアの設定を変更するなどの操作を行うことで直ることがあります。
それでも解決できない場合は、以下の手順に従ってお電話ください。

ヒント
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「修理関連のご案内」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/
  上記のホームページでは、修理に関するさまざまな情報をご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「故障かな？と思ったら」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part1.html
  故障のような症状でも、VAIO の設定を変更するだけで改善する場合があります。上記のホームページでは、修理を依頼する前の自己診断や解決方法などについてご案内しています。
- **VAIOカスタマーリンクホームページ「概算修理料金」**
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/rep/repstd/
  製品別に主な症状と故障箇所別の概算修理料金を確認できます。修理に出される前などにお役立てください。
- **点検サービスも行っております**
  バイオの各機能（キーボード、ハードディスクドライブなど）が正常に動作しているか点検するサービスも行っております（有料）。

修理依頼の手順

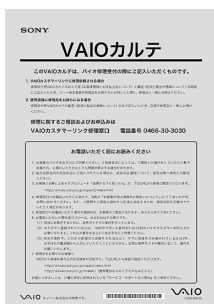
VAIOカスタマーリンク修理窓口では、お使いのバイオが故障しているかどうかの診断を行います。
修理が必要と診断された場合は、保証期間内かどうかの確認後、引取り修理の受付をいたします。

ヒント
引取り修理とは、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅より集中修理拠点へ直送するサービスです。
（集配および梱包料は、ソニー負担です。）

！ご注意
- 修理時の代替機は用意しておりません。あらかじめご了承ください。
- 保証期間中でも有料になる場合がございます。詳しくは、保証書に記載されている「無料修理規定」をご覧ください。
- 修理対応について
  ご購入後1か月以降のお申し出によるハードウェアに関する不具合の場合には、修理のみの対応になりますのでご了承ください。
- 修理料金のお支払い方法について
  修理料金のお支払いは、現金一括払いのほかに、カードによる分割払いがご利用いただけます。詳しくは付属の「VAIOカルテ」内『修理代金のお支払い方法について』の欄をご覧ください。（なお、このカードによる分割払いは、VAIOカスタマーリンクで修理受付させていただいた場合の適用となります。）
- 修理用補修部品について
  ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品または代替品を使用することがあります。
  また交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。
- 海外でのご使用時の修理対応について
  お買い求めいただいたバイオは、製品に必要な各種の安全規格の認証を日本で取得した日本国内専用モデルです。
  また、製品に付属する保証規定は日本国内のみ有効です。
  海外において国内保証規定以外のご使用が起因となり、製品に不具合が発生した場合は、保証（無料修理）の対象外となる場合がありますのであらかじめご了承ください。
  なお、VAIO Overseas Service（海外修理サービス）の用意もございます。
  詳しくは「各種有料サービスのご案内」（132ページ）をご覧ください。

1 保証書やVAIOカルテ、筆記用具をご用意ください。

保証書とVAIOカルテは本機に付属しています。
紛失された場合は、VAIOカスタマーリンク ホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair2/part2_s1.html）またはFAX情報サービス（133ページ）より入手してください。
筆記用具は、修理をお受けする際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です。

SONY
VAIOカルテ
このVAIOカルテは、バイオ修理受付の際にご記入いただくものです。
1. VAIOカスタマーリンクに修理依頼される場合
2. 販売店様に修理品をお持ちになる場合
修理に関するご相談およびお申込みは
VAIOカスタマーリンク修理窓口　電話番号 0466-30-3030
お電話いただく前にお読みください

ヒント
弊社の保証以外に、販売店などの独自の保証にご加入されている場合は、そちらの保証内容もご確認されることをおすすめいたします。

2 VAIOカスタマーリンク修理窓口にお電話ください。

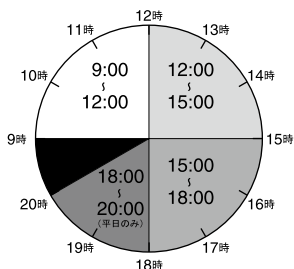
VAIOカスタマーリンク修理窓口
電話番号：（0466）30-3030
受付時間：平日：10：00 ～ 21：00
土曜、日曜、祝日：10：00 ～ 17：00
（365日年中無休）

ヒント
- 年末年始は土曜、日曜、祝日の受付時間となる場合があります。
- 通常、修理受付の場合、平日は17：00まで、土曜、日曜、祝日では15：00までにお電話をいただければ、翌日にお引取りさせていただきます。
（一部機種・地域を除く。2007年6月現在）

不具合症状などの確認のため操作をお願いする場合がありますので、ご使用のバイオをできるだけお手元にご用意の上、お電話ください。電話がつながりましたら、自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発及びサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報のお取り扱いについては、VAIOホームページの「VAIOカスタマー登録」（http://www.vaio.sony.co.jp/regist）をご覧ください。

3 修理が必要と判断させていただいた場合は、引取り修理の受付をさせていただきます。

修理受付の際に修理受付番号を申し上げますので、お手持ちのVAIOカルテにご記入ください。また、修理品のお引き取り時間を翌日以降で以下の時間帯よりお選びください（一部機種、一部地域を除く）。

- 9：00 ～ 12：00
- 12：00 ～ 15：00
- 15：00 ～ 18：00
- 18：00 ～ 20：00（平日のみ）

！ご注意
上記は2007年6月現在での選択可能な時間帯です。
一部地域ではご利用いただけない時間帯があります。

ヒント
受付時に修理品の引き取り日時、場所などを調整させていただくことがありますのであらかじめご了承ください。

4 データのバックアップをおとりください。

データのコピーが可能な場合は、修理に出す前に、ハードディスクなどの記録媒体のプログラムおよびデータは、お客様ご自身でバックアップをおとりくださるようお願いいたします。弊社の修理により、万一ハードディスクなどのプログラムおよびデータが消去あるいは変更された場合でも、弊社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
データのバックアップをとるには次のような方法があります。
- "メモリースティック"にコピーする。
- 書き込み可能なCDやDVDなどのディスクにコピーする。
- 外付けの記憶装置（HDDなど）にコピーする。

それぞれの操作方法について詳しくは、「バイオ電子マニュアル」の［パソコン本体の使いかた］や「周辺機器のつなぎかた」をクリックして表示される情報をご覧ください。

!ご注意

- データを暗号化している場合は、解除してからバックアップしてください。また、専用のバックアップツールを用意しているソフトウェアの場合は、専用のバックアップツールをご使用ください。
- お使いの機種により、フロッピーディスクドライブやDVD-RW／CD-RWドライブが搭載されておらず、別売りの場合があります。バックアップなどで別売りのドライブが必要な場合、お客様にてご用意をお願いします。
- OSが起動しないなど、バックアップを行うことができない状態の場合でも、弊社にてバックアップを行うサービスは行っておりません。

5 ご連絡いただいた翌日以降に、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお引取りにうかがいます。

以下をあらかじめご用意ください。

- 修理品本体
- VAIOカルテ（本機に付属しています。あらかじめご記入ください。）
- 保証書（保証期間中のみご用意ください。）
- 必要な付属品類

ヒント

梱包材の用意および梱包作業は、ソニー指定の配送業者が行います。修理品本体は玄関にて手渡しできるよう配線をはずしてご用意ください。

6 修理完了後、ソニー指定の配送業者が修理品をお客様宅へお届けいたします。

修理料金のお支払い方法を「現金払い」で希望された方は、お届けした際に配達業者に修理費用をお支払いください。

!ご注意

修理品お届け後の本機の設置、設定は、お客様にて行っていただけますようあらかじめご了承ください。

「修理／お預かり品状況確認」、「修理お預かり情報」について

VAIOカスタマーリンク ホームページおよびVAIOカスタマーリンク モバイル（携帯電話用サポートサイト）では、VAIOカスタマーリンクへ直接修理をご依頼された方に、下記のサービスをご提供しております。

修理／お預かり品状況確認（VAIOカスタマーリンク ホームページ）

修理の進み具合に応じて「修理品お預かり予定日」、「修理完了予定日」、「修理完了日」の日程をご案内しております。

修理お預かり情報（VAIOカスタマーリンク モバイル）

お預かりしている修理品の進捗状況（7段階）ご案内、修理見積のご案内／見積内容へのご回答受付、見積発行時／修理完了時のご案内を携帯メールにお知らせするサービスなどをご提供しています。

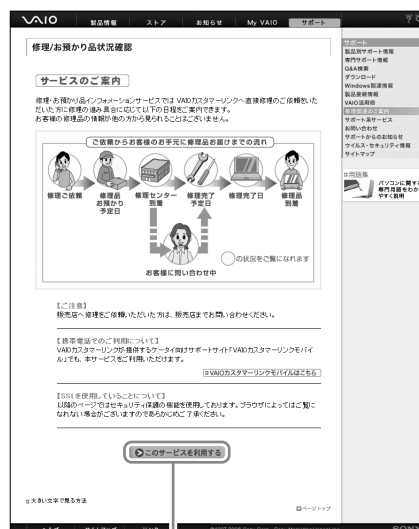
!ご注意

- 販売店経由で点検や修理依頼された場合の修理完了日は、販売店にご確認ください。
- 一部の機種では提供されません。
- 見積案内メール、修理完了案内メールを受信するには、事前にモバイルサイトでお客様の携帯メールアドレスご登録が必要です。

❑ VAIOカスタマーリンク ホームページで確認する

1 VAIOカスタマーリンクホームページの「修理・その他サービス」にアクセスし、「修理関連のご案内」にある[修理／お預かり品状況確認]をクリックする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/repair/

2 ページ下の画面下の[このサービスを利用する]をクリックする。

3 画面に従って操作する。

❑ VAIOカスタマーリンクモバイルで確認する

1 携帯電話でVAIOカスタマーリンクモバイルにアクセスする。

http://vcl.vaio.sony.co.jp/mobile/

ヒント

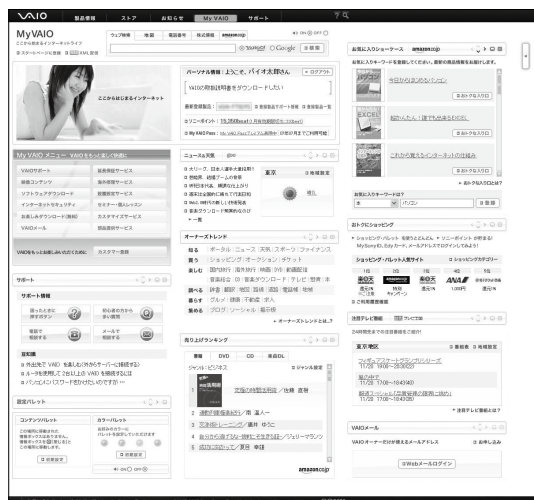
バーコード(QRコード)の読み取りに対応した携帯電話では、下記のQRコードを読み取ることで、手軽にアクセスできます。

2 「サポート系コンテンツ」から「修理お預かり情報」を選択し、ページ内の"確認のページはこちら"をクリックする。

3 画面に従って操作する。

その他のサービスとサポート

バイオオーナーの皆さまのポータルページ「My VAIO」

http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

（2007年2月現在）

❑ My VAIO

自分にぴったりのサービス・サポートが見つかります。ウェブ検索、ニュース、天気予報などに加え、ログインすると、お客さまの登録製品情報やソニーポイント残高など、バイオでお楽しみいただくための最新情報を確認できます。
各種サービスは、My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

❑ My VAIO Pass

VAIOカスタマー登録（44ページ）をしていただくと、「My VAIO Pass」がご利用いただけます。
対象サービスを利用するたびにソニーポイントをためられます。たまったポイントは、別のサービスや、ショッピングに利用できます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/
* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

❑ My VAIO Passプレミアム

「My VAIO Passプレミアム(有償)」なら、サービス利用ごとに加算されるソニーポイントが「My VAIO Pass」よりもアップ。たまったポイントを使ってさらにおトクにサービスを受けられます。
http://www.vaio.sony.co.jp/Pass/
* ソニーポイントの獲得および利用は、対象サービスをインターネット経由で購入された場合に限ります。

対象サービスやサービスごとに加算されるソニーポイントなどの詳細については、ホームページをご覧ください。
ソニーポイント：ソニーグループの商品・サービスの購入・利用に使える共通のポイントシステム。獲得したポイントは、ソニーグループの多彩な商品・サービスに利用できます。

各種有料サービスのご案内

お客様の「スキル」や「目的」、「状況」に合わせた各種有料サービスメニューを豊富にご用意しました。
必要なときに必要なものを、お客様にご自由に選んでいただけます。
各種サービスは、バイオオーナー向けサイト My VAIOからご覧いただけます（一部サービスを除く）。

My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

!ご注意

2007年6月現在の情報になります。

❑ VAIO延長保証サービス

バイオを安心してお使いいただくための3年間保証サービスです。

ベーシック

1年間のメーカー保証を3年間に延長します。

ワイド

ベーシックに加え、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

!ご注意

- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。
- ソニースタイルでご購入いただいたバイオは既に保証に加入済みのため、サービス対象外となります。

VAIO延長保証の特徴

- 修理回数無制限 *1
- 故障に関する自己負担金ゼロ *2
- お引取り・お届けの無料サービス
- 修理保証金額はずっと100% *2
- 書類の手続きは不要
- お申込期間が長い

*1　代替品提供の場合を除きます。
*2　代替品提供および偶然な破損事故等は、自己負担金額が生じます。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VP2/

❑ VAIO Overseas Service（海外修理サービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料でお客様のノートブック型バイオの現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

!ご注意

- 一部の機種はサービス対象外となります。ご了承ください。
- ご購入にはカスタマー登録が必要になります。

対象機種や料金等、詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/VOS/

❑ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、設置設定のサポートを行うサービスです。

メニュー例

VAIOはじめてパック【スタンダード】

VAIOの基本的な設置・設定、プリンターの接続・設定を行い、さらに基本操作を説明します。

インターネット設定パック

インターネットの接続・設定（有線・無線）、メール設定を行います。

VAIOはじめてパック【インターネット設定付き】

上記の2つがセットになったメニューです。バイオの設置・設定からインターネット、メールの接続・設定、基本操作の説明をします。

データお引越しパック

お持ちのPCから新しいバイオへ画像、文書ファイル、住所録などのオリジナルデータを移行します。

パソコンリカバリーパック

トラブルによるリカバリーとOSの再インストールを行います。

OSアップグレード

新しいOSにアップグレード作業を行います。

ロケーションフリー設定パック

ロケーションフリーの設置・設定を行います。

各種メニュー、お申し込みなどの詳細は、ホームページをご覧いただくか、デジホームサポートデスクまでお問い合わせください。
ホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/Setting/

デジホームサポートデスク
電話番号　：（0570）073-111（一般及び携帯電話）
電話番号　：（03）5789-3474（PHS・IP電話）
受付時間　10：00 ～ 18：00

❑ VAIOインターネットセキュリティ

「Norton Internet Security online」

ウイルス対策だけではなく、ブロードバンド環境に不可欠なファイアウォール機能やプライバシー制御、迷惑メール防止などの機能を兼ね備えた総合セキュリティ対策ソフトウェアです。

「Norton AntiVirus online」

インターネットや電子メールから不正進入してくるウイルスやワームを自動的にチェックし駆除するウイルス対策ソフトウェアです。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Vis/

❑ VAIOメール

バイオをお持ちの方に、「お好きな名前@vaio.ne.jp」のメールアドレスをご提供します。プロバイダを変更しても、同じメールアドレスをご使用いただけます。ネットワークライフを快適にする豊富な機能(Webメール、データ保管など)も充実しています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Mail/

❑ VAIOソフトウェアセレクション

VAIOカスタマー登録をいただいたお客様へのソフトウェアのダウンロード販売サイトです。バイオおすすめのアプリケーション、ゲーム、また本サイト限定のソフトウェアも多数取りそろえています。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Soft/

❑ セミナー・個人レッスン

セミナー
バイオの基本的な使いかたから、写真加工、ハイビジョン編集まで、少人数制でお客様の「実現したい」を応援する講座を多数ご用意しております。
個人レッスン
バイオの基本的な使いかたから、デジタル写真の加工、ビデオ編集、WordやExcelなどといったソフトウェアのレッスンをお客様のご自宅でマンツーマンで行います。

お申し込み、講座内容や料金等詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Lesson/

❑ 部品の販売について

バイオをより快適にお使いいただくために、一部の部品や付属品を有料で提供いたします。
購入可能な部品例
キーボードやマウスなど簡単に交換できる部品、取扱説明書などの付属品、商品として販売終了したACアダプターやバッテリーなど。
ご注文方法

- ソニーサービスステーション(SS)で、部品をご注文いただく方法
(SS窓口でのお受け取りは、部品代のみのお支払いになります。)
- マイサポーター(115ページ)でWebより部品をご注文いただく方法(対象機種のみ)
(部品代+送料・代引き手数料1,155円(税込)がかかります。)

詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Parts/

!ご注意
ご登録製品によっては、提供できないサービスがあります。

❑ VAIOカスタマイズサービス

バイオをより快適にお使いいただくために、バイオ本体をお預かりし、各種カスタマイズを行うサービスをご用意しております。1年間の保証がついたソニー純正のサービスです。(対象機種に限ります。)
HDDアップグレードサービス
ハードディスクドライブを大容量のものに交換します。動画を存分に楽しむためにも活用できます。
メモリアップグレードサービス
メモリの増設を行います。メモリーを多く搭載すると動作が安定し処理速度が向上します。
キーボード交換サービス
標準キーボードから、かな文字印刷のない、シンプルですっきりとしたデザインの英語配列キーボードに交換します。

各サービスについて詳しくは、下記ホームページよりご覧ください。
http://www.vaio.sony.co.jp/Customize/

❑ アップデートCD-ROM 送付サービス

ご所有機種に応じた各種サポートCD-ROMを有料で送付させていただくサービスをご用意しております。
詳しくは、下記のホームページをご覧ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/cdromss/

❑ 訪問修理サービス

お客様のご使用環境などによる訪問修理のご要望にお答えするサービスです。(対象は一部機種を除いたデスクトップ型バイオのみとさせていただきます。)
ソニーのサービスエンジニアがお客様のご自宅へ直接お伺いして、修理を行ないます。
技術料・部品代以外に保証期間の内外に関わらず、別途、訪問料金がかかります。
サービスメニュー、料金、訪問可能な地域などは随時更新されますので、お申し込みの前に「VAIOカスタマーリンクホームページ内」の訪問修理サービスをご確認ください。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/onsite/

FAXで情報を取り寄せる

「FAX情報サービス」では、バイオに関する各種情報や修理の際に必要な「VAIOカルテ」などをFAXで入手できます。 以下のFAX番号におかけになり、応答する音声ガイダンスに従って操作してください。 なお、各情報の資料番号については、資料番号「0001」で入手できます。
FAX情報サービス
FAX番号:(0466)30-3040
http://vcl.vaio.sony.co.jp/info/fax.html

!ご注意
一部の機種では提供されません。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

アフターサービスについて

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有料修理とさせていただく場合がございます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社ではパーソナルコンピュータの修理は引取修理を行っています。当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、「修理を依頼されるときは」(127ページ)をご覧ください。

部品の保有期間について

当社ではパーソナルコンピューターの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。

付属ソフトウェアの お問い合わせ先

本機に付属のソフトウェアはそれぞれお問い合わせ先が異なります。各ソフトウェアごとに記載された先へお問い合わせください。
なお、本機に付属のソフトウェアの起動方法やお使いになる際のご注意など詳しい情報は、下記の手順で「バイオ電子マニュアル」を表示させてご覧ください。

ヒント

本機に付属のソフトウェアは、選択したモデルにより異なります。付属のソフトウェアを確認するには、「本機に付属されているソフトウェア」(154ページ)をご覧になるか、または (スタート)ボタン-[すべてのプログラム]にポインタをあわせて表示されたメニューをご確認ください。

1 **(スタート)ボタン-[すべてのプログラム]-[バイオ電子マニュアル]の順にクリックする。**

「バイオ電子マニュアル」が表示されます。

2 **「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]-[ソフト紹介/問い合わせ先]-[本機に付属されているソフトウェア]をクリックし、表示されたソフトウェア名をクリックする。**

!ご注意

- Windows Vistaは、使用者がOS上で作業を行うには一定のユーザー権利とアクセス許可が必要です。
  本機に付属のソフトウェアの中でも同様に、一定のユーザー権利とアクセス許可が必要なものがあります。
  インストールができない、機能の一部が使用できない、またはソフトウェアが起動できない場合などは、ログインしているユーザーに必要なユーザー権利とアクセス許可が与えられていない可能性があります。
  その場合は、システムの管理が可能なユーザー名で再度ログインするか、お使いのユーザー名に「コンピュータの管理者」の権利を与える設定にして作業をやり直してください。
  なお、ソフトウェアによっては、ユーザーの簡易切り替えに対応していないものがあります。詳しくは、各ソフトウェアのヘルプをご覧になるか、各ソフトウェアの「お問い合わせ先」にお問い合わせください。
- 付属ソフトウェアの一部においては、アプリケーション単独でアンインストールやインストールが行えるものもあります。ただし、このような操作を行った場合の動作確認は行っておりません。

OS

❑ Windows Vista(R) Ultimate

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Vista(R) Home Premium

VAIOカスタマーリンク

AVエンターテインメント

❑ Windows(R) Media Center

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows Media(R) Player

VAIOカスタマーリンク

テレビ

❑ StationTV Digital for VAIO

VAIOカスタマーリンク

ビデオ再生

❑ WinDVD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ WinDVD BD for VAIO

VAIOカスタマーリンク

ビデオ編集

❑ VAIO Movie Story

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Importer

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Content Exporter

VAIOカスタマーリンク

❑ Image Converter 3

VAIOカスタマーリンク

❑ Adobe(R) Premiere(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

❑ VAIO Edit Components

VAIOカスタマーリンク

❑ DigiOnSound(R) L.E. for VAIO(HDV対応版)

株式会社デジオン　サポートセンター
電話番号：(092) 833-6288
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 12時、13時〜 17時
(祝日、特別休業日を除く)
ファックス番号：(092) 833-6278
電子メール：support@digion.com
ホームページ：http://www.digion.com/

DVD ／ BD作成

❑ Click to DVD

VAIOカスタマーリンク

❑ Click to DVD BD

VAIOカスタマーリンク

❑ Roxio Easy Media Creator

ロキシオ・サポートセンター
電話番号：(03) 5441-7460
受付時間：10時〜 12時、13時〜 17時
(土曜、日曜、祝日、年末年始等を除く)
電子メール：下記のURLのメールサポートフォームよりお問い合わせください。
ホームページ：http://www.roxio.jp/support/

音楽

❑ SonicStage CP

VAIOカスタマーリンク

❑ SonicStage Mastering Studio

VAIOカスタマーリンク

❑ DSD Direct Player

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO MusicBox

VAIOカスタマーリンク

❑ LifeFLOW

VAIOカスタマーリンク

静止画・写真

❑ Windows(R) フォトギャラリー

VAIOカスタマーリンク

❑ Picasa(TM)

ホームページ：
http://picasa.google.com/support/

❑ Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R)

アドビ システムズ　テクニカルサポート
電話番号：(0570) 023623(ナビダイヤル)
または(03) 5304-2400
受付時間：月曜〜金曜：9時30分〜 17時30分
(年末年始、土曜、日曜、祝日、アドビシステムズ株式会社休業日を除く)
ホームページ：
http://www.adobe.com/jp/support/oemsony/index.html

ホームネットワーク

❑ VAIO Media

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Media Integrated Server

VAIOカスタマーリンク

コミュニケーション

❑ ArcSoft Magic-i Visual Effects（アークソフト マジックアイ ビジュアル エフェクツ）

アークソフト　カスタマーサポートセンター
電話番号：(0570) 060655(ナビダイヤル)
受付時間：月曜〜金曜：10時〜 12時、13時〜 18時
(年末年始、祝日除く)
電子メール：support@arcsoft.jp
ホームページ：http://www.arcsoft.jp

❑ VAIO（バイオ） カメラキャプチャーユーティリティ

VAIOカスタマーリンク

❑ Skype（スカイプ）

http://www.skype.com/intl/ja/

インターネット・メール

❑ Windows(R)（ウィンドウズ） メール

VAIOカスタマーリンク

❑ Windows(R) Internet Explorer（ウィンドウズ インターネット エクスプローラー）

VAIOカスタマーリンク

❑ Yahoo!（ヤフー）ツールバー

ヤフー株式会社　Yahoo!ツールバーカスタマーサービス
電子メール：
https://ms.yahoo.co.jp/bin/toolbar-ms/feedback
※上記ホームページから送信いただけます。
ホームページ：http://www.yahoo.co.jp/
http://help.yahoo.co.jp/help/jp/toolbar/index.html
(Yahoo!ツールバー・ヘルプページ)

セキュリティー

❑ Norton Internet Security(TM)（ノートン インターネット セキュリティ）

ソニーユーザ様向けサービスページです。
Norton Internet Securityに関するお問い合わせはこちらから！
http://www.symss.jp/jpo-sony-reg/

❑ McAfee SiteAdvisor Plus（マカフィー サイトアドバイザ プラス） 30日期間限定版

マカフィー株式会社
電話番号：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
(SiteAdvisor Plusに関する技術的な問い合わせ)
(0570) 060-033(ナビダイヤル)
(03) 5428-2279(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
(SiteAdvisor Plusに関するユーザ登録や登録情報変更などの製品以外に関するお問い合わせ)
(0570) 030-088(ナビダイヤル)
(03) 5428-1792(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
マカフィー・インフォメーションセンター
(SiteAdvisor Plusでのサイト評価に関する問い合わせ)
(0570) 010-220(ナビダイヤル)
(03) 5428-1899(ナビダイヤルがご利用いただけないお客様用)
受付時間：
マカフィー・テクニカルサポートセンター
9時〜 21時(年中無休)
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
月曜〜金曜：9時〜 17時(年末年始、祝日を除く)
マカフィー・インフォメーションセンター
月曜〜金曜： 9時〜 17時(年末年始、祝日を除く)
電子メール：
以下のWebフォームをご利用ください。
マカフィー・テクニカルサポートセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/supportform_redirect.asp
マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/cs_redirect.asp
マカフィー・インフォメーションセンター
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/home/info_redirect.asp
ホームページ：SiteAdvisor PlusのFAQ
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/SA/
マカフィー・テクニカルサポートセンターではチャットによるサポートもご提供しています。
チャット：
http://www.mcafee.com/japan/mcafee/support/chat.asp

ISPサインアップ

❑ So-net(ソネット)サービス紹介

ソネットエンタテインメント株式会社
So-netインフォメーションデスク
電話番号：
（一般固定電話から）（0570）00-1414
（携帯PHS・IP電話から） 札幌（011）711-3765
（携帯PHS・IP電話から） 仙台（022）256-2221
（携帯PHS・IP電話から） 東京（03）3513-6200
（携帯PHS・IP電話から） 名古屋（052）819-1300
（携帯PHS・IP電話から） 大阪（06）6577-4000
（携帯PHS・IP電話から） 広島（082）286-1286
（携帯PHS・IP電話から） 福岡（092）624-3910
受付時間：9時～ 21時（年中無休）
電子メール：info@so-net.ne.jp
ホームページ：http://www.so-net.ne.jp/support/

❑ BIGLOBE(ビッグローブ)で光ブロードバンド

BIGLOBEカスタマーサポート インフォメーションデスク
電話番号：（0120）86-0962（通話料無料）
（03）3947-0962（携帯電話、PHS、CATV電話の場合）
受付時間：9時～ 21時（365日受付）
ホームページ：https://my.sso.biglobe.ne.jp/support/

❑ ホットスポット

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

ワープロ・表計算

❑ Microsoft(マイクロソフト)(R) Office(オフィス) Personal(パーソナル) 2007

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(マイクロソフト)(R) Office(オフィス) Professional(プロフェッショナル) 2007

マイクロソフト スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
4インシデント（4件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、
土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Professional 2007プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は付属の「Office Professional 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Professional 2007 関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

❑ Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007

マイクロソフト　スタンダードサポート
電話番号：
東京（03）5354-4500 ／大阪（06）6347-4400
基本操作に関するお問い合わせ：
Office Personal 2007は4インシデント（4件のご質問）、Office PowerPoint 2007は2インシデント（2件のご質問）までは無償、それ以降は有償になります。
本件について詳しくは、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認いただくか、マイクロソフト スタンダードサポートまでお問い合わせください。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、日曜、祝日を除く）
セットアップ、インストール中のトラブルに関するお問い合わせ：
期間、回数の指定はありません。
こちらのお問い合わせに限り、日曜日もサポートいたします。
受付時間：月曜～金曜：9時30分～ 12時、13時～ 19時、土曜、日曜：10時～ 17時
（マイクロソフト社指定休業日、年末年始、祝日を除く）

！ご注意

- お電話をおかけいただく前に、住所、氏名、電話番号、郵便番号、プロダクトIDをご用意ください。
  プロダクトIDの確認方法については、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご覧ください。
- その他のサポートに関する詳しい情報は、付属の「Office Personal 2007 プレインストールパッケージ」および「Office PowerPoint 2007 プレインストールパッケージ」をご確認ください。
- Office Personal 2007およびOffice PowerPoint 2007関連のお問い合わせは、VAIOカスタマーリンクではお受けしておりません。

実用ツール

❑ 乗換案内

乗換案内ユーザーサポート
電話番号：（03）5369-4055
受付時間：月曜～金曜：10時～ 17時
（年末年始、祝日を除く）
ファックス番号：（03）5369-4064
電子メール：norikae@jorudan.co.jp
ホームページ：http://norikae.jorudan.co.jp

❑ デジタル全国地図

ゼンリンお客様相談室
電子メール：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ：http://www.zmap.net/

❑ Adobe(R) Reader(R)

Adobe Reader（無償配布ソフトウェア）に関するテクニカルサポートは、有償サポートプログラムまたは、無償のサービスサポートデータベースやユーザフォーラムをご利用ください。
ホームページ：http://www.adobe.com/jp/support/

暮らし役立ちパック

❑ 筆ぐるめ

富士ソフト株式会社　インフォメーションセンター
電話番号：（03）5600-2551
受付時間：9時30分～ 12時、13時～ 17時
（土曜、日曜、祝日、および富士ソフトABC株式会社休業日を除く）
ファックス番号：（03）3634-1322
電子メール：users@fsi.co.jp
ホームページ：http://www.fsi.co.jp/fgw/

FeliCa（フェリカ）

❑ かざそうFeliCa

VAIOカスタマーリンク

❑ Edy Viewer

Edy救急ダイヤル
電話番号：（0570）081-999（ナビダイヤル）
（03）6420-5699
受付時間：平日：9時30分～ 19時
土曜、日曜、祝日：10時～ 18時
（1/1 ～ 1/3と毎年2月第1日曜日を除く）
ホームページ：http://www.edy.jp/

❑ SFCard Viewer

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ スクリーンセーバーロック2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かんたん登録2

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ かざしてログオン

VAIOカスタマーリンク

❑ かざポン for VAIO

VAIOカスタマーリンク

❑ パーソナルシェルター

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

❑ NFRMPCViewer

NFRM公式Webサイト
http://sony.nfrm.jp/

❑ FeliCaブラウザエクステンション

ジャストシステム　サポートセンター
電話番号：
東京：（03）5412-3980 ／大阪：（06）6886-7160
受付時間：
月曜～金曜：10時～ 19時、土曜、日曜、祝日：10時～ 17時
（株式会社ジャストシステム特別休業日を除く）

！ご注意
お問い合わせの際には、お客様のUser IDおよびFeliCaポート対応アプリケーションパックのシリアルナンバーが必要です。
（スタート）ボタン－［すべてのプログラム］－［FeliCaポート］－［JSユーザー登録・確認（プリインストール製品用）］で登録を完了した後に発行されるUser IDとシリアルナンバーをご用意のうえ、サポートセンターをご利用ください。

ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

設定・ユーティリティ

❑ バイオの設定

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO ランチャー

VAIOカスタマーリンク

❑ Smart Network

VAIOカスタマーリンク

❑ 「ホットスポット」自動ログインツール

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

❑ ホットスポット自動セットアップ

ホットスポットインフォメーションデスク
電話番号：（0120）815244
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（年末年始、祝日を除く）
電子メール：hotspot@ntt.com
ホームページ：http://www.hotspot.ne.jp/

サポート・ヘルプ

❑ VAIOナビ

VAIOカスタマーリンク

❑ バイオ電子マニュアル

VAIOカスタマーリンク

❑ できるWindows Vista for VAIO

インプレスカスタマーセンター
電話番号：（03）5213-9295

❑ VAIO ハードウェア診断ツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO Update

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO リカバリセンター

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データリストアツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データレスキューツール

VAIOカスタマーリンク

❑ VAIO データ消去ツール

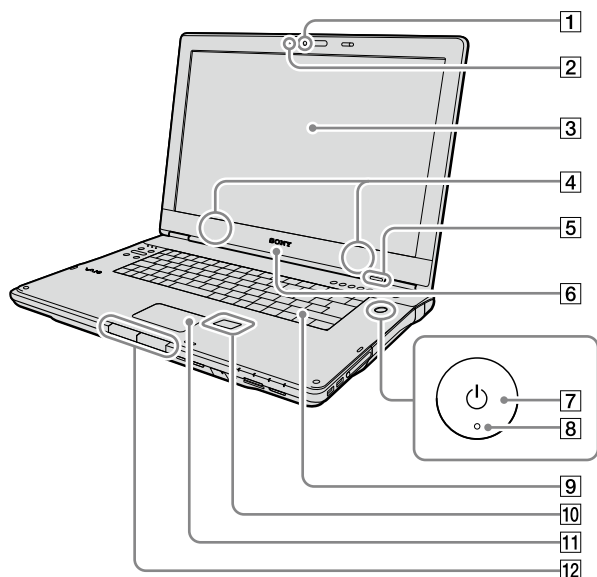
VAIOカスタマーリンク

その他

❑ VAIOオンラインカスタマー登録

ソニーマーケティング株式会社　カスタマー専用デスク
電話番号：（0466）38-1410
（ゼロヨンロクロク　サンハチ　イチヨンイチゼロ）
受付時間：月曜～金曜：10時～ 18時
（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

各部の説明

本体正面

1 **内蔵カメラ(MOTION EYE)(107、159ページ)**
「Skype」などのソフトウェアを使って、テレビ電話などをすることができます。

2 **内蔵カメラ(MOTION EYE)ランプ**
内蔵カメラ(MOTION EYE)起動中に点灯します。

3 **液晶ディスプレイ(101、156ページ)**

4 **内蔵スピーカー**

5 **IDラベル**
型名が記載されています。

6 **ロゴランプ**
本機の電源を入れると点灯します。
ロゴランプは、自動的に点灯／消灯するように設定することができます。

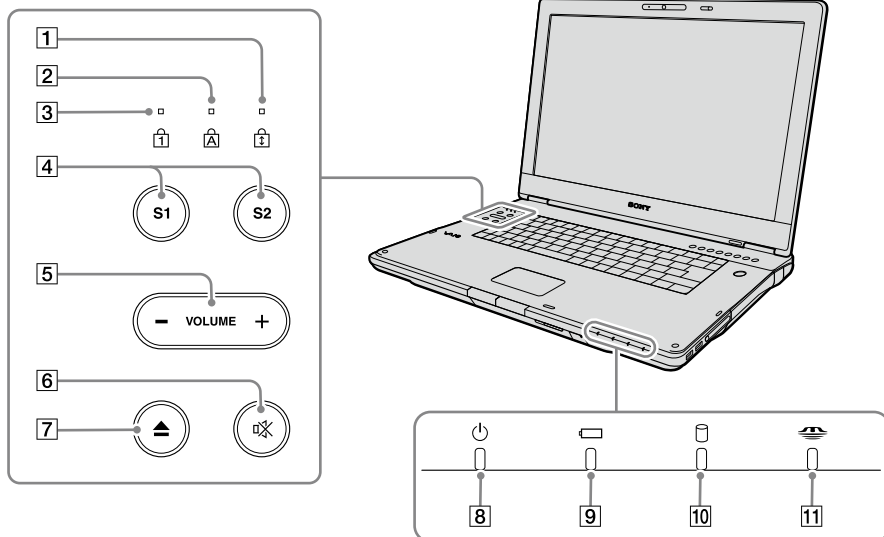
7 **⏻(パワー)ボタン**

8 **⏻(パワー)ランプ(31ページ)**
電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(アンバー(赤褐色))します。

9 **キーボード(103、149ページ)**

10 **FeliCaポート(FeliCa対応リーダー /ライター)(107ページ)**
FeliCa対応のカードなどを読み取ります。

11 **タッチパッド(104ページ)**
マウスの代わりに画面上のポインタを動かします。

12 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

1 (Scroll Lock)ランプ(149ページ)
Scr Lkキーを有効にすると点灯します。

2 (Caps Lock)ランプ(149ページ)
Caps Lockキーを有効にすると点灯します。

3 (Num Lock)ランプ(149ページ)
Num Lkキーを有効にすると点灯します。

4 Sボタン
お買い上げ時の設定では、S1ボタンを押すと「StationTV Digital for VAIO」ソフトウェアを起動します。
また、S2ボタンを押すとVGN-AR74DB・AR94US・AR94Sは液晶ディスプレイの画質を「標準」または「あざやか」に切り替え、VGN-AR64DB・AR54DB・AR84US・AR84SはSonicStage Mastering Studio オーディオフィルタ機能のオン／オフを切り替えます。
S1ボタン、S2ボタンには他の機能を割り当てることもできます。

5 VOLUME(ボリューム)ボタン
スピーカーやヘッドホンなどの音量を調節します。

6 (消音)ボタン
音声を入／切します。

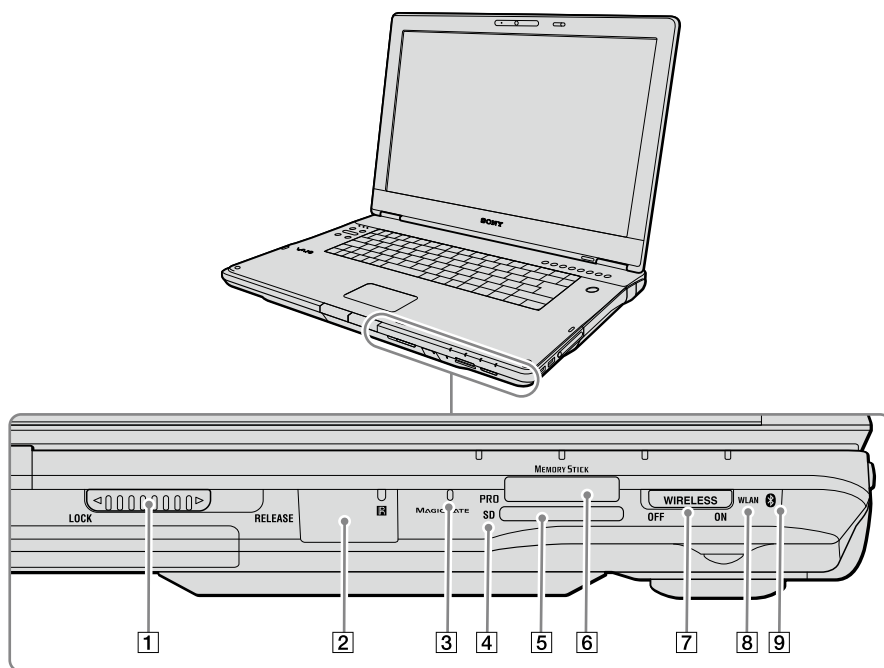
7 ⏏(イジェクト)ボタン
本機を起動し、Windowsにログオンした後に使えます。
通常、ディスクを入れる／取り出す場合はこのボタンをお使いください。

ヒント
このボタンを押してもディスクトレイが出てこない場合は、ドライブ側面のイジェクトボタンを押してください。

8 (パワー)ランプ(31ページ)
電源が入ると点灯(グリーン)します。スリープモード時には点滅(アンバー(赤褐色))します。

9 (バッテリ)ランプ
バッテリの動作状態をお知らせします。

10 (ハードディスク)アクセスランプ
ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

11 (メモリースティック) アクセスランプ
“メモリースティック”にアクセスしているときに点灯します。

1 **ディスプレイロックレバー**

2 **リモコン受光部／ランプ**

リモコンの信号を受けます。信号を受信したときに点灯します。

3 **内蔵マイク**

4 **SD（SDメモリーカード）アクセスランプ**

SDメモリーカードにアクセスしているときに点灯します。

5 **SD（SDメモリーカード）スロット**

SDメモリーカードを挿入します。

6 **メモリースティックスロット**

"メモリースティック"を挿入します。
"メモリースティック デュオ"もそのままお使いになれます。

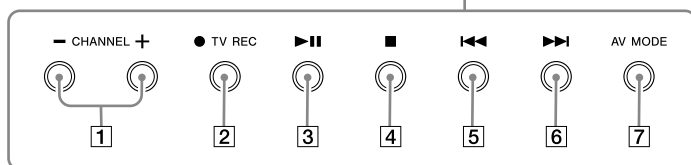
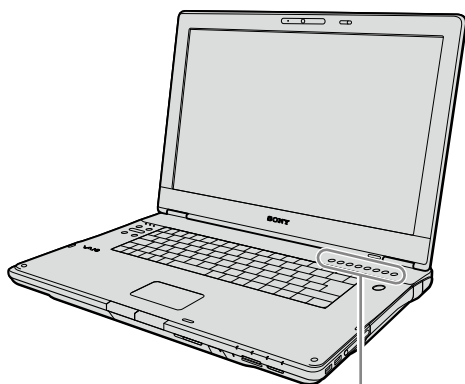
7 **WIRELESSスイッチ**

ワイヤレスLANやBluetooth機能をオン／オフします。

8 **WLAN（ワイヤレスLAN）ランプ**

ワイヤレスLANが使える状態のときに点灯します。

9 **（Bluetooth）ランプ**

Bluetooth機能が使える状態のときに点灯します。

1 **CHANNEL（チャンネル）ボタン**

テレビのチャンネルを選択します。

2 **TV RECボタン**

テレビ番組の録画を開始します。

3 **►II（再生／一時停止）ボタン**

Windows Media CenterでCDなどの音楽／ DVDなどの映像の再生／一時停止をします。

4 **■（停止）ボタン**

Windows Media CenterでCDなどの音楽／ DVDなどの映像の再生を停止します。

5 **I◄◄（前）ボタン**

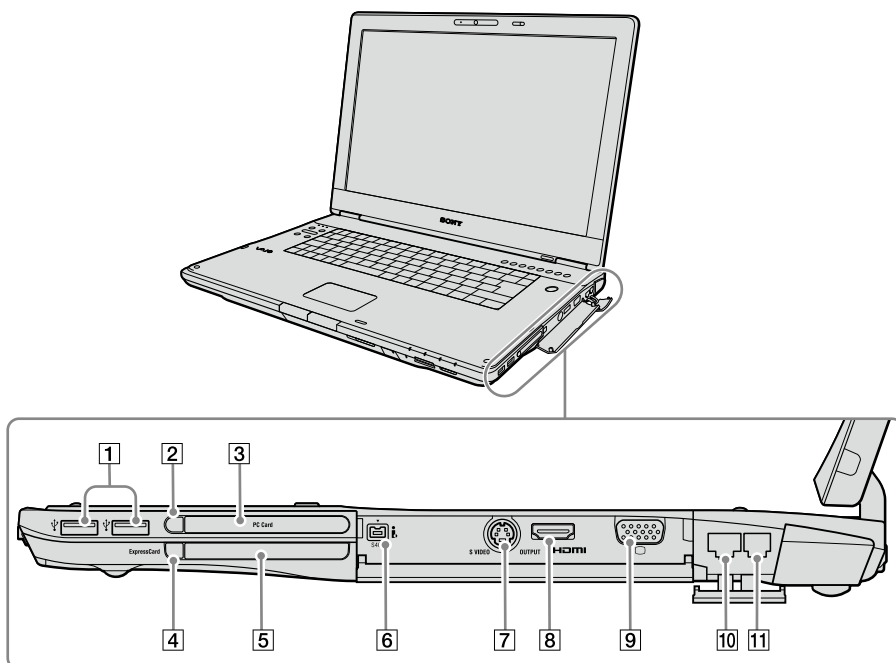
Windows Media CenterでDVDなどの映像再生中にチャプターや映像を戻し、CDなどの音楽再生中に曲を戻します。
また、長押しすることで早戻しもできます。

6 **►►I（次）ボタン**

Windows Media CenterでDVDなどの映像再生中にチャプターや映像を進め、CDなどの音楽再生中に曲を進めます。
また、長押しすることで早送りもできます。

7 **AVモードボタン**

VAIO ランチャーを起動します。
長押しして「VAIO ランチャーの設定」画面を表示し、VAIO ランチャーに表示するソフトウェアについて設定することもできます。

本体右側面

1 (USB)コネクタ

USB規格に対応した機器をつなぎます。

2 PCカード イジェクトボタン

PCカードを取り出します。

3 PCカードスロット（158ページ）

4 ExpressCard イジェクトボタン

ExpressCard モジュールを取り出します。

5 Universal ExpressCard スロット（158ページ）

6 S400 (i.LINK)コネクタ

i.LINK端子の付いた他の機器とデータをやりとりできます。

7 S VIDEO OUTコネクタ

テレビやビデオデッキなどをつなぎます。

8 HDMI OUTコネクタ

HDMI入力端子のあるテレビや外部ディスプレイをつなぎます。

9 (モニタ)コネクタ

外部ディスプレイやプロジェクタをつなぎます。

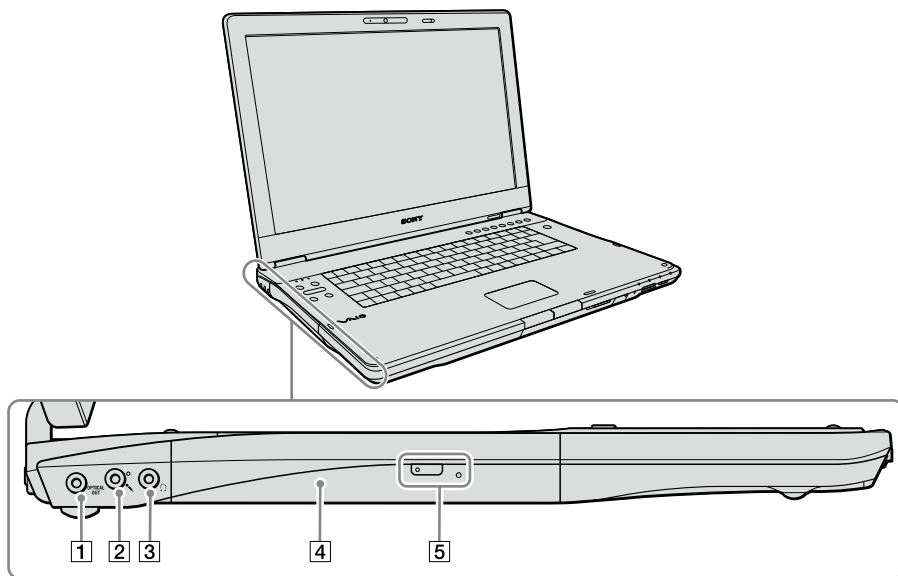
10 LANコネクタ（24ページ）

LANケーブルなどをつなぎます。

LANポートを使用するタイプのADSLモデムなどに接続するときに使います。

11 (モジュラジャック)（24ページ）

電話回線をつなぎます。

本体左側面

1 OPTICAL OUTコネクタ

光デジタル音声入力のあるオーディオ機器をつなぎます。

ヒント

本機の電源が入っているときにコネクタから赤い光が出ていますが、これは構造によるもので、故障ではありません。

2 **🎤(マイク)コネクタ**

マイクをつなぎます。(ステレオ対応)

🎧(ヘッドホン)コネクタと区別がしやすいように、🎤(マイク)コネクタの右側に突起がついています。

マイクをお使いになるときは、誤って🎧(ヘッドホン)コネクタに接続しないようにご注意ください。

3 **🎧(ヘッドホン)コネクタ**

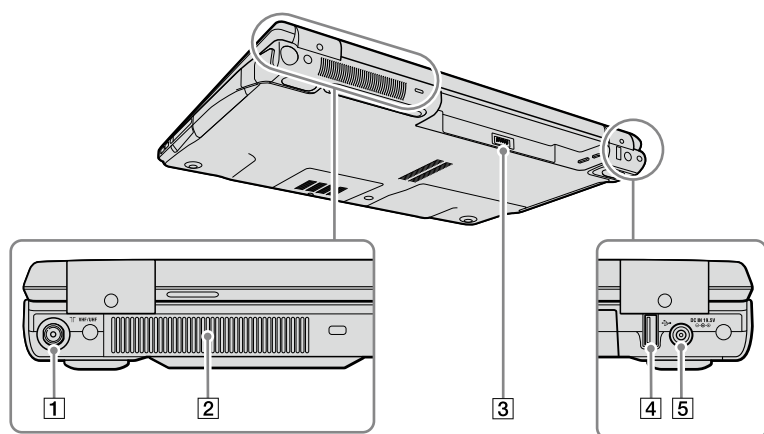
スピーカーやヘッドホンやテレビなどをつなぎます。

4 **ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)またはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブまたはDVDスーパーマルチドライブ(DVD±R 2層記録対応)**

以降、ドライブと略すことがあります。

お使いのドライブを確認するには、「主な仕様」(152ページ)をご覧ください。

5 **ドライブ イジェクトボタン/アクセスランプ、マニュアルイジェクト穴**

本体後面

1 ⫪ VHF/UHFコネクタ（29ページ）

アンテナを接続し、本機でデジタル放送を見ることができます。

2 排気口

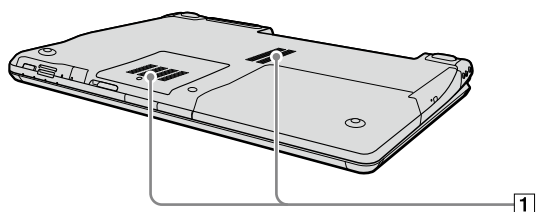
3 バッテリコネクタ

4 ψ（USB）コネクタ

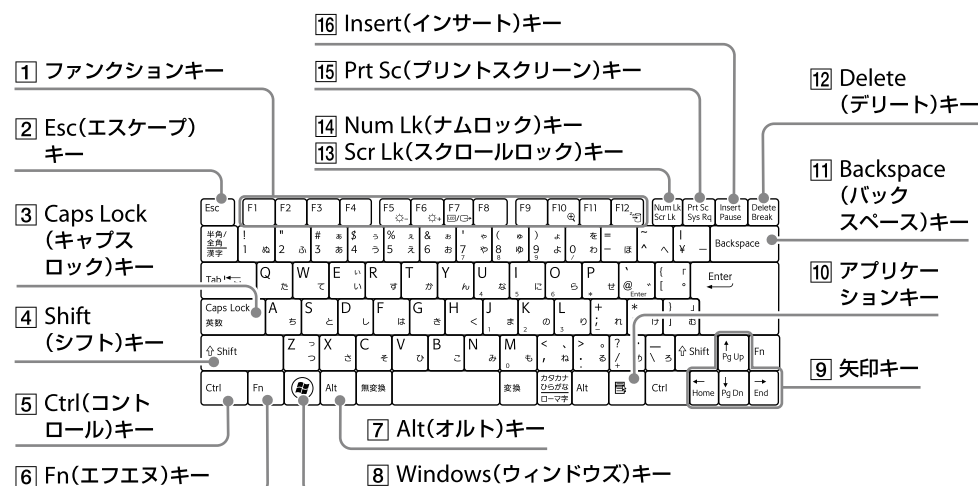
USB規格に対応した機器をつなぎます。

5 DC IN 19.5V⊖-◐-⊕コネクタ（30ページ）

ACアダプタをつなぎ、電源コンセントにつなぎます。

本体底面

1 吸気口

キーボードの各部名称

各ソフトウェアのヘルプもあわせてご覧ください。

1 **ファンクションキー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーと組み合わせて使うと、特定の機能を実行できます。

2 **Esc(エスケープ)キー**

設定を取り消したり、実行を中止するときなどに押します。

3 **Caps Lock(キャプスロック)キー**

Shift(シフト)キーを押しながらこのキーを押し、キーボードの左側にある🔒(Caps Lock)ランプが点灯しているときに、文字キーを押すと、アルファベットの大文字を入力できます。

4 **Shift(シフト)キー**

文字キーと組み合わせて使うと、大文字を入力できます。

5 **Ctrl(コントロール)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

6 **Fn(エフエヌ)キー**

キーボード上で青色で表記されている機能を使うとき、このキーと組み合わせて押します。

7 **Alt(オルト)キー**

文字キーなどと組み合わせて使うと、特定の機能を実行します。

8 **Windows(ウィンドウズ)キー**

Windowsのスタートメニューが表示されます。

9 **矢印キー**

カーソルを動かしたり、数ページにわたる画面の次ページまたは前ページを表示できます。

10 **アプリケーションキー**

タッチパッドの右ボタンを押したときと同じ働きをします。

11 **Backspace(バックスペース)キー**

カーソルの左側の文字を消します。

12 **Delete(デリート)キー**

カーソルの右側の文字を消します。

13 **Scr Lk(スクロールロック)キー**

使用するソフトウェアによって働きが異なります。Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと、キーボードの左側にある🔒(Scroll Lock)ランプが点灯します。もう一度Fnキーを押しながらScr Lkキーを押すと消灯します。

14 **Num Lk(ナムロック)キー**

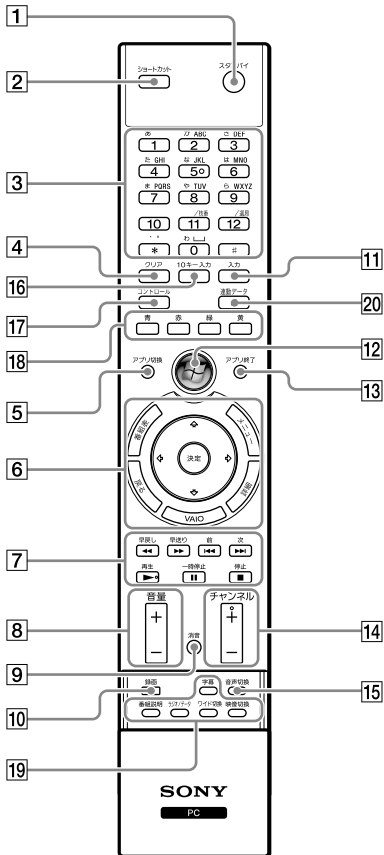
テンキーと組み合わせて使うと、数字を入力できます。Num Lkキーを押すと、キーボードの左側にある🔒(Num Lock)ランプが点灯します。もう1度Num Lkキーを押すと、消灯します。

15 **Prt Sc(プリントスクリーン)キー**

デスクトップ画面全体を画像として本機に取り込みます。

16 **Insert(インサート)キー**

文字を挿入するか、上書きするか切り替えます。

リモコンの各部名称

1 **スタンバイボタン**

本機の動作中に押すと、スリープモードになります。再び押すと、スリープモードから復帰します。

!ご注意

次の場合は、スリープモードには入れません。

- 録画中
- DVDの作成中
- 録画予約処理中(予約録画開始前など)
- リモート録画予約の通信中(リモート録画予約機能を設定している場合)

2 **ショートカットボタン**

「StationTV Digital」ソフトウェアが起動します。

3 **チャンネル数字/文字入力ボタン**

チャンネルを選択したり、文字を入力するときに使います。

5ボタンに突起が付いています。

ヒント

チャンネル数字ボタンの割り当ては変更できます。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

!ご注意

録画中は、チャンネルを切り替えることはできません。

4 **クリアボタン**

文字入力時に文字を消去したい場合に使います。

5 **アプリ切換ボタン**

手前に表示されているソフトウェアを他のソフトウェアに切り替えたい場合に使います。

6 **操作ボタンA**

デジタル放送で番組表やメニューを操作するときに使います。

7 **操作ボタンB**

映像や音楽の再生操作に使います。

8 **音量ボタン**

音量を調節します。

!ご注意

ディスプレイやスピーカーで調節した音量以上の大きさにはなりません。

9 **消音ボタン**

一時的に音を消します。もう一度押すと音が出ます。

10 **録画ボタン**

テレビ番組の録画を開始します。

⑪ **入力ボタン**
Windows Media Centerでキーワード検索などを行う場合に、文字を入力したあと決定するときに使います。
⑫ **Windowsボタン**
Windows Media Centerを起動します。
⑬ **アプリ終了ボタン**
手前に表示しているソフトウェアを終了します。
⑭ **チャンネルボタン**
チャンネルを切り替えるときに使います。
＋ボタンに突起が付いています。
⑮ **音声切換ボタン**
複数の音声がある番組を見ているときに音声を切り替えることができます。
ボタンに突起が付いています。

⑯ **10キー入力ボタン**
ダイレクト選局（3桁入力）でチャンネルを切り替えることができます。
⑰ **コントロールボタン**
「StationTV Digital」ソフトウェアの操作パネルなどを表示します。
⑱ **カラーボタン**
データ放送や双方向サービスなどを利用する場合に使います。
⑲ **操作ボタンC**
デジタル放送の操作に使います。
⑳ **連動データボタン**
データ放送のコンテンツを表示します。

主な仕様

VGN-AR94US・AR84US・AR94S・AR84Sをご購入のお客様へ
お客様が選択された商品によって仕様が異なります。
お客様が選択された仕様を記載した印刷物もあわせてご覧ください。

シリーズ			type A		
モデル			VGN-AR74DB	VGN-AR64DB	VGN-AR54DB
OS			Windows Vista® Home Premium 正規版		
プロセッサー[*1*2]	テクノロジー		インテル® Centrino® Duo プロセッサー・テクノロジー		
	名称		インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7500(拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)	インテル® Core™ 2 Duo プロセッサー T7250(拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー搭載)	
チップセット			モバイル インテル® PM965 Express チップセット		
メインメモリー	標準/最大		2 GB(1 GB×2) /4 GB[*3*4](ビデオメモリー共有)	1 GB(512 MB×2) /4 GB[*3*4](ビデオメモリー共有)	
	メモリーバス		DDR2 SDRAM、DDR2 667対応(667 MHz動作) デュアルチャンネル転送対応[*5]		
	スロット数(空き)		SO-DIMMスロット×2(0)		
表示機能	グラフィックアクセラレーター		NVIDIA® GeForce® 8600M GT GPU	NVIDIA® GeForce® 8400M GT GPU	
	液晶表示装置		17型ワイドTFTカラー液晶[クリアブラック液晶](ピュアカラー)(ARコート) 解像度：WUXGA 1920×1200ドット	17型ワイドTFTカラー液晶[クリアブラック液晶](ピュアカラー)(ARコート) 解像度：WXGA+ 1440×900ドット	
テレビ機能	デジタルチューナー		地上デジタルチューナー×1[*6]		
記憶装置	ハードディスクドライブ[*7]		約320 GB[*8]	約200 GB	
	BD/DVD/CD ドライブ	ドライブ	ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)		DVDスーパーマルチ/BD-ROM 一体型ドライブ
		対応メディア(読みだし)	BD[*9*10]、DVD、CD		
		対応メディア(書きこみ)	BD-RE[*11](2層、1層) BD-R[*11](2層、1層) DVD+R(2層[*12]、1層) DVD+RW DVD-R(2層[*13]、1層[*14]) DVD-RW[*15] DVD-RAM[*16] CD-R CD-RW[*17]		DVD+R(2層[*12]、1層) DVD+RW DVD-R(2層[*13]、1層[*14]) DVD-RW[*15] DVD-RAM[*16] CD-R CD-RW[*17]
ワイヤレス通信[*18]	ワイヤレスLAN[*19]		内蔵(IEEE 802.11a/b/g・IEEE 802.11n ドラフト準拠[*20*21*22*23]、WPA2対応、Wi-Fi適合)		
	Bluetooth		内蔵(Bluetooth 2.0+EDR準拠)[*24]		
FeliCaポート(非接触ICカードリーダー /ライター)			搭載		
メモリースティックスロット[*25]			メモリースティック(標準/Duoサイズ対応、メモリースティック PRO対応、高速データ転送対応、マジックゲート対応)×1		
その他対応メモリーカードスロット[*26]			SDメモリーカード[*27]/マルチメディアカード(MMC)×1		
PCカードスロット			Type II×1		
ExpressCard スロット			ExpressCard/54(ExpressCard/34対応)×1		
カメラ			Webカメラ《MOTION EYE》(有効画素数131万画素)		
電源[*28]			リチウムイオンバッテリーまたはACアダプター(AC100 ~ 240 V、50/60 Hz) (付属電源コードはAC100 V用)		
消費電力	通常時		約37 W[*29]	約38 W[*29]	
	スリープ時		約2.1 W		
温湿度条件			動作時：5 ~ 35 ℃、20 ~ 80 %(ただし結露しないこと)		
外形寸法(突起物含まず)			約 幅416 mm×高さ33.5 mm(最厚部41.5 mm)×奥行299.5 mm		
質量			約3.9 kg(バッテリーパック装着時)	約3.8 kg(バッテリーパック装着時)	

地上デジタルチューナーの主な仕様[*6]

- 地上デジタルテレビ放送受信機能
- デジタル放送録画機能(著作権保護機能)
- HDD録画容量[*30]：地上デジタル放送(約17 Mbps)約7.5 GB/1時間

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

*1 プロセッサーの処理能力は、使用状況により変化します。
*2 VAIOは、インテル® バーチャライゼーション・テクノロジーには対応していません。
*3 メモリーを最大に増設するには出荷時に装着済のメモリーモジュールを取り外す必要があります。
*4 搭載できるメモリーの最大容量は4 GBですが、OSが使用可能な領域は最大約3 GBになります。
*5 増設する際は、同じ容量のメモリモジュールを2枚1組で装着するデュアルチャンネル構成をお勧めします。シングルチャンネル（2枚1組でない）構成よりもパフォーマンスが向上します。
*6 地上デジタル放送のみに対応します。BS・110度CSデジタル放送には対応していません。
*7 1 GBを10億バイトで計算した場合の数値です。Windowsのシステムでは、1 GBを1,073,741,824バイトで計算しており、Windows起動時に認識できる容量は、若干小さい数値になります。ファイルシステムはNTFSです。
*8 RAID 0（ストライピング）に設定されています。
*9 BD-RE Ver. 1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用になれません。
*10 ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従い、インターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましてはVAIOホームページでご案内します。
*11 BD-R Ver. 1.1（1層25 GB、2層50 GB）、BD-RE Ver. 2.1（1層25 GB、2層50 GB）の書きこみに対応しています。
*12 DVD+R DL（Double Layer）の書きこみは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクでのみ可能です。
*13 DVD-R DL（Dual Layer）の書きこみは、「Dual Layer DVD-R」に対応したDVD-Rディスクのみ可能です。
*14 DVD-Rは、「DVD-R for General Version 2.0/2.1」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*15 DVD-RWは「DVD-RW Ver.1.1/1.2」に準拠したディスクの書きこみに対応しています。
*16 DVD-RAM Ver.1（片面2.6 GB）の書きこみには対応していません。DVD-RAM Ver. 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応していません。カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*17 Ultra Speed CD-RWディスクの書きこみには対応していません。
*18 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波状況により通信が切断される場合があります。通信速度の規格値は、無線規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
*19 IEEE 802.11gは、IEEE 802.11bとの混在環境では相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。IEEE 802.11nは、IEEE 802.11aもしくはIEEE 802.11b/gとの混在環境では、相互に干渉の恐れがあり、通信速度が低下する場合があります。
*20 通信速度は、IEEE 802.11b：規格値11 Mbps、IEEE 802.11a/g：規格値54 Mbps、IEEE 802.11n ドラフト：規格値300 Mbps。
*21 IEEE 802.11b/gについては、1 ～ 13チャンネルに対応しています。
*22 IEEE 802.11a/nについては、J52/W52/W53/W56に対応（JEITAによる改正 IEEE 802.11a規格ガイドラインに基づく周波数表示）。
*23 IEEE 802.11a/n（5 GHz）ワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。
*24 通信速度は、Bluetooth 2.0+EDR：規格値2.1 Mbps。
*25 機器により使用できるメモリースティックの容量に制限があります。
使用する機器の取扱説明書、あるいはソニードライブの「メモリースティック対応表（www.sony.co.jp/mstaiou）」をご確認ください。
*26 SDメモリーカードの著作権保護機能には対応していません。
*27 SDHCメモリーカードに対応しています。
*28 その他の仕様については、ACアダプタのラベルをご覧ください。
*29 OSを起動させたアイドル状態での測定値です（2007年9月より）。出荷時構成、周辺機器の接続なし、ACアダプター接続、バッテリー充電含まず。
*30 HDD録画容量は、録画1時間あたりのHDD使用量のめやすです。

本機に付属されているソフトウェア

ご使用いただいている機種によって、付属されているソフトウェアが異なります。
次の表をご覧いただき、ご使用いただいている機種に付属されているソフトウェアをご確認ください。
各ソフトウェアの概要については、「バイオ電子マニュアル」の[ソフトウェアの使いかた]－[ソフト紹介／問い合わせ先]－[本機に付属されているソフトウェア]でソフトウェア名称をクリックするとご確認いただけます。

表の見かた

○：ご使用の機種に付属されています。
□：ご使用の機種にインストーラーが付属されておりますので、ソフトウェアをお使いいただくときに個別にインストールしてください。
－：ご使用の機種には付属されておりません。

	VGN-AR94US・AR84US	VGN-AR94S・AR84S	VGN-AR74DB	VGN-AR64DB	VGN-AR54DB
OS					
Windows Vista(R) Ultimate	○	－	－	－	－
Windows Vista(R) Home Premium	－	○	○	○	○
AVエンターテインメント					
Windows(R) Media Center	○	○	○	○	○
Windows Media(R) Player 11	○	○	○	○	○
テレビ					
StationTV Digital for VAIO	○	○	○	○	○
ビデオ再生					
WinDVD for VAIO	○／－*	○／－*	－	－	－
WinDVD BD for VAIO	○／－*	○／－*	○	○	○
ビデオ編集					
VAIO Movie Story	○	○	○	○	○
VAIO Content Importer	○	○	○	○	○
VAIO Content Exporter	○	○	○	○	○
Image Converter 3	○	○	○	○	○
Adobe(R) Premiere(R) Elements(R) 3.0	□／－*	□／－*	□	□	□
VAIO Edit Components	□／－*	□／－*	□	□	□
DigiOnSound(R)5 L.E. for VAIO（HDV対応版）	○／－*	○／－*	○	○	○
DVD ／ BD作成					
Click to DVD	○／－*	○／－*	－	－	○
Click to DVD BD	○／－*	○／－*	○	○	－
Roxio Easy Media Creator	○	○	○	○	○
音楽					
SonicStage CP	○	○	○	○	○
SonicStage Mastering Studio	○	○	○	○	○
DSD Direct Player	○	○	○	○	○
VAIO MusicBox	○	○	○	○	○
LifeFLOW	○	○	○	○	○
静止画・写真					
Windows(R) フォトギャラリー	○	○	○	○	○
Picasa(TM)	○	○	○	○	○
Adobe(R) Photoshop(R) Elements(R) 5.0	□／－*	□／－*	□	□	□
ホームネットワーク					
VAIO Media	○	○	○	○	○
VAIO Media Integrated Server	○	○	○	○	○
コミュニケーション					
ArcSoft Magic-i Visual Effects	□	□	□	□	□
VAIO カメラキャプチャーユーティリティ	○	○	○	○	○
Skype	○	○	○	○	○

	VGN-AR94US・AR84US	VGN-AR94S・AR84S	VGN-AR74DB	VGN-AR64DB	VGN-AR54DB
インターネット・メール					
Windows(R) メール	○	○	○	○	○
Windows(R) Internet Explorer 7	○	○	○	○	○
Yahoo!ツールバー	○	○	○	○	○
セキュリティー					
Norton Internet Security(TM) 2007	○	○	○	○	○
McAfee SiteAdvisor Plus 30日期間限定版	○	○	○	○	○
ISPサインアップ					
So-netサービス紹介	○	○	○	○	○
BIGLOBEで光ブロードバンド Ver3.01	○	○	○	○	○
ホットスポット	○	○	○	○	○
ワープロ・表計算					
Microsoft(R) Office Personal 2007	○／−*	○／−*	○	○	○
Microsoft(R) Office Professional 2007	○／−*	○／−*	−	−	−
Microsoft(R) Office Personal 2007 with Microsoft(R) Office PowerPoint(R) 2007	○／−*	○／−*	−	−	−
実用ツール					
乗換案内VER.5	○	○	○	○	○
デジタル全国地図	○	○	○	○	○
Adobe(R) Reader(R) 8.1	○	○	○	○	○
暮らし役立ちパック					
筆ぐるめ Ver.14	○	○	○	○	○
FeliCa（フェリカ）					
かざそうFeliCa	○	○	○	○	○
Edy Viewer V2.1	○	○	○	○	○
SFCard Viewer	○	○	○	○	○
スクリーンセーバーロック2	○	○	○	○	○
かんたん登録2	○	○	○	○	○
かざしてログオン	○	○	○	○	○
かざポン for VAIO	○	○	○	○	○
パーソナルシェルター	○	○	○	○	○
NFRMPCViewer	○	○	○	○	○
FeliCaブラウザエクステンション	□	□	□	□	□
設定・ユーティリティ					
バイオの設定	○	○	○	○	○
VAIO ランチャー	○	○	○	○	○
Smart Network	○	○	○	○	○
「ホットスポット」自動ログインツール	○	○	○	○	○
ホットスポット自動セットアップ	○	○	○	○	○
サポート・ヘルプ					
VAIOナビ	○	○	○	○	○
バイオ電子マニュアル	○	○	○	○	○
できるWindows Vista for VAIO	○	○	○	○	○
VAIO ハードウェア診断ツール	○	○	○	○	○
VAIO Update Ver.3.0	○	○	○	○	○
VAIO リカバリセンター	○	○	○	○	○
VAIO データリストアツール	○	○	○	○	○
VAIO データレスキューツール	○	○	○	○	○
VAIO データ消去ツール	○	○	○	○	○
その他					
VAIOオンラインカスタマー登録	○	○	○	○	○

* ご購入時に選択されたモデルによって、付属されるソフトウェアは異なります。

注意事項

使用上のご注意

本機をお使いになる際の重要なお知らせです。必ずお読みください。

ここに記載されているご注意の他に、本機の画面に表示される「重要なお知らせ」の内容をご確認ください。
「重要なお知らせ」は、本機をはじめてお使いになる際、画面に表示されます。
まだ「重要なお知らせ」をご覧になっていない場合は、(スタート)ボタン－[すべてのプログラム]－[重要なお知らせ]をクリックして表示される画面をご覧ください。

本機の取り扱いについて

- 本機に手やひじをつくなどして力を加えないでください。
- 衝撃を加えたり、落としたりしないでください。記録したデータが消失したり、本機の故障の原因となります。
- 炎天下や窓をしめきった自動車内など、異常な高温になる場所には置かないでください。本機が変形し、故障の原因となることがあります。
- クリップなどの金属物を本機の中に入れないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- キーボードの上に物を置いたり落としたりしないでください。また、キートップを故意にはずさないでください。キーボードの故障の原因となります。
- 本機は精密機器であるため、ほこりの多い場所では使用しないでください。故障の原因となることがあります。
- 湿気が多い場所では使用しないでください。
- ディスプレイパネルを開閉する際は、液晶ディスプレイと本機キーボード面の間に指などを入れてはさまないようにご注意ください。

有寿命部品について

本機には有寿命部品が含まれています。有寿命部品とは、ご使用による磨耗・劣化が進行する可能性のある部品を指します。各有寿命部品の寿命は、ご使用の環境やご使用頻度などの条件により異なります。著しい劣化・磨耗がある場合は、機能が低下し、製品の性能維持のため交換が必要となる場合がありますので、予めご了承下さい。

液晶ディスプレイについて

- 液晶画面は非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面の一部にごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合があります(液晶ディスプレイ画面の表示しうる全画素数のうち、点灯しない画素や常時点灯している画素数は、0.0006 %未満です)。また、見る角度によって、すじ状の色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、液晶ディスプレイの構造によるもので、故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。
- ディスプレイに物をのせたり、落としたりしないでください。また、手やひじをついて体重をかけないでください。
- ディスプレイの表示面をカッターや鋭利な刃物で傷つけないでください。
- キーボードの上にボールペンなどを置いたまま、液晶ディスプレイを閉じないでください。
- 液晶ディスプレイを閉じた際は、ディスプレイロックレバーをLOCK側にずらし、液晶ディスプレイをロックしてください。

結露について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋などで、本機の表面や内部に結露が生じることがあります。
そのままご使用になると故障の原因となります。
結露が生じたときは、水滴をよく拭き取ってください。水滴を拭き取るときは、ティッシュペーパーをお使いになることをおすすめします。
管面または液晶面が冷えているときは、水滴を拭き取っても、また結露が生じてしまいます。
全体が室温に温まって結露が生じなくなるまで、電源を入れずに約1時間放置してください。

ハードディスクの取り扱いについて

本機には、ハードディスク(アプリケーションやデータなどを保存するための記憶装置)が内蔵されています。何らかの原因でハードディスクが故障した場合、データの修復はできませんので、記憶したデータを失ってしまうことのないよう、次の点に特にご注意ください。

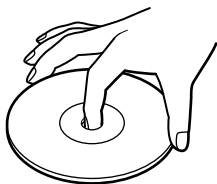
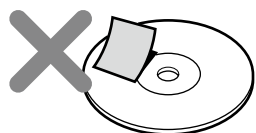
- 衝撃を与えないでください。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しないでください。
- 電源を入れたまま、本機を動かさないでください。
- データの書き込み中や読み込み中は、電源を切ったり再起動したりしないでください。
- 急激な温度変化(毎時10 ℃以上の変化)のある場所では使用しないでください。

- テレビやスピーカー、磁石、磁気ブレスレットなどの磁気を帯びたものを本機に近づけないでください。
- ハードディスクドライブを取りはずさないでください。

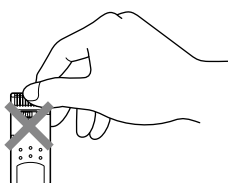
ハードディスクのバックアップについて

ハードディスクは非常に多くのデータを保存することができますが、その反面、ひとたび事故で故障すると多量のデータが失われ、取り返しのつかないことになります。万一のためにも、ハードディスクに保存している文書などのデータは定期的にバックアップを取ることをおすすめします。
ハードディスクのバックアップ、バックアップの内容の戻しかたについて詳しくは、Windowsのヘルプをお読みください。
データの損失については、一切責任を負いかねます。

ディスクの取り扱いについて

- 下図のようにディスクの外縁を支えるようにして持ち、記録面（再生面）に触れないようにしてください。

- ラベルの貼付に起因する不具合やメディアの損失については、弊社では責任を負いかねます。ご使用になるラベル作成ソフトウェアやラベル用紙の注意書きをよくお読みになり、お客様の責任においてご使用ください。
- ラベルを貼付したディスクをお使いの場合、正しく貼られていることを確認してください。ラベルの端が浮いていたり、粘着力が弱いと本体内部でラベルが剥がれて本機の故障の原因となります。

- ほこりやちりの多いところ、直射日光の当たるところ、暖房器具の近く、湿気の多いところには保管しないでください。
- ディスクのレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど鋭利なもので文字を書くと記録面を傷つける原因となります。

“メモリースティック”の取り扱いについて

- 小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。
  誤って飲み込むおそれがあります。
- 大切なデータはバックアップをとっておくことをおすすめします。
- 次の場合、記録したデータが消えたり壊れたりすることがあります。
  - メモリースティックアクセスランプが点灯中に“メモリースティック”を抜いたり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 端子部には手や金属で触れないでください。

- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 次のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- ラベルを貼るときは、所定のラベル貼り付け部からはみ出さないように貼ってください。
- 持ち運びや保管の際は、“メモリースティック”を付属の収納ケースに入れてください。

“メモリースティック デュオ”使用上のご注意

- メモリースティック デュオ アダプターは、“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で本機に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。
- “メモリースティック デュオ”のメモエリアに書き込むときは、内部を破損するおそれがあるため、先の尖ったペンは使用せず、あまり強い圧力をかけないようご注意ください。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを動かすときは、先の細いもので動かしてください。

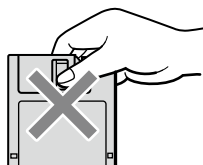
“メモリースティック マイクロ”使用上のご注意

- “メモリースティック マイクロ”を本機でお使いの場合は、必ず“メモリースティック マイクロ”をメモリースティック マイクロ アダプターに入れてから本機に挿入してください。
  メモリースティック マイクロ アダプターに装着されていない状態で挿入すると、“メモリースティック マイクロ”が取り出せなくなる可能性があります。
- メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターに“メモリースティック マイクロ”を入れ、さらにそれをメモリースティック デュオ アダプターに入れて使用すると動作しない場合があります。メモリースティック マイクロ スタンダードサイズアダプターをお使いください。
- “メモリースティック マイクロ”、メモリースティック マイクロ デュオサイズ アダプターは、小さいお子様の手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込む恐れがあります。

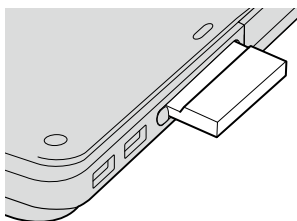
メモリカードをコンピュータ以外の機器で使用する場合

“メモリースティック”以外のメモリカードをコンピュータ以外の機器（デジタルスチルカメラやオーディオ機器など）で使用する場合は、データの記録を行う機器であらかじめメモリカードをフォーマット（初期化）してからご使用ください。
お使いの機器によっては、コンピュータで標準的に使用されるフォーマットをサポートしていない場合があり、フォーマットを促すメッセージが表示されることがあります。その場合はメモリカード内のデータをいったん本機にコピーし、データの記録を行う機器でメモリカードをフォーマットしてからご使用ください。
フォーマットを行うとデータは消去されますのでご注意ください。
詳しくは、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。

フロッピーディスクの取り扱いについて

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。

- 液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクドライブから取り出して、必ずケースなどに入れて保管してください。
- ラベルが正しく貼られているか確認してください。ラベルがめくれていたり、浮いていると、本体内部にラベルが貼り付いて本機の故障の原因となったり、大切なディスクにダメージを与えることがあります。

PCカードの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でカードの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- カード内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- カードを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- PCカードスロットの中に異物を入れないでください。
- PCカードスロットからはみ出すPCカード（PHSカードなど）を挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。

  - PCカードを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にPCカードに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカード部分を持って本機を持ち上げるなど、PCカードに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。
  - PCカードを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。PCカードに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ExpressCard モジュールの取り扱いについて

- じゅうたんの上など、静電気の発生しやすいところに放置しないでください。静電気の影響でExpressCard モジュールの部品が壊れてしまうことがあります。
- コネクタ部には手や金属で触れないでください。
- ExpressCard モジュール内部には精密な電子部品があります。落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- ExpressCard モジュールを水でぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下など気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のある場所
  - ほこりの多い場所
- スロットの中に異物を入れないでください。
- スロットからはみ出すExpressCard モジュールを挿入してお使いの場合は、次の点にご注意ください。
  - ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機を移動しないでください。
    移動時にExpressCard モジュールに強い衝撃を与えると、本機が破損するおそれがあります。
  - ExpressCard モジュール部分を持って本機を持ち上げるなど、ExpressCard モジュールに力を加えると、本機が破損するおそれがあります。

－ ExpressCard モジュールを挿入した状態で、本機をカバンやキャリングケースなどの中へ入れないでください。
ExpressCard モジュールに予期せぬ力が加わり、本機が破損するおそれがあります。

ワイヤレス機能の取り扱いについて

- 本機のワイヤレス機能は、日本国内のみでお使いください。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ワイヤレス対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためワイヤレス対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 5 GHzワイヤレスLAN機能の屋外での使用は、法令により禁止されています。
- 通信速度は、通信機器間の距離や障害物、機器構成、電波状況、使用するソフトウェアなどにより変化します。また、電波環境により通信が切断される場合があります。
- 通信機器間の距離は、実際の通信機器間の障害物や電波状況、壁の有無・素材など周囲の環境、使用するソフトウェアなどにより変化します。
- 2.4 GHz帯のワイヤレスLAN機能と5 GHz帯のワイヤレスLAN機能とでは、周波数帯域が異なるため接続することはできません。
- IEEE 802.11gは、IEEE 802.11b製品との混在環境において、干渉を受けることにより通信速度が低下することがあります。また、自動的に通信速度を落としてIEEE 802.11b製品との互換性を保つしくみになっています。アクセスポイントのチャンネル設定を変更することにより通信速度が改善する場合があります。
- 緊急でワイヤレス機能を停止させる必要がある場合には、ワイヤレススイッチを「OFF」にあわせてください。
- Bluetooth対応機器が使用する2.4 GHz帯は、さまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth対応機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- Bluetooth規格の制約上、電波状況などにより、大容量のファイルの送信を続けると、まれに転送したファイルに不具合が生じる場合がありますのでご注意ください。
- Bluetooth一般の特性として、複数のBluetooth機器を接続した場合は、帯域の問題により、Bluetooth機器の性能が落ちる場合があります。
- Bluetooth Audio機器と接続して動画を再生すると、Bluetooth機能の性質上、音声が映像とずれて再生される場合があります。

内蔵カメラ（MOTION EYE）についてのご注意

- カメラのレンズ前面のプレートに触らないでください。
- プレートが汚れている場合は、やわらかい布などで汚れを拭き取ってください。汚れたままだと、取り込む画像が劣化します。
- 電源の入／切にかかわらず、カメラを太陽に向けないでください。カメラの故障の原因となります。
- S400 i.(i.LINK)コネクタにi.LINK対応機器をつなぎ、動画や静止画を撮影するときは、内蔵カメラ（MOTION EYE）から撮影することはできません。

ACアダプタについてのご注意

- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのACアダプタをご使用ください。
- ACアダプタを海外旅行者用の「電子式変圧器」などに接続しないでください。発熱や故障の原因となります。
- ケーブルが断線したアダプタは危険ですので、そのまま使用しないでください。

バッテリについてのご注意

バッテリについて

- 付属のバッテリは本機専用です。
- 安全のために、本機に付属または指定された別売りのバッテリをご使用ください。
- AC電源につないでいるときは、バッテリを装着しているときでも、AC電源から電源が供給されます。
- AC電源をつながない状態で本機の電源を入れたまま、または本機がスリープモードのときにバッテリを取りはずすと、作業中の状態や保存されていないデータは失われます。必ず、本機の電源を切ってから取りはずしてください。

はじめてバッテリをお使いになるときは

付属のバッテリは完全には充電されていないため、はじめてお使いになるときからバッテリが消耗している状態になっていることがあります。

バッテリの充電について

バッテリは充電後、使用していない場合でも、少量ずつ自然に放電するため、長時間放置した場合、使用可能時間が短くなる場合があります。使用前には、再度、充電することをおすすめします。
また、充電回数、使用時間、保存期間に伴い少しずつ性能が劣化していきます。このため、充分に充電を行っても使用可能時間が短くなったり、寿命で使えなくなることがあります。
この場合には、新しいバッテリをお買い求めください。

バッテリの交換について

バッテリは消耗品です。バッテリ駆動時間が短くなってきた場合には、弊社指定の新しいバッテリと交換をしてください。バッテリの交換に関しご不明な点などがございましたら、VAIOカスタマーリンクまでお問い合わせください。

省電力動作モードでお使いのときは

スリープモード時にバッテリが消耗すると、スリープモードに移行する前の作業状態や保存していないデータが失われてしまい、元の状態に復帰できなくなります。スリープモードに移行させる前には、必ず作業中のデータを保存してください。
なお休止状態では、作業状態や作業中のデータをハードディスクに保存しますので、バッテリが消耗してもデータがなくなることはありません。
長時間ACアダプタを使わない場合は、休止状態へ移行させるようにしてください。

バッテリの残量が少ないときは

本機は、通常モード時にバッテリの残量がわずかになると、自動的に休止状態になるようお買い上げ時に設定されていますが、ご使用中のソフトウェアや接続している周辺機器によっては、Windowsからの指示で作業を一時中断することができないため、この機能が正しく働かないことがあります。
長時間席をはずすときなどにバッテリが消耗した場合、自動的に休止状態にならないと、本機の電源が切れて作業中のデータが失われてしまうおそれがあります。
バッテリでご使用のときは、こまめにデータを保存したり、手動で休止状態にしてください。

CD再生／録音についてのご注意

本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。

DualDiscをお使いになるときのご注意

DualDiscとは、DVD規格に準拠した面と音楽専用の面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。
ただし、音楽専用の面は、コンパクトディスク（CD）の規格には準拠していないため、本機での再生は保証できません。

ドライブの地域番号書き換えについて

お買い上げ時、本機のドライブの地域番号は「2」（日本）に設定されています。一部のソフトウェアにはこの地域番号を書き換える機能がありますが、お使いにならないでください。この機能をお使いになった結果生じた不具合につきましては、保証期間内でも有償修理とさせていただきます。

他のオーディオ機器を接続する場合のご注意

本機に搭載されているSound Realityチップは、可聴領域を越える高い周波数の信号を再生できる能力を持っています。
本機に、外付けのアンプなど、外部のオーディオ機器に接続して、高い周波数の信号を大音量で連続再生した場合、接続された機器によっては故障の原因になったり、正常に音が再生できなくなるなどの問題を起こすことがあります。
市販のCDやDVDディスクなど、一般に音楽として流通している音源では、オーディオ機器に故障を起こすような高い周波数の音が大音量で含まれていることはありません。
本機にプリインストールされているサウンド編集ソフトなどで、意図的に高い周波数の信号が入った音源を作成したり、テスト信号などを再生させる場合はご注意下さい。

録画／録音についてのご注意

- 著作権保護のための信号が記録されているソフト、放送局側で録画禁止設定が行われている番組、または「一度だけ録画可能」な設定が行われている番組は録画できません。また、表示もできない場合があります。
- 録画内容の補償はできません。必ず、事前に試し撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 万が一、機器やソフトウェアなどの不具合により録画・録音がされなかった場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

ソフトウェアの不正コピー禁止について

本機に付属のソフトウェアは、ライセンスあるいはロイヤリティ契約のもとに供給されています。これらのソフトウェアを不正にコピーすることは法律で禁止されています。
また、店頭で購入したソフトウェアを人に貸したり、人からソフトウェアを借りてコピーして使うことは禁じられています。ソフトウェアの使用許諾書をよくお読みのうえ、お使いください。

ソフトウェアと周辺機器の動作について

一般的にWindows Vista用、DOS/V用などと表記している市販ソフトウェアや周辺機器の中には、本機で使用できないものがあります。ご購入に際しては、販売店または各ソフトウェアおよび周辺機器の販売元にご確認ください。
市販ソフトウェアおよび周辺機器を使用された場合の不具合や、その結果生じた損失については、一切責任を負いかねます。また、本機に付属のOS以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。

お手入れ

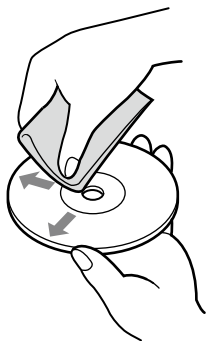
本機のお手入れ

- 本機の電源を切り、ACアダプタとバッテリを取りはずしてからお手入れをしてください。
- ゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 市販のOAクリーナーやベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。
- 化学ぞうきんをお使いになるときは、その注意書きに従ってください。
- キーボード（キートップ）の隙間に落ちたゴミやほこりなどは、精密機器専用のエアダスターなどを使って吹き飛ばしてください。キートップは、故意にはずさないでください。また、家庭用掃除機などで吸引すると、故障の原因となります。

液晶ディスプレイのお手入れ

- 液晶ディスプレイは、特殊な表面処理がされていますので、なるべく表面に触れないようにしてください。
- 汚れを落とすときは、必ず乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れが落ちにくいときは、息をかけながら乾いた布で拭き取るか、水で少し湿らせた布で軽く拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 化学ぞうきんや市販のOAクリーナー、ベンジン、アセトン、アルコールやシンナーなどは、表面処理を傷めますので使わないでください。

ディスクのお手入れについて

- 指紋やほこりによるディスクの汚れは、読み取りエラーや書き込みエラーの原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- 普段のお手入れは、柔らかい布で下図のようにディスクの中心から外の方向へ軽く拭きます。

- 汚れがひどいときは、水で湿らせた布で拭いたあと、更に乾いた布で水気をふき取ってください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電気防止剤などはディスクを傷めることがありますので、使用しないでください。
- ほこりなどの汚れは、ブロワーを使って吹き飛ばしてください。

レンズ前面のプレートのお手入れ

内蔵カメラ（MOTION EYE）のレンズ前面のプレートのほこりは、ブロワーブラシか、柔らかい刷毛でとります。
汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングクロスなどで拭き取ってください。傷がつきやすいので、強くこすらないでください。

廃棄時などのデータ消去について

コンピュータを廃棄などするときには、お客様の重要なデータを消去する必要があります。
データを消去する場合、一般には次のような作業を行います。

- データを「ごみ箱」に捨てる
- 「削除」操作を行う
- 「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
- ハードディスク内のリカバリ機能や自作のリカバリディスクを使い、お買い上げ時の状態に戻す

これらの作業では、一見データが消去されたように見えますが、ハードディスク内のファイル管理情報が変更され、WindowsなどのOSのもとで呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っています。従って、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読み取ることが可能な場合があります。このため、悪意のある第三者により、重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
廃棄時などにハードディスク上の重要なデータが流出するトラブルを回避するためには、ハードディスク上に記録された全データを、**お客様の責任において消去することが非常に重要となります。**
データを消去するためには、以下の方法があります。

- 本機に搭載されているVAIO データ消去ツールを使って、ハードディスクのデータを完全に消去する（90ページ）
- 有償サービスを利用する
  消去に関する詳しい情報がVAIO カスタマーリンク ホームページに掲載されています。
  http://vcl.vaio.sony.co.jp/notices/hddformat.htmlをご覧ください。
- ハードディスクを破壊する
  ハードディスク上のデータを物理的・磁気的に破壊して、データを読み取れないようにします。

使用できるディスクとご注意

使用できるディスク

◎：再生、記録可能

○：再生のみ可能、記録不可

×：再生、記録不可

ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	◎ *1 *2
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *3
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *4
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *5 *6
DVD-RAM	◎ *7 *8
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎*9
Video CD	○

DVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
BD-R ／ RE	○ *2
BD-ROM	○
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *3
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *4
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *5 *6
DVD-RAM	◎ *7 *8
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎*9
Video CD	○

DVDスーパーマルチドライブ（DVD±R 2層記録対応）搭載モデルをお使いの場合

ディスクの種類	使用の可・不可
DVD-ROM	○
DVD-Video	○
DVD+R DL（Double Layer）	◎ *3
DVD-R DL（Dual Layer）	◎ *4
DVD+R ／ RW	◎
DVD-R ／ RW	◎ *5 *6
DVD-RAM	◎ *7 *8
CD-ROM	○
音楽CD	○
CD Extra	○
CD-R ／ RW	◎
Video CD	○

*1　BD-R Ver.1.1（1層 25 Gバイト、2層 50 Gバイト）、BD-RE Ver.2.1（1層 25 Gバイト、2層 50 Gバイト）の書き込みに対応しています。
*2　BD-RE Ver.1.0、カートリッジタイプのディスクはご使用できません。
*3　DVD+R Double Layerの書き込みは、「DVD+R Double Layer」に対応したDVD+Rディスクのみで可能です。
*4　DVD-R Dual Layerの書き込みは、「DVD-R Dual Layer」に対応したDVD-Rディスクのみで可能です。
*5　DVD-Rは、DVD-R for General Ver.2.0 ／ 2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*6　DVD-RWは、DVD-RW Ver.1.1 ／ 1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*7　DVD-RAMは、カートリッジタイプはご使用になれません。カートリッジタイプではないもの、あるいはカートリッジから取り出し可能なディスクをお使いください。
*8　DVD-RAMは、Ver.1（片面 2.6 Gバイト）の書き込みには対応していません。
DVD-RAM Version 2.2/12X-SPEED DVD-RAM Revision 5.0ディスクには対応しておりません。
*9　Ultra Speed CD-RWのディスクは書き込みできません。

ご注意

- 使用するディスクによっては、一部の記録／再生に対応していない場合があります。
- 本機のドライブは8 cmディスクの書き込みには対応していません。
- 本機では、円形ディスクのみお使いいただけます。円形以外の特殊な形状のディスク（星型、ハート型、カード型など）や破損したディスクを使用すると本機の故障の原因となります。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RWにはDVDビデオ形式、DVD-RW ／ DVD-RAMにはDVDビデオレコーディング規格での記録が可能です。
- DVD+R ／ DVD+RW ／ DVD-R ／ DVD-RW ／ CD-R ／ CD-RWはソニー製のディスクをお使いになることをおすすめします。
- 6倍速記録DVD-RWは、DVD-RW 6倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 8倍速記録DVD+RWは、DVD+RW 8倍速記録以上に対応したモデル以外では書き込みにお使いいただけません。
- 複製不可の設定がされたDVD-ROMやDVDビデオは、バックアップを作成することはできません。
- 本機は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠した音楽ディスクの再生を前提として、設計されています。最近、いくつかのレコード会社より著作権保護を目的とした技術が搭載された音楽ディスクが販売されていますが、これらの中にはCD規格に準拠していないものもあり、本製品での再生は保証できません。
- Dual Discとは、DVD規格に準拠した面と音楽再生専用面とを組み合わせた新しい両面ディスクです。この音楽専用面は、コンパクトディスク（CD）規格に準拠していないため、再生を保証できません。
- CPRMに対応したDVD-RW ／ DVD-RAMを再生するには、インターネットに接続している必要があります。
（CPRM：Content Protection for Recordable Mediaとは、「1回だけ録画可能」な番組に対する著作権保護技術です。）
- CPRM対応のDVD-R ／ DVD-RW ／ DVD-RAMに、番組を直接録画することはできません。
また、CPRM対応のDVD-Rへのムーブ（移動）には対応しておりません。
- 録画したデジタル放送の番組はCPRM対応のDVD-RW ／ DVD-RAM ／ BD-RE（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデル）に移動（ムーブ）することができます。
- ブルーレイディスクでは著作権保護されたコンテンツを録画・編集・再生するために著作権保護技術AACSを採用しています。ブルーレイディスクを継続的にお使いいただくためには、定期的にAACSキーを更新することが必要です。AACSキーは録画・編集・再生ソフトウェアが表示するメッセージに従いインターネットに接続することで更新することができます。更新しない場合には、著作権保護されたコンテンツの録画・編集・再生ができなくなる可能性があります。なお、著作権保護されていないコンテンツの録画・編集・再生には支障はありません。本機にインストールされて提供されたブルーレイディスク録画・再生ソフトウェアは製品出荷開始後5年間はAACSキーの更新を行うことができます。それ以降の対応につきましては弊社ホームページでご案内します。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 本機では、ソフトウェアを用いてブルーレイディスクを再生（デコード）しています。このため、ディスクによっては操作、および機能に制限があったり、CPU性能などのハードウェア資源の関係で音がとぎれたり、コマ落ちすることがあります。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）
- 映画などのBD-ROMコンテンツには、地域（リージョンコード）の設定が必要です。選択した地域と異なる設定のディスクは再生できません。（ブルーレイディスクドライブ（DVDスーパーマルチ機能搭載）モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル）

- HDMI機器に接続する場合、接続するディスプレイがHDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)規格に対応していない場合は、著作権保護されたブルーレイディスクの映像を表示できません。(ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル)
- 再生するブルーレイディスクによっては、アナログRGB出力での解像度が制限される場合や、出力ができない場合があります。(ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデルまたはDVDスーパーマルチ/BD-ROM一体型ドライブ搭載モデル)

書き込んだディスクを他のプレーヤーで読み込むときのご注意

- CD-R / CD-RWを使用して作成した音楽CDは、ご使用のCDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- DVD+R DL / DVD+R / DVD+RW / DVD-R DL / DVD-R / DVD-RW / DVD-RAMを使用して作成したDVDは、ご使用のDVDプレーヤーによっては再生できない場合があります。
- 本機で作成したBD-R / REは、BD-RE Ver.1.0対応のブルーレイレコーダーでは再生できません。(ブルーレイディスクドライブ(DVDスーパーマルチ機能搭載)モデル)
- 録画したデジタル放送の番組を移動(ムーブ)したCPRM対応のDVD-RW / DVD-RAMは、CPRM対応のDVDプレーヤーで再生することができます。ただし、DVD-RW(VRモード)再生対応のプレーヤーでも、CPRM対応のDVD-RWに移動(ムーブ)して記録したことのあるディスクは再生できないなどの制限があります。

ディスク書き込みに失敗しないためには

ディスクに書き込みの際は、下記のようなことにご注意ください。書き込みに失敗することがあります。
書き込みに失敗したディスクについては、その原因がいかなるものであっても、弊社は一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- コンピュータのCPUやハードディスクなどに負荷がかかる動作を避けてください。
- 常駐型のディスクユーティリティや、ディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、不安定な動作の原因となりますので使用をお控えください。
- キーボードやタッチパッドを操作すると振動で失敗する場合があります。
- ユーザーの簡易切り替えを行わないでください。
- 本機に振動や衝撃などを加えないでください。
- 本機につないだi.LINKケーブルおよび他のi.LINK対応機器につないだi.LINKケーブルを抜き差ししたり、本機やi.LINK対応機器の電源を入/切しないでください。
- 本機につないだUSBケーブルおよび他のUSB対応機器につないだUSBケーブルを抜き差ししたり、本機やUSB対応機器の電源を入/切しないでください。
- インターネットに接続したり電子メールを送受信するなど、他のコンピュータやネットワークにアクセスしないでください。

索引

【マ行】

【ヤ行】

【ラ行】

【ワ行】

【A】

【B】

【C】

【D】

【E】

【F】

【H】

【I】

【L】

【M】

【N】

【O】

【P】

【S】

【T】

【U】

【V】

【W】

【数字】

商標について

- VAIOはソニー株式会社の登録商標です。
- 、“Memory Stick”、“メモリースティック”、“Memory Stick Duo”、“メモリースティック デュオ”、“MagicGate”、“マジックゲート”、“マジックゲート メモリースティック”、“メモリースティック PRO”、“メモリースティック PRO デュオ”、“メモリースティック PRO-HG”、“メモリースティック マイクロ”はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- i.LINKは、IEEE 1394-1995とIEEE 1394a-2000を示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ“ ”はソニー株式会社の商標です。
- HDVおよびHDVロゴは、ソニー株式会社と日本ビクター株式会社の商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- eLIOは、株式会社ソニーファイナンスインターナショナルが開発したネット決済用のクレジットサービスで、同社の登録商標です。
- 「Edy(エディ)」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。
- Suicaは、JR東日本の登録商標です。
- ICOCAは、JR西日本の登録商標です。
- 「PiTaPa」は株式会社スルッとKANSAI の登録商標です。
- TOICAは、東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- PASMOは、株式会社パスモの登録商標です。
- 「iモード」「おサイフケータイ」はNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「かざしてポン！」および「かざポン」はフェリカネットワークスの商標です。
- BluetoothワードマークとロゴはBluetooth SIG, Inc.の所有であり、ソニーはライセンスに基づきこのマークを使用しています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- Intel、Pentium、Celeron、Intel SpeedStepはIntel Corporationの商標または登録商標です。
- Microsoft、MS-DOS、Internet Explorer、Windows Media、Officeロゴ、PowerPoint、Outlook、Excel、InfoPath、WindowsおよびWindows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- IBMおよびPC/AT、PS/2は、米国International Business Machines Corporationの商標および登録商標です。
- Dolby、ドルビー、Pro LogicおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- Ethernetおよびイーサネットは、富士ゼロックス社の登録商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- SDロゴは商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- MultiMediaCard(TM)はMultiMediaCard Associationの商標です。
- ExpressCard(TM)ワードマークとロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA)の所有であり、ソニーへライセンスされています。他のトレードマークおよびトレード名称については、個々の所有者に帰属するものとします。
- SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。
- 「EZweb」は、KDDI株式会社の登録商標または商標です。
- TDKはTDK株式会社の登録商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Adobe Premiere、Adobe Photoshop Elements、Photoshop、Adobe Reader、およびAdobe Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- Gracenote and CDDB are registered trademarks of Gracenote. The Gracenote logo and logotype, the Gracenote CDDB logo, and the "Powered by Gracenote" logo are trademarks of Gracenote.
- "Direct Stream Digital", DSD and their logos are trademarks of Sony Corporation.
- "SBM/Super Bit Mapping" is a trademark of Sony Corporation.
- Equaliser for VAIO, Multichannel Inflator for VAIO, Multichannel 5 Band EQ + Filters for VAIO and Restorer for VAIO from Sony Oxford. Copyright (C) 2003-2005 Sony Business Europe.
- L1 Ultramaximizer, S1 Stereo Imager, Renaissance Bass, S360 Surround Imager plug-ins by Waves Audio Ltd.
- QStream Technology, QSound QSurround 5.1 Plug-In for VAIO, QSound QSurround Virtualizer Plug-In for VAIO and QSound QMSS Plug-In for VAIO by QSound Labs, Inc.
  Copyright (C) QSound Labs, Inc. 1998-2005. All rights reserved.
  QSound, QSurround, QMSS, QMAX II, iQms2, QDVD and the QLogo are trademarks of QSound Labs, Inc.
- ASIO is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- VST is a trademark of Steinberg Media Technologies GmbH.
- Powered by CyberSupport.
  「ConceptBase」「ConceptBase Search」「CBSearch」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  Portion Copyright 2000 株式会社ジャストシステム
  Portion Copyright 1981-1988 Microsoft Corporation
- QRコードは、(株)デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では(TM)、(R)マークは明記していません。

ソフトウェアをお使いになる前に、必ずお買い上げのコンピュータに添付のソフトウェア使用許諾契約書をご覧ください。

ソニーが提供する情報一覧

インターネット

インターネットに接続すれば、バイオを活用するために役立つ情報を閲覧することができます。

困ったときは

VAIOカスタマーリンク
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

バイオをお使いの上で、わからないことやトラブルが起きたときにご覧ください。
解決方法をわかりやすく提供しています。
（詳しくは112ページをご覧ください。）

VAIOユーザーのポータルサイト

My VAIO
http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/

ウェブ検索やニュースなどのポータル機能とバイオの各種サービスをご覧いただけます。

バイオの製品情報が満載

VAIOホームページ
http://www.vaio.sony.co.jp/

バイオのカタログ情報をはじめとした、総合情報サイトです。

※画面は予告なく変更することがありますがご了承ください。

電話でのお問い合わせ

使いかたのお問い合わせ

VAIOカスタマーリンク
（0466）30-3000

受付時間
平日：10時～21時
土、日、祝日：10時～17時

本機の型名をご確認ください。（保証書または各部の説明のIDラベルに記載されています。）
お客様からいただいたお問い合わせや商品に関するご意見等は、より良い商品の開発およびサービス・サポートの向上の参考とさせていただく場合があります。
また、ご質問やご意見に適切かつ迅速に対応するため、通話内容を記録させていただく場合があります。
お問い合わせ時のお客様の個人情報お取り扱いについては、My VAIOの「VAIOカスタマー登録」(http://www.vaio.sony.co.jp/Misc/Customer2/)をご覧ください。

カスタマー登録に関するお問い合わせ

カスタマー専用デスク
ゼロヨンロクロク サンハチ イチヨンイチゼロ
（0466）38-1410

受付時間
平日：10時～18時
（年末年始は除く）

有料サービス

My VAIO（http://www.vaio.sony.co.jp/MyVAIO/）では、VAIOユーザーのみなさまにさまざまな有料サービスをご提供しています。

■ VAIO延長保証サービス

1年間のメーカー保証を3年間に延長する「ベーシック」。さらに「ワイド」なら、落下や水濡れ等のお客様の過失による損害や、火災・水災等の事故にも対応します。

■ VAIO設置設定サービス

スタッフがお客様のご自宅へお伺いし、VAIOの設置・設定サポート（初期設定／インターネット設置／無線LAN設定／データ移行など）を行うサービスです。

■ VAIO Overseas Service（海外修理サポートサービス）

海外で安心してお使いいただくための修理サポートサービスです。海外の対象地域で故障した場合、1年間無料で現地修理を行います。また、その際お電話でのサポートも行います。

■ VAIOインターネットセキュリティ

インターネットライフをより安心・快適に。あなたのVAIOをウイルス対策やファイアウォール機能などで守ります。

■ VAIOソフトウェアセレクション

おすすめのアプリケーションから楽しいゲームまで、ここだけでしか手にはいらない限定品が手に入るソフトウェアダウンロードショップ。

※詳細は、My VAIOメニューの各種サービスからご確認いただけます。

VAIOカスタマーリンク
使いかたのお問い合わせ　電話番号（0466）30-3000
※詳しくは、前ページをご覧ください。

VAIOカスタマーリンクホームページ
VAIOの最新のサポート情報を詳しく掲載しています。
http://vcl.vaio.sony.co.jp/

VAIOホームページ
VAIOを楽しく使っていただくための情報をご案内します。
http://www.vaio.sony.co.jp/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1
http://www.sony.co.jp/

3-274-827-**01** (1)